

令和7年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」

(公務員デジタル人材育成モデル構築事業)

公務員デジタル人材育成モデル構築事業

〈公務員試験傾向分析科目 テキスト教材〉

本教材は、文部科学省の教育推進事業委託費による委託事業として、学校法人浦山学園 富山情報ビジネス専門学校が実施した令和7年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」の成果物です。

学校法人浦山学園 富山情報ビジネス専門学校

令和7年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」

(公務員デジタル人材育成モデル構築事業)

公務員デジタル人材育成モデル構築事業

〈事業成果報告書・教材ツール収納リンク〉

https://www.bit.urayama.ac.jp/bitbox/information#m_itaku



令和7年度 公務員デジタル人材育成モデル構築事業

公務員試験傾向分析科目 カリキュラムガイド

本ガイドは、令和7年度 文部科学省 地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業 公務員デジタル人材育成モデル構築事業（委託先：学校法人浦山学園 富山情報ビジネス専門学校）において委員会で討議、検討された内容を基に開発された。

本事業は、地域デジタル社会に適応した人材を育むことができる学科へ高度化を図ることを前提とした人材育成モデルの構築を目指すものであり、公務員試験傾向分析科目（以下、「本科目」という）においても生成 AI 等のデジタルツールの利活用をふまえて設計している。

本ガイドは、本科目の指導におけるガイドラインとして作成しているが、運用にあたっては教育機関の授業時間設定や授業コマ割り等も考慮して使用することを前提とする。

本ガイドの構成は以下の通りである。

1. 科目の位置づけ
2. 科目のコンセプト
3. 本科目が育成する能力と意図
4. カリキュラム全体像
シラバスと評価規準、成果測定
付属資料
5. 生成 AI を組み込む教育的意図と運用ルール

目 次

1. 科目の位置づけ	5
2. 科目コンセプト	5
(1) 本科目：全体コンセプト	5
(2) 本科目を実現する「科目内・各単元コンセプト」	6
①自治体分析（募集要領・人材像・施策理解）各単元コンセプト	6
②読解力（文構造把握・根拠で読む）単元コンセプト	6
③対策範囲の「見取り」（分野学習の優先順位化）単元コンセプト	6
④作文・面接試験の基礎接続（評価軸の理解と材料化）単元コンセプト	7
⑤生成AI・デジタル活用（思考支援の補助領域）単元コンセプト	7
3. 本科目が育成する能力と意図	7
4. カリキュラム全体像	7
(1) 設計時間：90分/コマ×15コマ	7
(2) カリキュラムの流れ	8
(3) カリキュラム全体	8
(4) 授業評価方法ツール	1 1
(5) 学習成果物	1 1
(6) 評価規準	1 1
①評価の基本方針	1 1
②評価規準	1 1
③ルーブリック	1 2
④評価方法	1 4

(7) コマシラバス	1 5
①授業1：読解力の重要性、助詞	1 5
②授業2：文の構造把握、指示語の理解と省略の補完、言い換えの理解	2 1
③授業3：推論・図表と文章の照合・具体例特定による文章理解	2 7
④授業4：読解力確認テストと解説	3 3
⑤授業5：作文作成	4 2
⑥授業6：誤字・脱字、送り仮名、表記ゆれ	4 4
⑦授業7：文体の統一、接続詞の適切な使用、簡潔な文章表現	4 9
⑧授業8：主語と述語、修飾語、矛盾した内容	5 4
⑨授業9：AIリテラシーと公務員試験AI対策-1	5 9
⑩授業10：AIリテラシーと公務員試験AI対策-2	7 1
⑪授業11：AIリテラシーと公務員試験AI対策-3	7 3
⑫授業12：AIリテラシーと公務員試験AI対策-4	8 0
⑬授業13：AIリテラシーと公務員試験AI対策-5	9 0
⑭授業14：AIリテラシーと公務員試験AI対策-6	1 0 3
⑯授業15：AIリテラシーと公務員試験AI対策-7	1 0 9
5. 生成AI活用に関する方針・ルール・意図	1 1 5
(1) 傾向分析科目における生成AI活用の基本方針	1 1 5
(2) 傾向分析科目におけるAI活用ルール	1 1 5
(3) 傾向分析科目におけるルールの意図	1 1 5
6. 委員名簿	1 1 6
実施委員	1 1 6
事業推進委員	1 1 7

1. 科目の位置づけ

本科目は、公務員を目指す専門学校に在籍する進級年次生（公務員試験対策の初期段階にある学生）を対象とし、公務員試験に向けた学習の基礎育成を担う科目として位置づける。

本科目は、教養試験、作文試験、面接試験といった公務員試験の各分野に共通して求められる力を、「出題傾向」や「評価の観点」という視点から整理し、受験対象年次の試験対策を進めるための土台を形成することを目的とする。

本科目では、生成 AI を使用して自治体情報を効率的に整理し、「どのような人材が求められているのか」「どのような姿勢や考え方が評価されやすいのか」を把握し、学生が自治体や公安等の公務員分野を選択しやすくする。つまり、自治体分析においては、すべての資料を詳細に読み込むことを目的とするのではなく、限られた時間の中で必要な情報を取捨選択し、優先順位をつけて理解し、早期に受験する分野を定めることで目標を明確化させ学習意欲を高める。さらに、募集要項や自治体の施策資料を題材に、どの情報を重点的に読むべきか、どの部分が作文や面接試験に直結するかといった観点を示し、「効率よく理解するための読み方」を身につけさせる。

また、本科目では、読解力や作文力、面接試験における受け答えの基礎となる思考力、表現力の育成を重視する。文章を正確に読み取る力、設問の意図を把握する力、自分の考えを筋道立てて表現する力は、試験対策の観点だけでなく、公務員として業務に携わるうえでも不可欠な能力である。本科目は、これらの力を早期に可視化し、学生自身が学習課題を自覚するための役割も担っている。

以上のことから、本科目で形成された理解力や判断力、学習の進め方が、直前対策科目における実践的な演習やアウトプット中心の学習を支える前提となる。その意味で、本科目は単独で完結する科目ではなく、公務員試験対策を段階的に進めるための起点として位置づけられる。

なお、評価規準およびコマシラバスについては、基準として定めるものである。ただし、学校の指導方針および授業の進捗状況等をふまえ、必要に応じて変更することも可能とする。

2. 科目コンセプト

（1）本科目：全体コンセプト

本科目の全体コンセプトは、高卒程度公務員試験に向けた出発点として、単なる知識・解法の獲得に先立ち、「自治体や行政機関が何を重視し、どのような観点で受験者を評価するのか」を募集要項や自治体資料を通じて正確に理解できる力を育成することにある。これにより学生は、試験対策の基礎を作り直前対策科目において限られた時間で最大の学習効果を発揮できるようになる。

同時に、本科目が狙うのは「合格のための基礎作り」だけではない。行政職・公安職を含む公務員試験に共通して求められる、情報を正確に読み取り、条件を整理し、根拠に基づいて判断・説明する力を形成する。さらに、生成 AI やデジタルツールを、判断を代替するものではなく思考を支援する補助手段として扱うことで、合格後の実務にもつながるデジタル利活用の素地も育成する。

（２）本科目を実現する「科目内・各単元コンセプト」

①自治体分析（募集要項・人材像・施策理解）単元コンセプト

コンセプト：試験対策の起点を「過去問」ではなく「募集要項・人材像・施策理解」に置き、評価の前提を正確につかむ。

本科目の自治体分析は、試験問題を研究する活動ではなく、募集要項や自治体資料から、求める人材像・重視する価値・重点施策を効率的に把握し、理解を深める学習である。学生がやるべきは「全部読む」ではなく、「評価に直結する要点を抽出し、整理し、説明できる状態にする」ことである。これにより、作文や面接試験で適切な回答につなげることができるとともに、教養試験の学習も目的意識をもって進められる。

直前対策への接続意義：直前期の作文・面接試験対策において、「何を軸に話す/書くか」の土台がすでに整っているため、短期間でも合格水準へ引き上げやすくなる。

②読解力（文構造把握・根拠で読む）単元コンセプト

コンセプト：「国語力」ではなく「誤読しない技術」としての読解力を育て、根拠で読む習慣をつくる。

本単元の読解力は、語彙暗記ではなく、助詞・係り受け・指示語・省略・文構造把握を通じて、文章の意味を根拠に基づき確定させる力を養う。特に、文の中心と補足、条件、因果、具体例の位置づけを押さえ、推論と事実を区別する読み方を徹底する。図表がある場合は、図表と文章を照合し、本文に戻って判断する行動を習慣化する。これにより、教養試験のみならず、募集要項や施策資料の読解、作文課題の条件整理、面接試験質問の意図理解にも一貫して通用する基礎ができる。

直前対策への接続意義：試験時間内に解答する際に、焦りや思い込み等による設問条件の読み落としや誤読による失点を防ぐ。

③対策範囲の「見取り」（分野学習の優先順位化）単元コンセプト

コンセプト：目指す公務員分野の傾向をとらえることで“広く浅く”ではなく、“合格に必要な優先順位”を意識して学習計画の設計をできるようにする。

本段階では、出題範囲の全体像、頻出領域、得点源を把握し、学習計画に落とし込む。学生が「苦手だから避ける」「好きな分野だけやる」といった学習の偏りを防ぎ、直前対策での成果直結になるように学習範囲のイメージを持つ。

直前対策への接続意義：直前期に演習を積む際に、学習の優先順位が理解できている。

④作文・面接試験の基礎接続（評価軸の理解と材料化）単元コンセプト

コンセプト：作文・面接試験を「表現練習」ではなく「評価軸に沿った材料整理」として準備する。

本段階では、完成レベルの答案や模範回答の暗記ではなく、自治体分析でつかんだ人材像・施策方針を軸に、どの経験、価値観、志望理由が評価されやすいかを整理する。作文は「条件整理→論点設定→根拠配置」の型を理解し、面接試験は「質問意図→回答の骨格→矛盾チェック」の型を理解する。

直前対策への接続意義：直前期の演習が「ゼロから作る」ではなく「整えた骨格を磨く」工程になり、短期間で合格水準に到達しやすい。

⑤生成 AI・デジタル活用（思考支援の補助領域）単元コンセプト

コンセプト：生成 AI は「解答生成」ではなく、「考えるための下準備」を支える補助ツールとして使い分ける力を育てる。

本科目での生成 AI 活用は、資料の整理、要点抽出、比較、文章構造の確認、表現の磨き込みなどに限定し、解答を作らせる使い方は行わない。学生は、AI の情報をうのみにせず、根拠確認、修正を前提として活用するツールであることを理解することで、今後、公務員として必要となるデジタル利活用の基礎力形成につなげる。

3. 本科目が育成する能力と意図

本科目は、公務員試験対策の出発点として、試験で評価される力を把握したうえで、以下の能力を重点的に育成することを目指す。

- ・募集要項や自治体資料を正確に読み取り、求められる人材像や評価の観点を把握する力
- ・助詞・係り受け・文構造に基づき、文章を誤解なく読み解く読解力
- ・相手に考えや意図が伝わる、減点されない作文力
- ・生成 AI やデジタルツールを補助機能として活用する基礎的知識

4. カリキュラム全体像

- (1) 設計時間：90 分/コマ×15 コマ

本カリキュラムは、45分または50分単位の授業から、2授業連続による90分授業、あるいは100分授業への移行を想定し、45分を1単位とする2コマ構成を基本としている。そのため、90分授業の場合は2コマを連続して実施することで完結し、100分授業の場合には、導入時の意識付けや振り返り、課題作成等で時間の調整ができるように授業実施の柔軟性を考慮して設計している。

(2) カリキュラムの流れ

本カリキュラムは、15コマを通じ、以下のような科目で構成されている。

【読解力育成】 助詞/係り受け/推論/図表と文章の照合

【作文力】 文章作成のルール/主語と述語/表現/文体/接続詞

【生成 AI の基本】 基礎知識/プロンプト/画像生成 AI/著作権

【自己分析】 自己分析/認識と理解/生成 AI による他者視点分析

【自治体等傾向分析】 採用情報へのアクセス/試験内容と過去問題/AI 利用

(3) カリキュラム全体

授業回	項目	細目	授業時間	使用教材の有無	評価対象
1	読解力育成	読解力の重要性	45分	有	-
		読解力と助詞			
		読解力理解のための概念・用語			
		「文章理解問題演習1」の実施 ※学校アレンジ可能、学校教材等活用	45分	-	
2	読解力育成	文の構造把握	45分	有	-
		指示語の理解と省略の補完			
		言い換えの理解			
		「文章理解問題演習2」の実施 ※学校アレンジ可能、学校教材等活用	45分	-	
3	読解力育成	推論	45分	有	-
		図表と文章の照合			
		具体例の特定			
		「文章理解問題演習3」の実施 ※学校アレンジ可能、学校教材等活用	45分	-	
4	読解力育成	「読解力確認テスト」の実施	45分	有	読解力確認テスト結果
		「読解力確認テスト」の解説	45分		
5	作文力育成	「作文演習」の実施（過去問題等活用）	90分	-	-

6	作文力育成	誤字をなくす	45分	有	-	
		正しい送り仮名、仮名づかい、カタカナ語で書く				
		表現をそろえる				
		「ら抜き言葉」に注意				
		「作文添削」の実施（「作文演習」等活用）	45分	-		
7	作文力育成	文体をそろえる	45分	有	-	
		接続詞を正しく使う				
		文を短く書く				
		「作文添削」の実施（「作文演習」等活用）	45分	-		
8	作文力育成	主語と述語を対応させる	45分	有	作文試験結果	
		修飾語の位置に注意				
		矛盾した内容にならないように注意する				
		「作文添削」の実施（「作文演習」等活用）				-
		「作文試験」の実施（過去問題等活用）	45分	-		
9	生成 AI の基礎知識	生成 AI の概念	45分	有	-	
		「AI」と「生成 AI」				
		生成 AI				
	生成 AI を構成する要素	機械学習	45分	有	-	
		教師あり学習				
		教師なし学習				
		強化学習				
		機械学習のまとめ				
	進化する機械学習	ニューラルネットワーク	45分	有	-	
		ニューラルネットワークの強み				
		ディープラーニング				
		ディープラーニングの問題点				
		ディープラーニングのまとめ				
10	代表的な生成 AI	代表的な生成 AI 比較	45分	有	-	
		ChatGPT へのアクセス方法（登録）				
		ChatGPT の特徴				
		ChatGPT を使ってみよう				-
		Gemini へのアクセス方法（登録）	45分	有	-	
		Gemini の特徴				
		Gemini を使ってみよう				-
		Copilot へのアクセス方法（登録）				有

		Copilot の特徴			
		Copilot を使ってみよう		-	
11	プロンプト	プロンプト	45 分	有	-
		プロンプトの基本			
		プロンプトの構成要素			
		プロンプト作成のコツ			
		プロンプト比較			
		プロンプトのまとめ			
		「プロンプト問題集」の実施	45 分	有	
12	プロンプト テンプレート	よく使うプロンプト（例）	45 分	有	プロンプ ト テスト結 果
		「プロンプト演習」の実施（よく使うプロンプ ト例を活用）		-	
	プロンプト テスト	「プロンプト問題集」を活用した「プロンプト テスト」の実施		有	
	ハルシネー ション	ハルシネーション	45 分	有	
		ハルシネーション抑制プロンプト			
		ハルシネーション発生の事例			
		ハルシネーションのまとめ			
13	画像生成 AI	画像生成 AI の基本	45 分	有	
		代表的な画像生成 AI			
		画像生成 AI のまとめ			
	著作権	著作権		有	
		生成画像の商用利用			
		著作権の落とし穴			
		商用利用での著作権侵害事例			
		行政機関でのトラブル事例			
	MY 生成 AI	MY 生成 AI	45 分	有	
		ChatGPT（有料版）			
		ChatGPT（無料版）			
		Gemini（有料版・無料版）			
		MY 生成 AI のまとめ			
14	自己分析	自己分析	45 分	有	-
		自己認識			
		自己分析のまとめ			
		「自己分析・自己認識」の実践 （他者視点・生成 AI 活用）	45 分	-	

15	自治体等傾向分析	自治体等の採用情報	45分	有	用語等確認テスト結果
		試験内容と過去問題			
		生成 AI を活用した情報収集			
	「自治体等傾向分析」の実践 (自己 PR や志望動機の素材集めを含む)	45分	-		
傾向分析科 目まとめ	「用語等確認テスト」の実施			有	

(4) 授業評価方法ツール

授業評価としてテストを実施することも想定し、次の評価ツールを用意している。

- ・読解力確認テスト
読解力テストを実施し、テスト結果をもって評価を行う。
- ・作文
作文力学習前と比較した向上度をもって評価を行う。
- ・プロンプトテスト
プロンプト問題集から問題を出題し、テスト結果をもって評価を行う。
- ・用語等確認テスト
用語等確認テストを実施し、テスト結果をもって評価を行う。

(5) 学習成果物

- ①読解力確認テスト結果
- ②作文等の成果物
- ③プロンプトテスト結果
- ④用語等確認テスト結果

(6) 評価規準

①評価の基本方針

本評価規準は、知識量や操作スキルの多寡ではなく、正しく読み、考え、整理し、AI を補助的に使いながら判断する力の育成を評価する。

②評価規準

観点	育成したい資質	能力	説明
①読解力	正確性・慎重さ	文章を構造的に読み取る力	試験問題、作文課題、募集要項、自治体資料を、主語・述語、指示語、省略、文構造に着目して正確に理解できているか。

②論理的思考力	論理性・一貫性	情報を整理し関係づける力	募集要項や設問文の条件・評価観点を整理し、理由と結論、具体例と主張の関係を崩さずに理解・説明できているか。
③作文構成力	計画性・構成意識	書く前に組み立てる力	作文において、設問意図や評価観点を踏まえ、構成（序論・本論・結論）を事前に考えられているか。
④表現の正確性	客観性・丁寧さ	正確に伝える力	文体の統一、接続詞の適切な使用、主語と述語の対応、修飾関係の明確さなど、誤解を生まない表現ができているか。
⑤自己点検・改善力	自律性・改善意識	自分の誤りに気づく力	自身の読み違い、構成の不備、矛盾や表現上の問題点に気づき、適切に修正できているか。
⑥生成 AI 活用 力	判断力・情報リテラシー	生成 AI を補助として使う力	生成 AI を用いて募集要項や文章の要点整理・構造確認を行い、その結果をうのみにせず自分の判断で活用できているか。
⑦自治体理解力	公共性・当事者意識	求める人材像を読み取る力	募集要項等から AI を補助的に用いて、「自治体は何を重視しているか」「どのような人材を求めているか」を把握できているか。
⑧学習姿勢	主体性・継続力	学び方を理解し実行する力	本科目で身につけた考え方、AI 活用の基礎を直前対策科目や今後の学習につなげようとしているか。

③ルーブリック

到達レベル			
4	3	2	1
①読解力			
文の構造を意識し、募集要項や設問文を	大きな読み違いはなく、指示があれば構造を確認できる。	内容理解はできるが、感覚的に読んでいる。	思い込みや部分理解により誤読が多い。

根拠をもって正確に読み取れている。			
②論理的思考力			
条件、評価観点を整理し、一貫した説明ができる。	おおむね整理できているが、一部で論点が曖昧になる。	情報は拾えるが、関係づけが弱い。	情報整理ができず、説明が断片的になっている。
③作文構成力			
設問や募集要項の趣旨を踏まえ、構成を考えて書ける。	構成意識はあるが途中で崩れる。	思いついた順に書いている。	設問と文章構成が対応していない。
④表現の正確性			
文体、構造が正確で読みやすい。	一部文の構造が不安定だが、意味は通じる。	文体の混在や表現の粗さが目立つ。	意味が正確に伝わらない。
⑤自己点検・改善力			
問題点を自力で発見し、修正方針を説明できる。	指摘されれば理解し修正できる。	指摘されても理解が不十分。	指摘されても何が誤りか、気づけない。
⑥生成 AI 活用力			
分析結果を参考情報として整理し、判断に活用できる。	AI を使って要点整理はできるが、判断は教員に依存する。	AI の出力をそのまま使おうとする。	AI の使い方・位置づけを理解していない。
⑦自治体理解力			
募集要項等の分析に AI を補助的に使い、必要情報を抽出し、求める人材像を説明できる。	求める人材像をおおむね説明できる。	表面的な理解にとどまる。	募集要項の趣旨を理解できていない。
⑧学習姿勢			
本科目で得た考え方や AI の活用を次の段階でどのように利用するのか、想定している。	指示に沿って取り組んでいる。	受動的な参加にとどまる。	学習意義を理解できていない。

④評価方法

- ・ 出欠
- ・ 授業時の参加度（教員による観察）
- ・ 成果物の内容
- ・ テスト結果

(7) コマシラバス

①授業1：読解力の重要性、助詞

授業の位置づけ		
<p>本授業は、本科目における読解力育成の導入回となる。読解力＝国語の学習というイメージを持ってしまいがちである。しかし、本授業での読解力は、国語学習というよりは、公務員試験において求められる「正確に読む力」や「文の構造を把握する力」を育成し、公務員として必要な文章読解を育成するための授業である。その観点から、次の3つの項目について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none">1. 公務員試験における読解力の重要性2. 助詞に着目し、「誰が、何を、どうしたか」の把握3. 読解力理解のための概念・用語		
到達目標		
<ol style="list-style-type: none">1. 公務員試験において読解力の重要性を理解する2. 助詞により意味が変わることを理解する3. 読解力理解のために必要な概念のイメージをつかめる		
授業構成		
教材を基に「読解力の事例」→「読解力理解」→「課題」		
使用教材		
読解力育成教材		
授業進行		
導入	<p><input type="checkbox"/> 授業の目的の説明 本授業が試験対策だけではなく、デジタル活用においても基礎となる日本語力を育成するものであり、公務員としても文書処理能力が重要であることを伝える。</p> <p><input type="checkbox"/> P1 01 読解力の重要性 導入部分の発話からの流れで、身近な短文形式の例を示し（LINE等）、な</p>	<p><input type="checkbox"/> 教員発話例 公務員の仕事は、書類を作る仕事ではなく、書類を読み、判断する仕事です。法令、マニュアル、住民からの申請書、上司や他部署からの指示文など、公務員は毎日、大量の文章に触れます。その中から、「今、何が求められているのか」「どこまでやればよいのか」</p>

	<p>ぜ短文でも意思疎通が可能なのかを考えさせよう。短文と長文との文意の読み取りの難しさを伝える。</p>	<p>を正確に読み取る力が求められます。読解力は、試験のためだけでなく、公務員として働くための基礎力です。</p>
展開	<p><input type="checkbox"/> P3 02 読解力と助詞 教材にある例題文 A と文 B の文章のイメージを聞き、その違いを板書等で抽出する。</p> <p><input type="checkbox"/> P4 助詞の穴埋め問題 5分程度を目途として実際にテキストの穴埋め問題を書き込ませ、答え合わせを行う。</p> <p><input type="checkbox"/> P5～ 読解力理解のための概念・用語 読解力を理解するうえで必要になってくる文の構造を理解してもらうため、まずは各用語を一通り説明する。 そのうえで、テキスト内の例題を示しながら語句が部品の役割を担い、部品同士の関係性で文章が組み立てられていることを理解させる。</p> <p><input type="checkbox"/> 文章理解問題演習 1 の実施 問題演習を実施し、解説する。</p>	<p><input type="checkbox"/> 教師発話例 公務員の仕事では、「〇〇に提出」「〇〇へ送付」「〇〇を実施」の「に、へ、を」などの違いを読み誤るとミスを招くこととなります。また、試験時に助詞を理解せずに解答を行うと読み違いによる失点となります。 そのため、助詞といわれる「て、に、を、は」などの理解をしっかりと押さえましょう。</p>
まとめ	<p><input type="checkbox"/> 読解力の重要性を確認する。</p> <p><input type="checkbox"/> 助詞の役割をおさらいする。</p> <p><input type="checkbox"/> 次回、読解力に関する概念を詳しく確認することを伝える。</p>	
評価観点		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 読解力と公務員試験、読解力と公務員業務との接続を理解しているか 2. 教員の指示に従って教材のワークを行ったか 3. 問題演習に取り組んだか 		

評価基準（授業単位での評価の参考）

1. 授業の取り組み姿勢（質疑の発話、課題の取り組み）
2. 文章理解問題演習の正答数 3 問/ 7 問

□指導のポイントと対応

・P3 02 読解力と助詞

テキストにある例題を取り上げて文 A と文 B の文章のイメージを聞き、その違いを板書等で抽出する。

文 A：日本の古部には、京都と奈良がある。

文 B：日本の古部には、京都や奈良がある。

・P4 助詞の穴埋め問題

5分程度を目途として実際にテキストの穴埋め問題を書き込ませる。

学生に解答させ、空欄を埋めた後に教員が全文を読み、違和感がないかをクラス内で確認しながら答え合わせを行う。

また、授業進行例として5分間時間を設けて「て、に、を、は」を使って前日あった出来事を短文で記載するように指示し、作成された短文の「て、に、を、は」を変えた文を作成させ2文の違いを説明させる。

教員用例文：職員は、住民に説明を行った。→職員に住民は説明を行った。

文では、行為者が「職員」と「住民」に変わっている。行政文書においては、行為者が重要になる、そのため助詞によって行為者が変わる危険性を理解してもらう。

・P5～読解力理解のための概念・用語

係り受けでの説明

テキストの例題にある「悪い例」「修正」を使って文のねじれを解説する。

悪い例（ねじれ文）：「このプロジェクトの目的は、売上を向上させます。」

→文法的にねじれています。主語である「目的」は、「向上させる」という行動を行う主体（人や物）ではないため、「～ます」という動詞で結ぶことができません。

修正：「このプロジェクトの目的は、売上を向上させることです。」

「悪い例」から文のねじれとして主語の「目的」に対して向上「させる」という行動となっている点に注目させる。そのうえで、文の構造として「目的は」の後ろは、「～ことです」となることを説明する。区切ってつなぐ書き方は、使いすぎると、読みにくくなることを理解させることがポイントとなる。目安として、一つの文の中で3回以上つなぎが続いたら文を分けた方が分かりやすくなることを伝える。

・「～し、」の形

テキスト記載の例文「このスマホは画面が大きいし、色がきれいだ。」を基に解説する。

「このスマホは画面が大きいし、色がきれいだ」

説明の例示としては、次の通り。

この文は、「画面が大きい」「色がきれい」という二つの情報を、区切りながら一文で伝えている文です。このように、途中で一度区切ってから、次の内容につなぐ書き方を使うと、テンポよく説明できます。なぜ便利なのかこの書き方を使うと、特徴をまとめて言え、読むリズムがよくなる。また、箇条書きのように情報を出せる、という良さがあります。でも、使いすぎると情報が連続して続いて、原因はどこにあるのか、結果はどこにあるのか、が見えなくなる。

・ P6 ～「指示語の理解と省略の補完」「同義文」「定義文」「図表と文章の照合」「具体例の特定」までを学生に確認させる。

・「文章理解問題演習 1」の実施

問題解答時間は 20 分～30 分（学生理解度に応じて）を目安に設定。

解答、解説を実施。

なお、各学校で既存教材やテスト、プリント類などの学校独自教材類がある場合は、それを使用することも可能。

□使用教材（読解力育成教材）

01

読解力の重要性

なぜ今、「読解力」が問われるのか

「LINEならスタンプで済むのに、レポートだと通じないのはなぜ？」
普段の会話やチャットでは、主語が抜けていても「あうんの呼吸」で伝わります。しかし、大学の課題や仕事のメールではそうはいきません。ここでは、なぜ今あえて「読解力」を鍛える必要があるのかについて考えます。

1. 読解力とは

本教材で目指すのは、単に読解力や読解力ではありません。書かれたテキストを客観的かつ論理的に読み解く基礎的な能力です。正しい読解力が身につくと、以下のような変化が起こります。

- 問い合わせ対応の迅速化：相手のメールの意図を正確に把握し、的確な返信ができるようになるため、やり取りの回数が減ります。
- 資料作成の効率化：読解を招かない文章（わけのない文章など）が書けるようになり、レポートや論文の修正が減ります。
- 学習効率の向上：新しい知識（教科書や専門書）を自力で正確に理解できるようになります。

2. 「なんとなく読む」からの脱却

私たちは日常生活において、LINEやチャットツールなどを使った短いやり取りに慣れ親しんでいます。ここでは、文法的に完璧な文章でなくても、文脈や同様の表現で意味が通じることが多いので、それほど「助詞」や「文構造」を意識していません。

1

しかし、この「なんとなく読む・書く」習慣が、ビジネスや学術的な場面では大きな落とし穴となります。説明文や報告書、契約書などを読む際、書き手の意図を正確に読み取るためには、感度ではなく論理に基づいた「読解力」が必要不可欠です。

3. 読解力が招くコストとリスク

学校の課題やアルバイトの現場で、先生や先輩に報告をした際、「なんだかよくわからない」と言われたり、マニュアルを読んだはずなのに手順を間違えたり、といった経験はありませんか？これらは多くの場合、読み手の「能力不足」というよりは、「自己読解の読み方」が原因です。キーワードだけを拾い読みし、自分の知識や思い込みで勝手なストーリーを作って解釈してしまう——これが「読解」の正体です。読解は、仕事の手裏（やり直し）を生じさせ、組織全体の生産性を著しく低下させます。逆に言えば、正確な読解力を身につけることは、個人の作業効率を劇的に向上させ、チーム全体のパフォーマンスを底上げすることにつながります。

3. 「読める」という思い込み

多くの人は、「自分は日本語のネイティブスピーカーであり、読解教育を受けたのだから、日本語は読める」と考えています。企業側も「大人なんだから、少し注意すればちゃんと読める（書ける）だろう」と甘く見ています。しかし、「多くの大人が、教科書レベルの文章であっても、正確には読めていない」という事実です。例えば、「AはBである」という単純な定義文や、「AならばBである」という論理構造を、要約例で読み流してしまっているケースが非常に多いのです。この「読めているつもり」の状態こそが、スキル向上の最大の障壁となります。

5. 生産性向上のために

実際ある組織では、新聞の見出しとリード文を使って、論理的な文章を再構築するトレーニングを実施しました。参加者は当初、文章をひねり出すのに1時間近くかかっていましたが、トレーニングを続けるうちに短時間で正確な文章が書けるようになりました。結果として、チームの生産性が向上したと報告されています。読解力は、才能ではなく「技術」です。正しいトレーニングを繰り返せば、誰でも確実に向上させることができます。次章からは、その具体的なメカニズムとトレーニング方法を学んでいきましょう。

2

02

読解力と助詞

読解力を左右するのは「語彙」か「助詞」か

「君が好き」と「君も好き」。たった一文字で意味は大違い。
「て・に・を・は」などの助詞は、日本語の骨格です。単語の意味を知っていても、助詞を誤り間違えれば意味は180度変わってしまいます。ここでは、キーワード拾い読みを卒業し、助詞に注目して文を正しく読むトレーニングを行います。

1. 「と」と「中」の違いが意味を変える

助詞とは、言葉と言葉をつなぎ、その関係性や役割（主語、目的語など）を決定づける「て・に・を・は」などの言葉のことです。
助詞一つで意味がどう変わるか、具体的な例を見てみましょう。

文A：日本の古都には、京都と奈良がある。
文B：日本の古都には、京都や奈良がある。

この2つの文は、同じ意味でしょうか？ 答えは「異なる」です。「と」は並列を表し、列挙したもので「すべて」であることを意味します。つまり文Aは「日本の古都と呼ばれるものは、京都と奈良の2つだけである」と言っています。一方、「や」は例示を表します。文Bは「日本の古都の例として京都と奈良がある（他にも鎌倉などがあるかもしれない）」という意味を含みます。たった1文字の違いですが、論理的な正確さが求められる科学の定義や契約書においては、この違いが致命的な誤解を生むことになります。

2. キーワード拾い読みの限界

「文章が読めない」と悩む人の多くは、「自分に語彙力がないから（新しい言葉が知らないから）」と考えがちです。しかし実際は、読解力を決定づける最も原始的（プリミティブ）で重要な要素は、「助詞の使い方の誤り」です。例えば、難しい専門用語を知っていたとしても、それらをつなぐ「て・に・を・は」の解釈を間違えれば、文の

3

意味は180度変わってしまいます。逆に、キーワードの意味がわからなくても、助詞の働きさえ正確につかめれば、文の構造（何が主語で、何がどうなったか）は見失いません。

3. 助詞の穴埋め問題

実際に、中学校の教科書に使われている文章で、助詞の力を試してみましょう。以下の（ ）に適切な助詞を入れてください。

朝廷は、農民（ ）開墾した土地（ ）私有地として認め、税（ ）納めさせました。農民（ ）与えられた土地と、そこから得られる収穫物（ ）賦税に管理されました。

いかがでしょうか。なんとなくで読んでいませんか？ 正解は順に、「が」「を」「を」「に（またはが）」「は（またはが）」です。特に最初の「農民が」を間違えるケースが多く見られます。「農民を税納した」としてしまったり「開墾した」のは誰か（動作の主体）を捉える力が問われます。このように、助詞一文字で「誰が何をしたか」という歴史の因果関係がまったく変わってしまうのです。

4. 助詞力と構文理解の相関関係

文の構造を把握する力と、助詞を正しく使う力には、密接な関係があることが分かっています。つまり、「助詞を正しく使える人」＝「文の構造が正しく見える人」なのです。日本語の文構造が身体に染み付いているかどうかは、読解のスピードと正確さを左右します。そのため、キーワードの穴埋めではなく「助詞の穴埋めトレーニング」を行うことが推奨されます。文章から助詞を抜いたものを用い、そこに適切な助詞を埋めさせる訓練は、誤読を防ぐための非常に効果的な「単語体操」となります。

まとめ

読解力を高めるために、難しい単語を暗記する必要はありません。まずは、日常的目にする文章の「て・に・を・は」に意識を向け、文の骨組みを正しく捉える習慣をつけることから始めましょう。

4

03

読解力理解のための概念・用語

読解力育成で問われる重要キーワード

論理的な文章作成において類出する重要な概念・用語について解説します。これらを理解することは、自分の「読み・書き」のクセを修正する鍵となります。

1. 係り受け（かかりうけ）

文の中の言葉と言葉のつながりのことです。どの言葉が、どの言葉と詳しく説明（修飾）しているかという関係を指します。特に重要なのが「主語と述語の関係」です。文が長くなると、主語と述語が離れてしまい、べアがかみ合わなくなることがあります。

悪い例（おぼれ文）：「このプロジェクトの目的は、売上を向上させます。」

一文法的にねじれています。主語である「目的は」、「売上を向上させる」という行動を行う主体（人や物）ではないため、「～ます」という動詞で結ぶことができません。

修正：「このプロジェクトの目的は、売上を向上させることです。」

→主語が「目的」「趣味」「理由」などの場合、述語ではその中身が「何であるか」といった名詞の形で結び、「A（目的）⇒B（～ということ）」の関係をつくるのが基本です。

このような「おぼれ文」を書いてしまう人は、文の骨格を掴む「文の構造把握」の理解が低い傾向にあります。

2. 「～し、」の形

「このスマキは画面が大きいし、色がきれいだし」というように、動詞や形容詞の連用形で文を一旦区切り、次の文へとつなげる手法です。リズムを作るのに便利な表現ですが、多用しすぎると「～し、～であり、～して」と文がだらだら続き、何が原因で何が結果なのか不明瞭になります。一つの文の中で「～し、」の形が3回以上使われている場合は、読みにくさを解消するために、文を二つに分けるなどの修正が必要です。

3. 指示語の理解と省略の補充

「これ」「それ」「彼」などの指示代名詞が何を指しているかを特定することを「指示語の理解」と言います。さらに日本語では、文脈から明らかであれば主語や目的語をわざわざ書かないことがよくあります。

例：「新しい駅ビルの建設について、A建設は計画を発表した。
来月には竣工される予定だ。」

後半の文には「建設」が竣工するかが書かれていませんが、文脈から「A建設」であることがわかります（省略の補充）。新聞記事やビジネスメールでは、文字数を減らすためにこの省略が多用されます。「誰が竣工するのか？」のように、省略された主語を国内で補充しながら読み力が、文脈を正しく追うための鍵となります。

4. 同義文

使われている単語や語彙が違っても、意味内容が論理的に同じである文のことです。

例（語彙と文脈）：「部長が部下を褒めた」と「部下は部長に褒められた」
例（数学的な言い換え）：「全生徒の25%」と「全生徒の4分の1」

相手の難解な説明を「つまり、〇〇ということですね?」と自分の言葉で要約して理解するスキルは重要ですが、これはまさに「言い換える理解」の能力そのものです。

5. 定義文

「AとはBのことである」「AをBという」といった形式で、言葉の意味や概念をルールとして定める文のことです。仕様書や契約書において、最も読み飛ばしてはいけない部分です。

6. 図表と文章の照合

文章と、図表（グラフや図）の内容を正しく対応させる能力です。ビジネス資料でよくあるのが、グラフから読み取れる事実と、個人の感想を混同してしまうミスです。グラフを正しく読む（または説明する）ためのポイントは以下の通りです。

タイトルを「そのまま」主語にする：グラフを読むとき、多くの人は無意識に言葉を変換してしまいます。例えば、「気温の低下」というタイトルのグラフを見て、「暑くなった」と言ってしまうのがその例です。「暑い」は人が感じる感覚（感想）であり、グラフには書かれていません。正しくは、タイトルの言葉を使い、「気温が上昇した」と読み解きます。このように、タイトルの言葉をそのままの主語にすることで、主観が入るのを防ぎます。

客観的な表現を使う：「急激に増えた」「わずかに減った」といった主観的な形容詞は人によって感じ方が違うため、データの説明としては不適切です。「前年比1.5倍になった」「3%減少した」のように、数値を根拠にした言葉を使います。

割合か人数か：「失業率（%）」が下がっていても、人口が増えていれば「失業者数（人）」は増えているかもしれません。割合のグラフなのか、人数（量）のグラフなのかを区別することは、データ読解の基本です。

7. 具体例の特定

言葉の定義を掴み取り、その定義に当てはまる具体的な事例を選び出す能力です。例えば、「高数とは、1と自分自身以外では割り切れない自然数のことである」という定義文を読み、具体的な数字（例：2や7）がそれに当てはまるかを判断することです。なんとなく知っている知識で解くのではなく、書かれている「定義」のルール通りに特定する厳密さが求められます。

まとめ

これらの用語は、読解力を利用する6つの能力（文の構造把握、指示語の理解と省略の補充、言い換える理解、推論、図表と文章の照合、具体例の特定）と密接に関わっています。日々の読書や業務の中で、「あ、今は主語が省略されているな」「これは定義文だから厳格に引こう」と意識することで、漫然とした読書が論理的なトレーニングへと変わります。

②授業2：文の構造把握、指示語の理解と省略の補完、言い換えの理解

授業の位置づけ	
<p>読解力単元の基礎段階として、文章を一文ずつ追う読み方から、構造を捉えて理解する読み方へ移行する回に位置づける。助詞・係り受けを踏まえつつ、文の構造、指示語、省略、言い換えといった要素を整理することで、公務員試験の文章理解問題に必要な「読み落とさない力」を形成する。その観点から、次の3つの項目について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章の構造を理解し、適切な主語、述語を把握する。 2. 指示語が示す言葉を理解して文章を読む。 3. 言い換えについて理解する。 	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文の構造（主文・補足・具体）を意識して読める 2. 指示語が何を指しているかを文中から特定できる 3. 言い換え表現を同一内容として捉えられる 	
授業構成	
教材を基に「読解力の事例」→「読解力理解」→「課題」	
使用教材	
読解力育成教材	
授業進行	
導入	<p>□授業の目的の説明</p> <p>教員は、「文章理解問題で間違える原因の多くは、語彙不足ではなく文章のつながりを捉えられていないこと」であることを説明する。そのうえで、「今日は、文章の中で“何がどうつながっているか”を確認する読み方を学ぶ」と授業の狙いを示す。</p> <p>□教員発話例</p> <p>「公務員試験の文章理解問題で間違える理由を見ていくと、難しい言葉が分からないからではなく、文章のつながりを取り違えているケースがとても多いです。</p> <p>たとえば、『これ』『それ』『このような』と書いてあるとき、それが何を指しているのかを確認し</p>

		<p>ないまま読んでしまう。あるいは、書かれていない主語や目的語を、自分の思い込みで補ってしまふ。今日は、そういった読み間違いを防ぐために、文章を一文ずつ追うのではなく、この文は何を説明しているのか、どこが中心で、どこが補足なのか、という視点で文章を読む練習をします。国語の授業のように正解を当てることが目的ではありません。試験でミスをしない読み方を理解することが今日のゴールです。」</p>
<p>展 開</p>	<p><input type="checkbox"/> P8 04 文の構造把握 主となる内容/補足説明の切り分けをし、一文・一段落の中で何が中心の説明かどこが補足・具体かを切り分けて読むように指導する。</p> <p><input type="checkbox"/> P10 05 指示語の理解 指示語は必ず前後のどこかを指している。指示語を見つけたら、「何を指しているか」を必ず確認するように伝える。教材を使用し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指示語が含まれる文を抜き出す。 ・ 矢印や線で「指している内容」を結ばせる。 <p><input type="checkbox"/> 省略の補完 日本語の文章では、主語・目的語が省略されることが多い。そのため、省略された内容は、前後の文から補う。</p>	<p><input type="checkbox"/> 教師発話例 「『これ』って書いてあったら、必ず『これ=何?』と止まってください。なんとなく分かった、で先に進むと、後で必ずズレます。」 「指示語は、前の文をちゃんと読んでいますか、というチェック問題だと思ってください。」</p> <p><input type="checkbox"/> 教員発話例 「省略は、前後をちゃんと読めている人だけが補える仕組みです。」</p>

	<p>教材の例題を示し、省略の解説を行う。</p> <p><input type="checkbox"/> P12 06 言い換えの理解 同じ内容が、別の言葉・別の言い方で書かれていることを理解させる。 「新しい話」ではなく「同じ話を言い直している」ことに気づかせる。</p> <p><input type="checkbox"/> 文章理解問題演習2の実施 問題演習を実施し、解説する。</p>	
まとめ	<p><input type="checkbox"/> P9～問題1～7までを解答させ、解説する。</p> <p><input type="checkbox"/> 文の構造・指示語・省略・言い換えを意識する。</p>	
評価観点		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文の構造を意識して読もうとしているか 2. 指示語・省略・言い換えを根拠に判断できているか 		
評価基準（授業単位での評価の参考）		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の取り組み姿勢（質疑の発話、課題の取り組み） 2. 構造・指示語等をふまえて内容を説明できる 		

指導のポイントと対応

- ・ P8～文の構造把握

例題の中から、主語と述語を見つけさせて文の骨格を確認します。

世界中の海に広く分布し、地球史上最大の動物とされるシロナガスクジラは、主にオキアミという小さな甲殻類を食べて生活している。

- ・ P10～指示語の理解と省略の補完

文を簡潔にするために主語、目的語が省略されることを例題で示し、文の読み取りにおいて、なんとなく読めるのではなく、何が省略されているかを意識して読み取れることを伝える。

東京スカイツリーは、日本で最も高い建造物である。最上部に位置する展望台は地上 450 メートルの高さにあり、晴れた日には関東平野を一望できる。

主語が展望台であり、同文中の「、」の後も主語が変わっていないことを確認させる。

・ P12～言い換えの理解

学生の思い込みとして「言葉が似ている＝同じ意味」という判断にならないように伝え、根拠をもって考えることの重要性を示す。特に、助詞や修飾語の位置に注意を払うように伝え、試験問題の読み取りでも同様の注意が必要になることも加える。

・ 「文章理解問題演習 2」の実施

問題解答時間は 20 分～30 分（学生理解度に応じて）を目安に設定。

解答、解説を実施。

なお、各学校で既存教材やテスト、プリント類などの学校独自教材類がある場合は、それを使用することも可能。

□使用教材（読解力育成教材）

04 文の構造把握

「文の構造把握」とは、文の構造（骨組み）を把握する力です。どの言葉がどの言葉を修飾しているか、主語に対する述語はどれかを瞬時に見抜く能力が問われます。

Point

- 主語と述語のペアを見つける
長文でも「誰が」「どうした」の骨幹を見失わない。
- ねじれ文を防ぐ
「こと」「もの」などの形式名詞を使って、主語と述語の整合性を保つ。
- 「～し」「～で」の形の多用を避ける
「～し」「～で」のように動詞や形容詞の連用形で文を一旦区切ってつなげる表現を活用中止と言ひ、リズムをつくるには便利だが、主語と述語の関係が見えにくくなるための注意が必要。

【例題】（修飾語と被修飾語）
以下の文を読みなさい。

世界中の海に広く分布し、地球上最大級の動物とされるシロナガスクジラは、主にオキアミという小さな甲殻類を食べて生活している。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

主にオキアミを食べて生活しているのは（ ）である。

① 海 ② 地球 ③ 動物 ④ シロナガスクジラ

8

【例題の解答・解説】
正解：④
文の骨格（主語と述語の関係）をつかむ問題です。この文の述語部分は「食べて生活している」です。では、「誰が」食べているかを文脈から見ると、「シロナガスクジラ」という主語が見つかります。

【問題 1】（長い修飾語の解釈）
以下の文を読みなさい。

秦の始皇帝によって遠征・延長され、その後も増強が繰り返された万里の長城は、北方騎馬民族の侵入を防ぐための巨大な防壁である。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

北方騎馬民族の侵入を防ぐための防壁は（ ）である。

① 始皇帝 ② 万里の長城 ③ 騎馬民族 ④ 秦

【問題 2】（定義の主語特定）
以下の文を読みなさい。

スマートフォンの普及に伴い、個人の行動履歴や購買データなどを活用したデジタルマーケティングという手法が、多くの企業で採用されている。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

多くの企業で採用されているのは（ ）である。

① スマートフォン ② 行動履歴 ③ デジタルマーケティング
④ データ

9

05 指示語の理解と省略の補充

「指示語の理解」とは、指示代名詞（これ、それ）や、省略された主語・目的語（省略の補充）が、具体的に何を指しているかを正しく把握する能力です。特に新聞のリード文やビジネス文書では、内容を簡潔にするために言葉が省略されることが多く、「何が」その動作を行なったのかを見失いがちです。

Point

- 省略の補充を見つける
文中で省略されている主語や目的語に気付き（ ）で補ってみる。
- 直前を探す
指示語や省略された言葉は、基本的に直前の文中節にある名前を指す。
- 文脈を補う
「～と考えられている」などの文末表現も含め、誰の見解なのか、誰の動作なのかを整合させる。

【例題】（主語の省略）
以下の文を読みなさい。

東京スカイツリーは、日本で最も高い建造物である。最上部に位置する展望台は地上450メートルの高さにあり、晴れた日には関東平野を一望できる。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを1つ選びなさい。

晴れた日に関東平野を一望できるのは（ ）である。

① 東京スカイツリー ② 最上部 ③ 展望台 ④ 地上

10

【例題の解答・解説】
正解：③
問題の文は「展望台は」という主語が始まっており、文の途中で主語が変わらない限り、後半部分では主語が省略されます。そのため、「地上450メートルの高さにあり」に続く、「関東平野を一望できる」の主語も、そのまま「展望台」となります。全体の話題であるスカイツリーではなく、その文の直後の主語を選ぶのが正解です。

【問題 3】（主語の特定）
以下の文を読みなさい。

浮世絵は、江戸時代に成立した日本の絵画ジャンルの一つである。ゴッホやモネなどの西洋の画家たちにも大きな影響を与え、ジャポニスムというブームを引き起こした。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを1つ選びなさい。

西洋の画家たちにも大きな影響を与えたのは（ ）である。

① 浮世絵 ② 江戸時代 ③ ジャポニスム ④ ブーム

【問題 4】（指示語の内容）
以下の文を読みなさい。

近年、AI技術の進化により、自動翻訳の精度が飛躍的に向上している。このことは、言語の壁を越えたコミュニケーションを促進し、ビジネスや観光の分野に大きな変化をもたらしている。

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを1つ選びなさい。

言語の壁を越えたコミュニケーションを促進しているのは（ ）である。

① AI技術 ② 自動翻訳 ③ 自動翻訳の精度の向上 ④ ビジネスや観光

11

06

言い換えの理解

「言い換えの理解」とは、2つの文が表す意味が「同じ」か「異なる」かを正しく判断する能力です。一見似ている文でも、助詞ひとつ、修飾語の位置ひとつで意味が大きく異なることがあります。

Point

- 助詞の機能に注目する
特に「と」「や」の違いは重要です。「と」は並列（全部）、「や」は例示を表す。
- 能動と受動
「AがBを～した」と「BはAに～された」のような態の変換を正しく読み取る。
- 語順と修飾
数字の文末置などでは、語順を変えて意味を変えずに言い換える（指代する）力が必要。

【例題】（能動と受動の言い換え）

以下の文を読みなさい。

夏目漱石は、近代日本人の精神的苦悩を描いた傑作「こころ」を執筆した。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか、「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

近代日本人の精神的苦悩を描いた傑作「こころ」は夏目漱石によって執筆された。

- ① 同じである ② 異なる

12

【例題の解答・解説】

正解：①

これは「AがBを執筆した」という能動文を、「BはAによって執筆された」という受動文に書き換えたもので、意味内容は完全に一致します。

【問題5】（因果関係の逆転）

以下の文を読みなさい。

地球温暖化が進行し海面水温が上昇したため、台風の勢力が強まった。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。

台風の勢力が強まった結果、地球温暖化が進行し海面水温が上昇した。

- ① 同じである ② 異なる

【問題6】（並列と例示）

以下の文を読みなさい。

光の三原色は、赤と緑と青である。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。

光の三原色は、赤や緑や青である。

- ① 同じである ② 異なる

【問題7】（数量・範囲の包含関係）

以下の文を読みなさい。

ペンギンの中には、南極大陸以外に生息する種も存在する。

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。

すべてのペンギンは、南極大陸に生息しているわけではない。

- ① 同じである ② 異なる

13

③授業3：推論・図表と文章の照合・具体例特定による文章理解

授業の位置づけ	
<p>第3回は、構造的な読み方を基礎として、書かれている情報を根拠に判断する「推論」の力を育成する回に位置づける。</p> <p>文章と図表を照合し、具体例がどの内容を説明しているかを整理することで、教養試験の文章理解問題への対応力を高める。その観点から、次の3つの項目について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章に書かれている情報を根拠として判断する 2. 文章・図表・具体例を相互に照合し、情報の対応関係を整理する 3. 教養試験の文章理解問題に直結する実践的な読解力を定着させる 	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 書かれている内容を根拠に推論できる 2. 図表や数値と文章の内容を照合できる 3. 具体例がどの説明に対応しているか特定できる 	
授業構成	
教材を基に「読解力の事例」→「読解力理解」→「課題」	
使用教材	
読解力育成教材	
授業進行	
導 入	<p>□授業の目的の説明</p> <p>「なんとなく考える」のではなく、「書いてあることを根拠に判断する」読み方を理解することが、公務員試験対策でも有効であることを伝える。</p> <p>「勝手に考えたこと」と「根拠から言えること」を常に区別させることがポイント。</p> <p>□教員発話例</p> <p>「前は、文章の中で何がどこにつながっているかを意識して読む学習をしました。その読み方を使って、文章理解問題でよく出る「推論」の問題に取り組みます。ここで一つ大事なことを言います。推論問題は、考えを広げる問題ではありません。想像力を働か</p>

		<p>せる問題でもありません。推論とは、文章や図表に書いてある情報を材料にして、そこから言えることを判断する作業です。よくある間違いは、『たぶんこうだと思う』『自分だったらこう考える』と、文章に書いていないことを足してしまうことです。また、公務員試験では、文章だけでなく、グラフや表と一緒に出てくることがあります。今日は、この図や数字は、文章のどこを説明しているのか、この具体例は、何を分かりやすくするために出ているのかを確認しながら読んでいきます。作文や面接試験でも、『なぜそう言えるのか』と聞かれますよね。そのときに必要なのが、根拠をもとに説明する力です。今日は、なんとなくそう思った、ではなく、ここにこう書いてあるから、こう言える、という読み方を理解することを目標に進めていきましょう。」</p>
<p>展 開</p>	<p><input type="checkbox"/>P14 07 推論 推論とは何かを確認し、推論＝想像ではなく、文章に書かれている情報を材料にした判断であることを整理する。</p> <p><input type="checkbox"/> P16 08 図表と文章の照合 図表・グラフ・数値が文章のどの部分を説明しているかを確認する。</p>	<p><input type="checkbox"/>教員発話例 「推論問題は、頭をひねる問題ではありません。書いてある情報を集めて、整理する問題です。」</p>

	<p>図表を「単独で見る」のではなく、必ず文章とセットで読む練習を行う。</p> <p>□P18 09 具体例の特定 具体例は「新しい主張」ではなく、「説明を補うもの」であることを確認する。</p> <p>具体例が、どの説明・主張を支えているかを特定する。</p> <p>□P15～問題 8～11 までを解答させ、解説する。</p> <p>□文章理解問題演習 3 の実施 問題演習を実施し、解説する。</p>	
ま と め	<p>□常に書いてあるか、根拠はどこかを問い返す推論を「感覚」から「作業」に変えることがゴール</p>	
評価観点		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 根拠をもとに推論しようとしているか 2. 図表・具体例を文章と結びつけて理解できているか 		
評価基準（授業単位での評価の参考）		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の取り組み姿勢（質疑の発話、課題の取り組み） 2. 根拠を示しながら推論・判断ができる。 		

□指導のポイントと対応

・P14～推論

推論することと、自らの思い込みや経験値で過剰推論することの違いを理解させる必要がある。そのため、テキストのポイントから推論の条件等を確認する。

Point

- ①前提条件の確認
文章中に示された条件（AならばB）を見逃さない。
- ②既存知識の活用
学習した知識を文章に当てはめて考える。
- ③論理の飛躍を避ける
「たぶんだろう」という思い込みではなく、文中の根拠に基づく。

推論は、文の中心条件、因果関係を把握していない状態で行うと誤るため、推論問題では必ず「事実（本文に書いてあること）」「条件（いつ、どの場合か）」「そこから言えること」の順序を守らせることを伝える。

・ P16～図表と文章の照合

図表と文章の照合は、公務員試験問題を解くうえでも重要になることを伝え、図表だけ見て文章を読み飛ばさないように注意を促す。そのうえで、図表は文章に書いてある内容を別の形で示したものであり、文章を整理したものが図表になるというイメージで取り組むことを伝える。

また、照合が苦手な学生は、頭の中だけで対応させようとして混乱する傾向があることから、本文に線、図表に丸を付けさせ一対一で対応させる作業を入れて考える方法もあることを伝える。

・ P18～具体例の特定

学生の陥りやすいミスとして、具体例を読んで満足してしまう、例をそのまま答えにしてしまうことがあるため、具体例は説明のための材料であり、答えはその上位にある内容であることが多いこと、また、具体例を見つけたら、必ず「何を説明するための例か」を問うことを意識させる。そのうえで、テキストのポイントを確認し、例題を解説する。

・ 「文章理解問題演習3」の実施

問題解答時間は20分～30分（学生理解度に応じて）を目安に設定。

解答、解説を実施。

なお、各学校で既存教材やテスト、プリント類などの学校独自教材類がある場合は、それを使用することも可能。

□教材サンプル

07 推論

「推論」とは、書かれている情報と、既存の知識（一般常識や文脈）を組み合わせて、明示されていない事実を導き出す能力です。

Point

- 前提条件の確認
文章中に示された条件（AならばB）を見逃さない。
- 既存知識の活用
学習した知識を文章に当てはめて考える。
- 論理の飛躍を避ける
「たぶんこうだろう」という思い込みではなく、文中の根拠に基づく。

【例題】（机上級と比較級）
以下の文を読みなさい。

信濃川は日本で最も長い川である。

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか。「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

利根川は信濃川よりも短い。

① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

14

【例題の解答・解説】
正解：①
「信濃川—日本—長い」という前提があるため、信濃川以外のすべての日本の川（利根川を含む）は、信濃川よりも短いこととなります。したがって論理的に「正しい」となります。

【問題8】（包含関係）
以下の文を読みなさい。

哺乳類はすべて肺で呼吸をする動物である。

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか。「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

イルカが肺で呼吸をすることはない。

① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

【問題9】（統計的産生と個人の属性）
以下の文を読みなさい。

あるアンケート調査によると、20代の男性の80%が「スポーツが好きだ」と回答した。

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか。「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

20代男性であるAさんは、スポーツが好きだ。

① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

15

08 図表と文章の照合

「図表と文章の照合」とは、文章と図表（グラフ、地図、模式図）を正しく対応させる能力。文章で説明されている内容をグラフから読み取ったり、逆にグラフの特徴を言葉で表現したりする力です。

Point

- 形容詞と動詞をチェックする
「高い円」なのか、「白い円」なのか、「右にある」のか「右へ移動した」のか、細部の条件を見逃さない。
- 数値と割合の照合
グラフ問題では、文章にある数値（例：60%）や大小関係（AはBより多い）が、図に正確に反映されているか計算して確かめる。
- 消去法で絞り込む
「この条件は満たしているが、あの条件は満たしていない図は除外していく」「なんとなく合っている」ではなく「ここが違うからダメ」と判断する。

【例題】（図形と条件の照合）
以下の文の内容を表す図として適当なものをすべて選びなさい。

白い正方形の中に、灰色の三角形がある。

①  ②  ③  ④ 

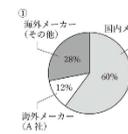
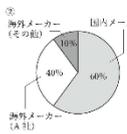
16

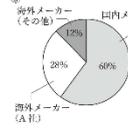
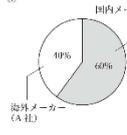
【例題の解答・解説】
正解：①③
文章の条件は、外側が「正方形」であり、その正方形の中に「灰色」の「三角形」があることです。この条件を満たす図をすべて選びましょう。

①：すべての条件を満たしているので正解です。
②：色の条件が逆（正方形が灰色、三角形が白）なので不適当です。
③：正方形は傾いていても「正方形」という定義は変わりありません。他の条件も満たしているので正解です。
④：「中に」という位置関係の条件を満たしていないため不適当です。

【問題10】（割合と内訳の計算）
以下の図のうち、下記の説明から読み取れる「ある商品の市場シェア」を表すグラフとして正しいものを選びなさい。

説明：国内メーカーのシェアが全体の60%を占めている。残りの40%は海外メーカーであるが、その海外メーカーのシェアのうち3割をA社が占めている。

①  ② 

③  ④ 

17

09

具体例の特定

「具体例の特定」とは、定義文（～とは…のことである）を読み取り、その定義に当てはまる具体的な事例を選び出す能力。典型的な定義を、現実の事象に適用する力です。

Point

- 定義文の特定
「～とは」「～を…という」という形の文（定義文）を探し出す。
- 条件の確認
定義に含まれる条件を一つずつ確認する。
- 当てはめ
具体的な事例が、そのすべての条件を満たしているかチェックする。

【例題】（条件分岐の適用）

以下の文を読みなさい。

西暦年数が4で割り切れる年は「うるう年」である。ただし、100で割り切れる年は「平年（うるう年ではない）」とする。しかし、100で割り切れる年であっても、400で割り切れる年は「うるう年」とする。

「うるう年」をすべて選びなさい。

- ① 2000年 ② 2024年 ③ 2100年 ④ 2022年

18

【例題の解答・解説】

正解：①②

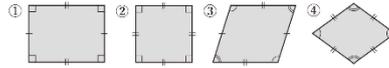
定義文に含まれる3つの条件（①4で割れる＝うるう、②100で割れる＝平年、③400で割れる＝うるう）を順に適用します。

【問題11】（定義の包含関係）

以下の文を読みなさい。

4つの角がすべて直角である四角形を「長方形」という。4つの辺の長さがすべて等しい四角形を「ひし形」という。

「長方形」をすべて選びなさい。



【問題12】（例外規定の処理）

以下の文を読みなさい。

整数において、3で割り切れる数を「Aグループ」と呼ぶこととする。ただし、3で割り切れる数であっても、2でも割り切れる数は「Bグループ」とし、「Aグループ」には含まない。

「Aグループ」に含まれる数をすべて選びなさい。

- ① 6 ② 9 ③ 12 ④ 15

19

④授業 4 : 読解力確認テストと解説

授業の位置づけ	
<p>第4回は、これまで学習してきた文の構造把握、指示語・省略・言い換え、推論、図表と文章の照合、具体例の特定といった読解力の要素が、どの程度定着しているかを確認し、理解を補正する回として位置づける。単なる確認テストではなく、「なぜその選択肢が正解になるのか」「どこを読み取れていなかったのか」を言語化することで、文章理解問題に対する解答力を高める。</p>	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 読解力テストを通じて、自身の理解度を把握できる 2. 各設問について、正誤の理由を文章構造や文脈を根拠に説明できる 3. 読解力の各要素（構造・指示語・推論等）を意識して文章を読み直せる 	
授業構成	
<p>導入（5分）→確認テスト（40分）→解答・解説（40分）→まとめ（5分）</p>	
使用教材	
<p>読解力確認テスト</p>	
授業進行	
<p>導入</p>	<p>□授業の目的の説明</p> <p>今回のテストが「点数をつけるため」ではなく、自分の読み方のクセを知るためのものであることを説明する。</p> <p>そのうえで、「間違えた問題」よりも「なぜ間違えたのか」が重要であることを強調する。</p>
	<p>□教員発話例</p> <p>「今日は、これまでの読解力の授業を受けて、自分の読み方がどこまで身についているかを確認する回です。最初に大事なことを言います。今日行うテストは、誰かと比べるためのテストでもありません。このテストの目的は、自分がどこは読めていて、どこで読み間違いやすいのかを知ることです。公務員試験の文章理解問題で点を落とす原因は、文章をどう読んで</p>

		<p>いるかのクセにあることがほとんどです。今日は、文の構造を意識して読めているか、指示語や省略を正しく追えているか、推論のときに、自分の考えを足していないか、こういった点を、自分で確認する時間だと思ってください。解けなかった問題があっても、まったく問題ありません。むしろ、『なぜ間違えたかが分かる問題』が見つかることが一番の成果です。テストのあとには、『なぜその答えになるのか』や『どこを読めばよかったのか』を一緒に確認します。ですから、正答数よりも読み方を見直すことを意識して取り組みましょう。」</p>
<p>展開</p>	<p>□読解力問題（30題） 「直感」ではなく、「文中の根拠」を探しながら解答させる。</p>	<p>□教師発話例 「推論問題は、頭をひねる問題ではありません。書いてある情報を集めて、整理する問題です。」</p>
<p>まとめ</p>	<p>□解答・解説 正解の理由だけでなく、誤答が生じやすい読み方を重点的に解説する。 解説の視点例： ・文の構造把握 ・主語と述語の対応関係の確認 ・指示語・省略 ・「それ」「この問題」が指す内容の特定 ・言い換え</p>	<p>□教員発話例 「これまでの授業で『読解力はセンスではなく、やり方だ』ということを理解してもらえたと思います。このあと、作文の授業を行います。作文でも一番大事なものは、テーマを正しく読み取り、何を書けばいいかを間違えないことです。今回学んだ読み方は、文章理解だけでなく、作文、面接試験、</p>

<p>「書いてあること」からしか判断できないことの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図表 <p>図は文章の補足説明であるという位置づけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体例 <p>定義文に合致するかどうかの確認</p> <p><input type="checkbox"/> 必要に応じて、「どこを見れば判断できたか」を学生に発言させ、読み方を共有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 読解力授業のまとめとして、以下を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文の構造を意識する ・ 指示語や省略を止まって確認する ・ 書いてあることを根拠に判断する 	<p>そして実際に公務員になってから文章を読むときにも役立ちます。」</p>
<p>評価観点</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文の構造や文脈を意識して解答しているか 2. 正誤の理由を文章中の根拠をもとに説明しようとしているか 	
<p>評価基準（授業単位での評価の参考）</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 設問ごとに根拠を示し、正誤の理由を説明できる 2. 指摘があれば、文構造や文脈に基づいて説明できる 	

□指導のポイントと対応

確認テストにある問題のうち、代表的な6問題と項目理解のポイントを示す。

①文の構造把握（主語・述語・修飾関係）

・抽出問題【問題1】

「急速なデジタル化が進む現代社会において、情報セキュリティの確保は、企業が信頼を維持するために不可欠な経営課題となっている。」

企業が信頼を維持するために不可欠な経営課題となっているのは（ ）である。

選択肢：①現代社会 ②デジタル化 ③情報セキュリティの確保 ④企業

・抽出理由

- ・主語（情報セキュリティの確保）と修飾語（現代社会において、企業が～ために）を切り分ける必要がある。
- ・「近くにある名詞」を選ぶ誤答が非常に出やすい。
- ・文の骨格を追わないと解けない典型問題であり、構造把握の解説に最適。

② 指示語の理解・省略の補完

・抽出問題【問題 5】

「電子書籍は利便性が高い。一方で、独特の質感やページをめくる楽しさがあるのは紙の本である。」

独特の質感やページをめくる楽しさがあるのは（ ）である。

選択肢：①電子書籍 ②普及 ③紙の本 ④人

・抽出理由

- ・「一方で」「あるのは」という表現から、何が対比されているかを正しく追う必要がある。
- ・主語が省略されており、前文を参照しないと判断できない。
- ・指示語・省略の典型的な読み違いを解説しやすい。

③ 言い換えの理解（条件・表現の同一性）

・抽出問題【問題 2】

「この大会は、練習に参加した選手、または参加申込をした選手が出場資格を有する。」

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか。「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

「この大会は、練習に参加した選手であり、かつ参加申込をした選手が出場資格を有する。」

① 同じである ② 異なる

・抽出理由

- ・語彙ではなく、条件構造（または/かつ）の理解が問われる。
- ・「雰囲気似ている」と誤答しやすい。
- ・作文・面接試験での条件誤読防止にも直結する。

④ 推論（書いてあることから言えるか）

・抽出問題【問題 4】

「このクラスの生徒の多くはピアノを習っている。」

「田中さんはこのクラスの生徒である。」

→「田中さんはピアノを習っている。」

(正しい/誤り/判断できない)

・抽出理由

- ・「多くは=全員ではない」という論理を正確に理解する必要がある。
- ・学生が想像で答えてしまうような問題になっているため、推論=想像ではないことを説明する。

⑤ 図表と文章の照合

・抽出問題【問題 1】

「黒い円の左側に、白い四角形がある。」 該当する図を選択する問題

・抽出理由

- ・図を先に見ると誤答しやすく、文章を基準に条件整理が必要な問題。
- ・条件を一つずつ照合する訓練になる問題になっている。
- ・教養試験の資料読解との関連で説明できる。

⑥ 具体例の特定（定義と具体の対応）

・抽出問題【問題 4】

「次の定義に当てはまるものをすべて選べ」 複数の具体例から該当するものを選択する問題

・抽出理由

- ・定義文に必ず戻る読み方を教える。
- ・数値と言葉を一致させる訓練として使いやすい。

□使用教材（読解力確認テスト）

1 文の構造把握

【問題1】以下の文を読みなさい。
「急速なデジタル化が進む現代社会において、情報セキュリティの確保は、企業が信頼を維持するために不可欠な経営課題となっている。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

企業が信頼を維持するために不可欠な経営課題となっているのは（ ）である。

- ① 現代社会 ② デジタル化 ③ 情報セキュリティの確保 ④ 企業

【問題2】以下の文を読みなさい。
「平安時代の貴族たちが愛好し、現在でも多くの人々に親しまれている和歌は、五・七・五・七・七の三十一文字で情景や心算を表現する日本の定型詩である。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

五・七・五・七・七の三十一文字で表現する日本の定型詩は（ ）である。

- ① 平安時代 ② 貴族 ③ 和歌 ④ 簡装

【問題3】以下の文を読みなさい。
「強い日差しと乾燥した気候に慣れるため、厚い着や蓋に水分を蓄えることができる多肉植物が、砂漠地帯に多く自生している。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

砂漠地帯に多く自生しているのは（ ）である。

- ① 強い日差し ② 厚い着 ③ 水分 ④ 多肉植物

【問題4】以下の文を読みなさい。
「地殻変動によって隆起した尾根が、長い年月をかけて川の流れに取り取られることで、今の峡谷の美しい景観が形成された。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

峡谷の美しい景観が形成された原因の一つとして、取り取った土砂は（ ）である。

- ① 地殻変動 ② 地層 ③ 川の流れ ④ 年月

【問題5】以下の文を読みなさい。
「A社が開発した新型エンジンが、従来のモデルと比較して燃費効率が大幅に向上しており、環境負荷の低減に貢献すると期待されている。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

燃費効率の低減に貢献すると期待されているのは（ ）である。

- ① A社 ② 新型エンジン ③ 従来のモデル ④ 燃費効率

2 指示語の理解と内容の補充

【問題1】以下の文を読みなさい。
「佐藤さんは、来週のプレゼン資料を作成するために、過去のデータを分析した。非常に手厚い作業だったが、簡単に完了した。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

簡単に完了したのは（ ）である。

- ① 佐藤さん ② プレゼン資料 ③ 過去のデータ ④ データの分析（作業）

【問題2】以下の文を読みなさい。
「台風19号の接近に伴い、主催者は野外フェスの開催を中止すると発表したが、安全を最優先に考えを転換、香典の返却であった。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

香典の返却をしたのは（ ）である。

- ① 台風19号 ② 主催者 ③ 野外フェス ④ 安全

【問題3】以下の文を読みなさい。
「近年、プラスチックごみによる海洋汚染が深刻化している。この問題は、生態系への悪影響だけでなく、健康被害も懸念されている。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

健康被害が懸念されている対象は（ ）である。

- ① プラスチックごみ ② 海洋汚染 ③ 生態系 ④ 人間

【問題4】以下の文を読みなさい。
「田中部長は部下の鈴木さんに、新しいプロジェクトのリーダーを任せたいと伝え、驚いた様子だったが、すぐに承諾した。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

驚いた様子だったのは（ ）である。

- ① 田中部長 ② 鈴木さん ③ 新しいプロジェクト ④ リーダー

【問題5】以下の文を読みなさい。
「電子書籍の普及が進んでいるが、紙の本を好む人も依然として多く、独自の質感やページをめくる楽しみがあるからだ。」

この文脈において、以下の文中の空欄にあてはまる最も適切なものを選択肢のうちから1つ選びなさい。

独特の質感やページをめくる楽しみがあるのは（ ）である。

- ① 電子書籍 ② 普及 ③ 紙の本 ④ 人

3 正しい答えの選択

【問題1】以下の文を読みなさい。
「会員登録には、本人顔写真を提出が必要である。」

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか、「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

「本人顔写真を提出しなければ、会員登録はできない。」

- ① 同じである ② 異なる

【問題2】以下の文を読みなさい。
「この大会は、練習に参加した選手、または参加申込をした選手が出場資格を有する。」

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか、「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

「この大会は、練習に参加した選手であり、かつ参加申込をした選手が出場資格を有する。」

- ① 同じである ② 異なる

【問題3】以下の文を読みなさい。
「廊下からの提案書を、上司が承認した。」

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか、「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

「廊下からの提案書は、上司によって承認された。」

- ① 同じである ② 異なる

【問題4】以下の文を読みなさい。
「気温が下がったため、電力の消費量が増えた。」

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか、「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

「電力の消費量が増えた結果、気温が下がった。」

- ① 同じである ② 異なる

【問題5】以下の文を読みなさい。
「参加者の過半数が、計画に賛成した。」

上記の文が表す内容と以下の文が表す内容は同じか、「同じである」「異なる」のうちから答えなさい。

「参加者のちょうど50%が、計画に賛成した。」

- ① 同じである ② 異なる

4 判断

【問題1】以下の文を読みなさい。
「サッカーの試合時間は前後半あわせて90分である。」

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか、「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

「サッカーの試合時間は前後半あわせて100分である。」

- ① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

【問題2】以下の文を読みなさい。
「AさんはBさんよりも年上である。BさんはCさんよりも年上である。」

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか、「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

「AさんはCさんよりも年上である。」

- ① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

【問題3】以下の文を読みなさい。
「フランス人は金魚、ワインが好きである。」

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか、「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

「フランス人であるピエールさんは、ワインが好きではない。」

- ① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

【問題4】以下の文を読みなさい。
「このクラスの生徒の多くは、ピアノを習っている。」

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか、「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

「このクラスの生徒である田中さんは、ピアノを習っている。」

- ① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

【問題5】以下の文を読みなさい。
「金属は電気を通す性質を持っている。銅は金属である。」

上記の文に書かれたことが正しいとき、以下の文に書かれたことは正しいか、「正しい」「まちがっている」、これだけからは「判断できない」のうちから答えなさい。

「銅は電気を通す。」

- ① 正しい ② まちがっている ③ 判断できない

5 図説と文章の整合

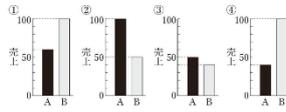
【問題1】以下の図のうち、下記の説明から読み取れる図として正しいものを選びなさい。

説明：「黒い円の左側に、白い四角形がある。」



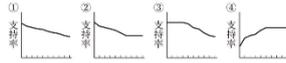
【問題2】以下の図のうち、下記の説明から読み取れるグラフとして正しいものを選びなさい。

説明：「Aの売上はBの売上の半分以下である。」



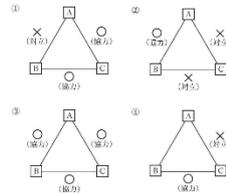
【問題3】以下の図のうち、下記の説明から読み取れるグラフとして正しいものを選びなさい。

説明：「支持率は徐々に低下していたが、ある時点から横ばいになった。」



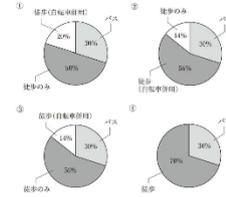
【問題4】以下の図のうち、下記の説明から読み取れる関係図として正しいものを選びなさい。

説明：「AチームとBチームは対立しているが、Cチームとはどちらも協力関係にある。」



【問題5】以下の図のうち、下記の説明から読み取れる「あるクラスの通学方法の内訳」を表すグラフとして正しいものを選びなさい。

説明：「バス利用者は全体の30%である。残りの70%は従来通学者であるが、その従来通学者のうち2割は自転車も併用している。」



6 具体例の特定

【問題1】以下の文を読みなさい。
1、2、3...のように物を数えるときに使う数を「自然数」という(0は含まない)。」

自然数をすべて選びなさい。
① 0 ② 1 ③ -5 ④ 100

【問題2】以下の文を読みなさい。
「3つの辺の長さがすべて異なる三角形を『不等辺三角形』という。」

不等辺三角形をすべて選びなさい。
① 辺の長さが(3, 4, 5)の三角形 ② 辺の長さが(5, 5, 8)の三角形
③ 辺の長さが(6, 6, 6)の三角形 ④ 辺の長さが(10, 12, 13)の三角形

【問題3】以下の文を読みなさい。
「西暦年数が100で割り切れるが、400では割り切れない年を『平年』とする(本来うるう年となる計算だが例外的に平年とする)。」

上記の定義における「平年」をすべて選びなさい。
① 1900年 ② 2000年 ③ 2100年 ④ 2024年

【問題4】以下の文を読みなさい。
「水溶液の性質において、pH(ピーエイチ)が7未満のものを『酸性』、7のものを『中性』、7より大きいものを『アルカリ性』という。」

アルカリ性の水溶液をすべて選びなさい。
① pH 3.0の水溶液 ② pH 7.0の水溶液 ③ pH 8.5の水溶液 ④ pH 12.0の水溶液

【問題5】以下の文を読みなさい。
「商品価格に消費税10%を加えた金額を『税込価格』という。ただし、1円未満の端数が出た場合は切り捨てるとする。」

本体価格123円の商品の「税込価格」として正しいものを選びなさい。
① 135.3円 ② 136円 ③ 135円 ④ 123円

解答解説

1 文の構造把握

【問題1】正解：③
文の構造分析の問題です。述語「経営課題となっている」に対する主語は「情報セキュリティの確保」です。「企業が」は修飾節の中の主語であり、全体の主語ではありません。

【問題2】正解：③
「日本の定例語である」という述語に対応する主語は「和歌」です。直前の「五・七・五……で表現する」という部分も和歌を説明しています。

【問題3】正解：④
「自然している」の主語は「多肉植物」です。「強い日光し」や「水分」は、多肉植物が適している環境や特徴を説明する言葉です。

【問題4】正解：③
「削り取った本体」を問う問題です。受動態の文「川の流れて削り取られる」を能動態で考えると、「川の流れて(地層を)削り取った」となります。

【問題5】正解：②
「貢献すると期待されている」のは「新型エンジン」です。A社は開発者であり、環境負荷低減の機能を持つのはエンジンそのものです。

2 指示語の理解と省略の補充

【問題1】正解：④
直前の文にある「非常に手間のかかる作業」が、完了した対象です。文脈上、これは「データの分析」を指します。

【問題2】正解：②
中止を完成し、決断を下したのは「主観者」です。台風は原因、安全は判断基準です。

【問題3】正解：④
施設被害とは、人が受ける被害のことです。したがって、被害されている対象は「人間」です。「プラスチックごみ」は被害の原因であり、被害を受ける対象ではありません。

【問題4】正解：②
「任せたいと伝えた」のは田中部長、「驚いた」のは伝えられた側の鈴木さんです。省略された主語を文脈から補います。

【問題5】正解：③

「これ(賞状やめくる座しきがあるもの)は、直前に述べられている「紙の本」を指します。電子書籍との対比で語られています。

3 言い換えの勘弁

【問題1】正解：①

「必要である」という条件は、論理的に「なければいけない」と同義です。

【問題2】正解：②

「または (OR)」と「かつ (AND)」の違いです。「または」はどちらか一方でも可、「かつ」は両方必須なので意味が異なります。

【問題3】正解：①

筆路欄(承認した)と受給欄(承認された)の書き換えであり、事実と同じです。

【問題4】正解：②

因果関係の逆転です。上は「気温低下→消費増」、下は「消費増→気温低下」になっており異なります。

【問題5】正解：②

「過半数」は「半数を超える (>50%)」ことであり、50%ちょうどを含みません。

4 推論

【問題1】正解：②

「90分である」という記述と「100分である」という記述は矛盾するため、まちがっています。

【問題2】正解：①

A>B、B>C ならば A>C という推論律により、正しいと判断できます。

【問題3】正解：②

「金魚が好き」という前提がある以上、フランス人であるビエールさんが「好きではない」という文は前提に反します。

【問題4】正解：③

「多くは」という表現は全員を指しません。正中さんが各職種に含まれるか少数派かは特定できないため、判断できません。

【問題5】正解：①

「金魚は電気を通す」かつ「刺は金魚である」ならば、「刺は電気を通す」という結論は論理的に正しいです。

5 図表と文章の整合

【問題1】正解：①

「思い円の左側に、向い四角形」という位置関係を満たす図を選びます。

【問題2】正解：④

B (100) の半分は 50 です。A は 50 以下でなければなりません。40 は条件を満たします。

【問題3】正解：②

「低下(下がる)」→「横ばい(水平)」という推移を表すグラフを選びます。

【問題4】正解：①

対立関係 (×) と協力関係 (○) を正しく配属した図を選びます。

【問題5】正解：⑤

割合の計算です。従事全体 (70%) の2割は、全体から見ると 14% (0.7×0.2) になります。

6 具体例の特定

【問題1】正解：②④

定額により、0 と負の数は除外されます。

【問題2】正解：①③

辺すべての長さが異なるものを選びます。(5,5,8)は二等辺、(6,6,6)は正三角形です。

【問題3】正解：①③

1900年、2100年 定額 (100で割れるが900で割れない) に従い計算します。2000年は400で割れるため除外されます。

【問題4】正解：②④

pH (ピーエッチ) が7より大きいものを選びます。

【問題5】正解：⑤

定額 (端数切り捨て) に従い、0.3を切り捨てて135円となります。

⑤授業5：作文作成

授業の位置づけ		
<p>本科目における作文力育成の出発点である。本授業では、作文技術の指導に入る前段階として、学生が現在どの程度テーマを読み取り、時間内に文章として書き切ることができるのかを把握することを主な目的とする。公務員試験の作文に対して多くの学生が抱く「何を書けばよいか分からない」や「うまく書けない」という体験を通して、今後の学習によって改善可能な課題であることを理解させるための導入である。その観点から、次の2つの項目について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作文力単元の導入・現在地確認に位置づける 2. 技術指導に入る前に、「自分は何ができていて、何ができていないか」を可視化する 		
到達目標		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 制限時間内に、テーマに沿った文章を書き切ることができる 2. テーマに沿った体験、考えを文章として表現する 		
授業構成		
導入→作文→まとめ		
使用教材		
作文力育成教材		
授業進行		
導入	<input type="checkbox"/> 授業の目的の説明 公務員試験における作文の位置づけを説明する。 「上手に書く必要はない」「今の力を見るため」ということを伝える。	<input type="checkbox"/> 教員発話例 「今日は、うまく書くという授業ではありません。今の自分が、どこで止まるのかを知るために書きます。」
展開	<input type="checkbox"/> 作文テーマ提示（800字、60分） 作文テーマの参考例 ・あなたが目指す公務員像とは何ですか。あなたの考えを述べなさい。	<input type="checkbox"/> 教員発話例 「作文テーマに沿って作文時間 60分文字数 800字で作文を作成します。どこで手が止まるのか、確認しながら作文してください。」

	<ul style="list-style-type: none"> ・あなたが思う理想の社会人について述べなさい。 ・私が自慢したい私の個性について述べなさい。 ・あなたが住んでいる地域の課題を一つ挙げ、それに対して市役所ができる取り組みを述べなさい。 	
まとめ	<input type="checkbox"/> 書けた点・手が止まった点を振り返り、発表する。	<input type="checkbox"/> 教員発話例 「では、自分の作文を見直して、手が止まったところを自分なりに整理しましょう。」
評価観点		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 設問から大きく逸脱していないか 2. 文章として最後まで書き切っているか 		
評価基準（授業単位での評価の参考）		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の取り組み姿勢（質疑の発話、課題の取り組み） 2. 設問に沿い、一定のまとまりで書けている 		

指導のポイントと対応

- ・添削は行わず、これから作文授業を受けるための現状確認に徹する。
- ・学生には、「直せる前提」を明確に伝えたうえで作文させる。

⑥授業6：誤字・脱字、送り仮名、表記ゆれ

授業の位置づけ	
<p>本授業は、第5回で書いた作文を素材としながら、公務員試験の作文において求められる「正確に文章を書く力」を身につける文章作成の基本授業となる。本授業では、文章の内容や主張以前に、誤字・脱字、送り仮名、表記ゆれ、文体の混在といった初歩的なミスによって評価を下げてしまう状態から脱却することを目的とする。読解力育成で培った「文章を注意深く読む視点」を、今度は自分の文章を点検する視点として転用する段階に位置づける。その観点から、次の項目について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 作文力育成の技術的出発点 2. 読解力（正確に読む）→作文力（正確に書く）への接続 	
到達目標	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 誤字・脱字、送り仮名、表記ゆれに気づき、修正できる 2. 「評価以前に読まれない作文の理由」を理解する 	
授業構成	
教材に沿って誤字・脱字導入→送り仮名→表記ゆれ→ら抜き言葉→まとめ	
使用教材	
作文力育成教材	
授業進行	
導入	<p>□授業の目的の説明</p> <p>読みたくなる作文のイメージを沸かせ、誤字・脱字、送り仮名の間違いなどで読みにくい作文をあえて読もうとするのか、という視点で学生に考えさせる。</p> <p>□教員発話例</p> <p>「今日は作文を読んでもらうためのマナーを学びます。マナーを理解し、徹底することで、無駄な失点を防ぐことができます。」</p>
展開	<p>□01 誤字をなくす</p> <p>□教員発話例</p> <p>「最近ではネットニュースでも誤字があるまま配信されている例を</p>

	<p>制限時間内に作文するのではなく、読み直して修正する時間まで含めて制限時間をとらえることを意識させる。</p> <p>そのうえで、誤字・脱字のチェックを忘れないよう、意識を持たせる。</p> <p>練習課題の誤字・脱字チェックを行い、答え合わせする。</p> <p>□02 正しい送り仮名、仮名づかい、カタカナ語で書く</p> <p>送り仮名の具体例を示す。</p> <p>例：誤) 明い→正) 明るい</p> <p>カタカナ語の具体例を示す。</p> <p>学生にしみゆれーしょんをカタカナ語として記載させる。</p> <p>誤) シミレーション</p> <p>正) シミュレーション</p> <p>練習課題 1、2 に取り組ませ、解答する。</p> <p>□03 表記をそろえる</p> <p>表記のゆれについて教材で確認する。</p> <p>表記のゆれが読みにくさを生むことを伝える。</p> <p>練習課題に取り組ませ、解答する。</p> <p>□「ら抜き言葉」に注意</p> <p>ら抜き言葉が何かを教材で確認し、練習課題に取り組ませ、解答する。</p>	<p>見かけます。でも、漢字の誤りで意味が変わるケースも多々あります。みなさんも、スマホやパソコンの文字変換が便利であるため、誤字を意識しにくいかもしれませんが、採点者に読んでもらうという意識で誤字には注意を払いましょう」</p>
<p>まとめ</p>	<p>□本授業をふまえて、前回作成した作文の見直しを行い誤字・脱字、表記のゆれ、ら抜き言葉をチェックさせる。</p>	<p>□教員発話例</p> <p>「では、今日の授業の振り返りとして前回作成した作文をチェックしてみよう。」</p>

	<p>□まとめとして、作文のチェックは、習慣化できることを伝え、チェックまで含めて制限時間内に作文を完成させられるように指導する。</p>	
<p>評価観点</p>		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 誤字・脱字等の見直しの必要性を理解できたか 2. 作文の見直しに取り組んでいるか 		
<p>評価基準（授業単位での評価の参考）</p>		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の取り組み姿勢（質疑の発話、課題の取り組み） 2. 誤りを自力で見出し、正しく修正できる 		

□使用教材（作文力確認教材）

01

誤字をなくす

正しく伝えるには、正しい文で書くことが大切です。日本語には同じ音でも意味の異なる言葉が多くあり、異なる漢字を使い分ける必要があります。誤字・脱字のある文章は、せつからで善な印象を与え、良い評価を得にくくなります。読み手からの信頼を失わないためにも正しい文章で書きましょう。

POINT

- 間違いない漢字を知り、正しい漢字を書く
- 書いた文章を読み、確認する
- 送ったとき、自信がないときには調べ直す習慣を付ける
- 校正機能の利用や他者に校正を依頼するなど、二重三重に確認する

まずはとくに間違いない漢字を知り、正しく使い分けられるようにしましょう。

(参照：資料集 間違いない漢字)

また、書いた文章を読み返りまで通って読み直す習慣を付けましょう。ほかの資料などを参照せずに、文章を読み返して間違いないことを「読み込み」「読み直し」といいます。誤字がないかを確認するには、可能な状況であれば声に出して読むことも効果的です。

誤字・脱字を見つけて修正する、より本格的な作業が「校正」です。校正にはいくつかのポイントがあります。

ミスはあるものだと捉えて、疑いながら文章を読む
最初から「間違いない」と思ってしまうと、疑いがあるという前提で読むと、ミスを見つける確率は大きく変わります。自分が書いた文章こそ、確認する際には疑ってかかる姿勢が大切です。

PCやタブレット、スマホの画面上ではなく、印刷して確認する
画面上では誤字・脱字を見落とす可能性が高くなります。メールや応募フォームなど、オンラインで書類や文章を送る場合も、可能であれば紙に印刷して確認しましょう。

時間をかけて確認する
書いた文章は書き上がった直後にも、誤字・脱字を見つづけるものです。時間をかけてから読み直すと、冷静に読むことができ、誤りを見つけやすくなります。

意味に合った正しい文字を選ぶには、確認することが重要です。「まあ大丈夫だろう」と曖昧なままにせず、調べて確認する習慣を付けましょう。

文書作成ソフトウェアの校正機能を利用する

多くの文書作成ソフトウェアには校正機能が付いています。この機能を利用して、誤字や脱字の可能性のある箇所を見つけます。

インターネットの情報を信頼しない

インターネットに掲載されている情報には、誤字・脱字が含まれていることがあります。正しい表現や漢字・仮名づかいを見つけるには、出版社が出した書籍や辞書、政府や学術機関などの公式の情報を確認することも有効です。これらは、不適切表現や論理関係も含めた複製＝「改題」がされている場合が多いからです。

ほかの人に頼んでもらう

依頼するときは、①文章の目的や趣意を伝える、②時間に余裕をもって依頼し、結果の受け取り希望日を相談する、③結果を受け取ったらお礼を伝える、以上の3点を忘れずに実行しましょう。

練習問題

誤字・脱字を見つけて文章を書き直しましょう。

私の強みは、失敗から学び、成長しようとする姿勢です。

昨年、ボランティアで夏の観光ガイドを始めました。歴史的建造物の情報を入力に間違い、観光客のみならず地元の方にも喜んでいただきました。しかし、道順の選択が悪く、予定時間を過ぎてしまいました。その反省から、ガイドをする前にはコース地図を確認するだけでなく、下見をして所要時間を確認してから、送るようにしています。

ADVICE

間違いない漢字は、日頃から確認する習慣を付けましょう。

02

正しい送り仮名、仮名づかい、カタカナ語で書く

漢字に続いて間違いないのは送り仮名、仮名づかいです。また、カタカナ語はふだん使っている言葉でも間違えて覚えていることがあります。漢字と同様、曖昧なままにせず調べて書く習慣を付けましょう。

POINT

- 間違いない送り仮名、仮名づかい、カタカナ語を知り、正しく書く
- 日頃から曖昧なままにせず、調べて書く習慣を付ける

小中学校の国語の授業では、正しい送り仮名や仮名づかいを習ってきたはずですが、覚えきるのは大変です。

また、カタカナ語は社会人でも間違えて覚えている人は少なくありません。間違いない言葉を知り、正しく使い分けられるようにしましょう。

(参照：資料集 間違いない送り仮名/間違いない仮名づかい/間違いないカタカナ語)

送り仮名の付け方

送り仮名に迷ったとき、活用を試してみる方法があります。たとえば「うけたまわる」は「うけたまわらない→承れない」「うけたまわれば→承れば」と、「うけたまわ」まではいずれも同じです。この「うけたまわ」のようにいつも同じ部分を断辞といいます。「らない」「れば」のように活用する部分は活用断尾といいます。このように活用のある断尾は活用断尾を送りますので、送り仮名は「承る」です。これは送り仮名の付け方の基本的な原則です。しかし、例外も多くあります。原則どおりかどうか、調べて確認することが大切です。

カタカナ語

カタカナ語は、外来語や和製英語など、カタカナで表される語です。英語がもとになっているカタカナ語は、正しいスペルを知ることがポイントになります。英語のスペルと照らし合わせながら覚えるとうれしいでしょう。たとえば、「かばん (bag)」は「バック」ではなく「バグ」が正しいカタカナ表記です。

練習問題1

間違った送り仮名を見つけて修正しましょう。

- 1) 短い期間でしたが、アルバイト先の業績を上げるためにスタッフの一員として、努力しました。短いところまで気を配って、結果を出すことができたと自負しています。
- 2) 知らない子どもたちとの遊びを通じて、私自身も学びました。どうしたら野球が苦手な子どもでもバットにボールが当たるか、練習方法を考え、子どもたちの自信を育くみました。

ADVICE

解答を書いたら、送り仮名が正しいかどうか調べて確認しましょう。

練習問題2

間違ったカタカナ語を見つけて修正しましょう。

- 1) 私は年上の方とのコミュニケーションに不安はありません。どうすれば意思疎通がしやすいか、さまざまな場面を想定してシミュレーションしてきました。
- 2) 貴社のエンターテインメント事業にとっても興味があります。とくにスポーツ選手によるエキシビジョンをもっと盛り上げる企画を手がけたいと思っています。

ADVICE

ふだん使っているカタカナ語でも、間違えて覚えているかもしれません。調べて確認しましょう。

03

表記をそろえる

「表記」とは言葉を文字で表すことです。ある言葉を文章中に複数回書くときは、すべて同じ文字を使って表記をそろえます。表記がそろっていないことを「表記ゆれがある」といい、修正が必要です。ゆれがある文章は、「読み直しをしていないのではないか」「文章に対する注意力が不足しているのではないか」と読み手に思われてしまう可能性があります。

POINT

- 一つの文章中で同じ言葉を複数回使うときは表記をそろえる
- 表記ゆれが起きやすい例を知り、ゆれがないか必ず読み直す

表記ゆれが起きやすい例

表記ゆれの事例	表記ゆれがある例文
漢字と平仮名	最も得意な科目は社会だ。英語はもっとも苦手な科目で、課題をこなすのにとても時間がかかる。
漢字とカタカナ	術が多くなると計算ができない。3ヶ月前の数字を計算するときは、いつも電卓を使っている。
漢字の使い分け	一人暮らしの高齢者が増えている。コミュニティ全体として問題意識をもち、取り巻くし世帯を孤立させない施策が必要だ。
送り仮名	明日が講演会の申し込み期限だと気づいた。おれないうちに、すぐに申込みをしよう。
数字	また遅刻してしまった。今月はもう2回目の遅刻だ。三回目は絶対にしないように覚悟を引き締めたい。
時間	集合時刻は午後2時だから、自宅を13:00に出発すればじゅうぶん間に合うはずだ。
カタカナ語	来週は友人の誕生日パーティーがある。今度のパーティー会場は初めて行くところなので、地図で場所を確認しておこう。
英単語の 大文字と小文字	Webサイトの分かりやすさは大事だ。どこに情報があるが見つけにくいWEBサイトは困る。
日付の 全角と半角	美術館に行こうと思ったが10月18日のチケットは売り切れだった。10月25日に予定を変更しよう。
記号・単位	A製品の出荷あたり保有率は評判が大きい。もっとも高いB製品は170%を超えているが、50パーセントを割っているところもある。

表記ゆれをなくす方法

①必ず読み直す

文章を書き終えたら、表記ゆれが起きやすい箇所にも注意しながら必ず読み直しましょう。ゆれが起きやすい言葉があればメモをしておき、同じ言葉が出てきたらメモの表記にそろえます。

②表記ゆれチェック機能を活用する

文章作成のソフトウェアには表記ゆれをチェックする機能があります。この機能を活用すると表記ゆれのある言葉が分かります。表記ルールを決めて修正し、表記をそろえます。

確認事項

表記ゆれがある言葉をそろえましょう。

- 1) 身体の不調の改善には、十分な睡眠とバランスのいい食事が大切だ。睡眠には体を回復させる効果がある。
- 2) 決勝トーナメントの組み合わせが決まった。この組合せだと、決勝まで優勝候補との対戦はない。
- 3) 営業額に届いたら、初年度は1,000万円、2年度は20,000,000円、3年度は三千万円を稼ぐような仕事かしたい。
- 4) 日帰り旅行のプランを立てた。一か所目はA神社、二か所目のB公園近くのレストランで昼食をとって、最後の三か所目はC寺に行こうと思う。
- 5) Aさんが最新仕様のPCを購入した。私はいま使っているパソコンに不満はないので、もう少し使い続けるつもりだ。

ADVICE

表記ルールを決めて、そのルールにしたがってそろえます。

04

「ら抜き言葉」に注意

助動詞「れる」「られる」は可能、受け身、自発、尊敬の意味を表します。話し言葉では可能の意味で「られる」を使うべき場合に「ら」を抜いて「れる」を使う人が増えていますが、ふだんは許容される表現でも、敬書活動で書く文章では正しく書くことが大切です。本書で正しく書くためには、ふだんから「ら抜き言葉」を使わないように意識しなければなりません。たとえば「見る」「食べる」は「見られる」「食べられる」が正しい表現です。「ら」を抜いた「見れる」「食べれる」は誤りです。

POINT

- 「ら抜き言葉」とは何かを知る
- 「ら抜き言葉」を使ってしまいがちな動詞を知り、正しい言葉を使う

「ら抜き言葉」が使われるようになった背景

「れる」「られる」は、可能、受け身、自発、尊敬を示すときに使われます。どの意味か、その言葉の意味だけでは判断できません。「られる」を使うのは、イの音で韻尾が変化する上一段活用の動詞、エの音で韻尾が変化する下一段活用の動詞、カ行変格活用（「来る」）の動詞のみで、四つの意味の判断が難しい動詞です。「れる」を使う五段活用の動詞には可能範囲があるため、「れる」は受け身、自発、尊敬のみで、意味を判断しやすい動詞です（例「食う」の可能範囲「食える」）。上一段活用、下一段活用、カ行変格活用の動詞では、「られる」で可能の意味を判断しやすくなるため、「ら」を抜くという変化が起きていると考えられています。話し言葉では「ら抜き言葉」も使われるようになりましたが、新聞など、より正確な表現が求められる文章ではまだ使われていません。ふだんから話し言葉で「ら抜き言葉」を使っていると、書き言葉でも誤って使ってしまうからです。「ら抜き言葉」を使わず、正しく話し直しましょう。

上一段活用と下一段活用の動詞の例

活用	動詞の例
上一段活用	泳びる 居る 起きる 降りる 着る 閉じる 見る
下一段活用	当てる 入れる 受ける 得る 決める 食べる 壊る

使ってしまうがちな「ら抜き言葉」の例

言葉	ら抜き言葉	正しい言葉
食べる	×食べれる	○食べられる
来る	×来れる	○来られる
見る	×見れる	○見られる
起きる	×起きれる	○起きられる
決める	×決めれる	○決められる

意味の見分け方

可能、受け身、自発、尊敬のうちどの意味か推測することがあるかもしれませんが、次のように判断するとよいでしょう。

- ・「～できる」「～ことができる」と言い直しても意味が同じかどうか（可能）
- ・「誰に」「誰から」を受けているか（受け身）
- ・「自然と」を挿入することができるか（自発）
- ・主語が話し手よりも目上の存在であるか（尊敬）

①可能

私は今日、予定どおり朝5時に起きられた。

②受け身

起きることができた」と言い直しても意味が同じなので、可能の意味だと考えられます。

敬慕する人々の前で、国王陛下が車から降りられた。

国王陛下の行動なので、尊敬の意味だと考えられます。

確認事項

「ら抜き言葉」を正しく書き直しましょう。

- 1) 延滞されていた資格試験をようやく受けて、まずは安堵した。
- 2) 入学式に買ったスーツをぞりぞり着られたが、やはり今の私にはサイズが小さかった。

ADVICE

動詞の範囲に注意しながら、「れる」「られる」のどちらが入るか確認しましょう。

⑦授業7：文体の統一、接続詞の適切な使用、簡潔な文章表現

授業の位置づけ		
<p>本授業は、作文の内容や主張には踏み込まず、文章を「読みやすい形」に整えることに特化した単元である。本授業では、文体の混在、接続詞の誤用、一文が長すぎることによる読みにくさといった、公務員試験の作文で評価を下げやすい表現上の課題を扱う。読解力育成で学んだ「文章の流れを意識して読む力」を、書く側の視点で活用し、読み手に負担をかけない文章を作るための基礎を固める段階として位置づける。その観点から、次の項目について学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内容を変えず、読みやすさを改善する 2. 表現レベルの調整に集中する 		
到達目標		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 表現レベルの調整に集中する 2. 接続詞を文と文の関係に応じて使い分けられる 		
授業構成		
導入→読みにくい文章の共通項→接続詞→文を短く書く→まとめ		
使用教材		
作文力育成教材		
授業進行		
導入	<input type="checkbox"/> 授業の目的の説明 文章の読みにくさが、採点者の印象を悪くすることがあることを伝え、読みやすい作文が内容の採点に円滑につながるようになることと理解させる。	<input type="checkbox"/> 教員発話例 「今日は作文の中身は一切直しません。読みづらい原因を取り除く授業です。」
展開	<input type="checkbox"/> 05 文体をそろえる 文体とは具体的に何を言っていることなのかを理解し、文体をそろえることでの読みやすさを体感させる。 例外を示し、使い分けについて理解させる。	<input type="checkbox"/> 教員発話例 「どのような印象を持たせる文にしたいか、どのような目的の文章か、という観点で文末の言い方を変えます。これを文体といい、～だ、である、と、～です、～ます

	<p>練習課題に取り組みせ、解答する。</p> <p><input type="checkbox"/>06 接続詞を正しく使う</p> <p>接続詞の働きと役割を確認した後、学生に教材にある接続詞を使い例文を作成させ、発表させる。</p> <p>練習問題 1、2に取り組みせ、解答する。</p> <p><input type="checkbox"/>07 文を短く書く</p> <p>文を簡潔に書くことは、読み手の読みやすさ=意味をとらえやすくなることを伝え、短い文章が幼稚というわけではないと感じてもらう。</p> <p>教材にある3つのポイントに沿って説明し、文が短くなっても内容が減っていないことを伝える。</p> <p>練習課題に取り組みせ、解答する。</p> <p><input type="checkbox"/>作文演習の見直し</p> <p>第5回で作成した作文の文体、接続詞をチェックし、文が長くなっている箇所を修正する。</p>	<p>を一つの文章に混ぜないようにします。ただし、これには例外もあります。どのようなところで使い、例外は何かを確認しましょう。」</p> <p><input type="checkbox"/>教員発話例（接続詞）</p> <p>「接続詞は、読み手にどう読めばいいかを教える合図です。」</p> <p><input type="checkbox"/>教員発話例</p> <p>「では、今日の授業の振り返りとして前回作成した作文をチェックしてみよう。」</p>
ま と め	<p><input type="checkbox"/>今回の授業が文章の「見た目」と「流れ」であることを確認する。</p>	
評価観点		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文体をそろえること、その例外があることを理解したか 2. 接続詞の役割と意味、使い分けを理解したか 		
評価基準（授業単位での評価の参考）		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の取り組み姿勢（質疑の発話、課題の取り組み） 2. 一文を適切な長さで修正できる 		

□指導のポイントと対応

・多くの公務員試験においては、業務文書との親和性や読みやすさの観点から、常体で統一された作文が評価されやすい傾向にある、という考え方を伝える。

・接続の指導上のポイントとしては、前後の文の関係と接続詞の種類を必ず対応させること。学生は意味を考えずに「しかし」「そのため」「また」を感覚的に使う傾向がある。そのため、接続詞は原因 → 結果、対立、追加・並列など役割が決まっている。理解不足の学生には、文と文の関係を言葉で説明できてから接続詞を選ばせることが必要。

・文を短く書く練習をする場合、どこで切るか、どこを短くするかと、意味が変わっていないことを確認する。

・学生に作文見直しをさせる際は、直した場所がわかるように赤ペンなどで修正させる用に指導する。その際には、この訂正、見直しは、自分の作文力を高めるためのものであることを伝える。

□使用教材（作文力育成教材）

05

文体をそろえる

文章の言葉づかいの形式を「文体」といいます。口語体の文体には、文末が「だ」「である」の文体、「です」「ます」の敬体があります。文章の目的や読み手に与える印象を考えて、敬体と敬体を使い分けましょう。

- POINT**
- 敬体と敬体の特徴を知る
 - 一つの文章では文体をそろえるのが基本
 - 文体を混ぜて使う例もある

文体の特徴

敬体	「だ・である体」とも呼ばれ、読み手に断定的で強い印象を与えます。断定的に事実を伝えやすい文体です。社内文書や報道記事、論文や報告書などで使われます。
敬体	「です・ます体」とも呼ばれます。丁寧でやわらかい印象を与える文体です。主に社外文書や解説文、説明文などで使われます。

文体をそろえる
文章を書くときは、敬体と敬体、どちらの文体にするかを選び、そろえましょう。これらが混在している文章は読みにくく、読み手に負担をかけてしまいます。ただし、混ぜて使う例もあります。

文体を混ぜて使う例外
① 脚注や補記を入れる
敬体の文章中に脚注や補記を入れて書く場合があります。このようなときは、脚注や補記部分まで敬体でそろえる必要はありません。
ご挨拶のみをそのままのお断りです。連絡電車のなかで守ってほしいことが二つあります。
・乗り降りするときは、スマートフォンから目を離す
・一人でも多くの人が乗れるように、混雑はなるべく避けて乗る

② 敬語を入れる
敬体の文章に敬語を挿入する場合、必ずしも敬語まで敬体にする必要はありません。
駿河湾の名産として知られる秋エビは近年不漁が続いています。その理由について、〇〇大学の神保教授は、「原因の一つとして、黒潮の北行によって豊かな潮水が供給されなくなったことが考えられる」と説明しました。

基本的な言葉の敬体、敬体
よく使われる言葉の敬体、敬体覚えておきましょう。

敬体	敬体	敬体	敬体
～だ	～です	ある	あります
～である	～ではない	ない	ありません
～する	～します	思う	思います
～している	～しています	思っている	思っています
～した	～しました	思った	思いました
～だろう	～でしょう	分かる	分かります
～かもしれない	～かもしれません	分からない	分かりません
～しろ	～しなさい	分からないのだろうか	分からないのでしょうか

練習問題 敬体と敬体のどちらかに文体をそろえて、書き直しましょう。

- 取引先のY社を訪問しましたが、部長には会えなかった。
- パソコンにはパスワードをかけてロックします。自分以外の人が不正にアクセスできないようにするためだ。

ADVICE はじめにどの文体で書くかを決めましょう。

06

接続詞を正しく使う

文や語句をつなぐ接続詞を正しく使うことで、読みやすく、伝わりやすい文章を書くことができます。接続詞の使い方の基本を押さえておきましょう。

- POINT**
- 接続詞のはたらきを知る
 - 前後の文のつながりに合った接続詞を使う

接続詞は文や語句をつなぐ、前後の関係を表します。読み手は接続詞があることによって、文の展開を予測しながら、文章を読み進めることができます。

主な接続詞と種類・意味

接続詞	種類	意味
だから・すると・したがって・それで・そこで	順接	「原因・理由」を受けて「結果・結論」につなぐ。前の内容から後ろに順当につなぐ。 例文) もう後悔したくない。だから、今回は入念に準備をする。
しかし・だが・けれども・それでも・ところが・とはいえ	逆接	前の内容を受けて、真逆でない内容につなぐ。 例文) 実験してみた。ところが、予想通りにはいかなかった。
なぜなら・ちなみに・ただ・ただし・つまり・すなわち	説明補足	前の内容を受けて、後から説明したり付け足したりする。 例文) この小説は素晴らしい内容だ。ただ、分かりやすくはない。
そして・しかも・また・そのうえ・および	追加並列	前の内容と同列に並べたり加えたりして、後の内容を述べる。 例文) 演奏会はとても好評だった。そして、次の機会にも声がかかった。
または・それとも・あるいは・もしくは・一方	選択対比	前と後の内容をどちらかを選ぶことを示す。 例文) やるべきことをやるか、それとも好きなことをやるか。
さて・(それ)では・ところで・ときに・次に	転換	前の内容とは異なる内容をつなげる。話題を変える。 例文) 日本では規範を大切に。では、海外ではどうだろうか。

練習問題1 適切な接続詞を入れて、二つの文に分けましょう。

- 私は物事を分析・整理して戦略を考えるのを得意としていて、将来は事業の企画にかかわる仕事をしたい。
- そのままだまごつくはなかったのに、どうしたらいいかわからず、何もできなかった言い返がある。

ADVICE 前後の文の関係を読み取り、内容に合った接続詞を選びましょう。

練習問題2 不適切な接続詞を正しいものに書き直しましょう。

- この1か月は商品研究に打ち込んだ。あるいは、よりよい提案を届けるためにはその情報を早く知ることが欠かせないからだ。
- その商品を初めて使ってみて、新鮮さを感じた。しかも、今までに思たことがない、個性的な魅力があったということだ。

ADVICE 接続詞を削って使っている文章は、読むと違和感があるはずです。前後関係が正しくつながるように、適切な接続詞に書き直しましょう。

07

文を短く書く

伝わる文章の基本は簡潔に書くことです。簡潔な文を書くとき読み手が意味をとらえやすくなります。文を短く書くことを意識しましょう。文帯を賣いたら必ず読み返して、まずは無駄な言葉があれば削ります。それでも文が長くて分かりにくいときは、二文に分けて接続詞でつなぐ、別の言葉に書き換えるなど、文を短くする工夫をします。

POINT

- ① 無駄な言葉を削る
- ② 接続詞を使って文を短く切る
- ③ 同じ意味の短い言葉に書き換える

文を短くするための三つのポイント

① 無駄な言葉を削る

来月のシフトの件についてのご連絡をさせていただきます。来月の3週目は学校のテスト期間があるため、その週はアルバイトに来る予定がとれないのでシフトを入れることができません。

上の文章は、無駄な言葉が多く冗長になっています。削っても問題ない言葉を削って短くしましょう。

言葉を削った例

来月のシフトの件でご連絡いたします。来月の3週目は学校のテスト期間のため、シフトを入れることができません。

② 接続詞を使って文を分ける

私は学校に行く前にカフェでコーヒーを飲みながら読書する時間が好きだが、今日は課題の提出期限が迫っていたため、カフェに行くのは諦めて図書館で課題に取り組んだ。

上の文は、二つの接続詞「だが」「ため」が入り、長くなっています。文を二つに分け、接続詞でつないで読みやすい文にしましょう。

文を分けた例

私は学校に行く前にカフェでコーヒーを飲みながら読書する時間が好きだ。しかし、今日は課題の提出期限が迫っていたため、カフェに行くのは諦めて図書館で課題に取り組んだ。

③ 同じ意味を換す別の短い言葉に書き換える

中村さんは、いつも笑顔を絶やさず、相手のことを思いやって細かなところまで気を配ることができる人です。社内の雰囲気をもっとしてくれるこれから先の活躍が期待できる新人です。

上の文章は中村さんの人柄についての説明です。別の短い言葉に書き換えてみましょう。
短い言葉に書き換えた例

中村さんは、いつも笑顔を絶やさず、細かなところまで相手に気配りができる人です。社内の雰囲気をもっとしてくれる期待の新人です。

1 文の文字数は40～60字程度が目安です。自分で書いた文章を読み返して、1文が長くて意味が伝わりにくいと感じたら、三つのポイントに留意して短く書き直しましょう。

練習問題

文を短くしましょう。

- 私は高校生のとき、水泳部に所属しており、仲間と一緒にリレーのメンバーとして全国大会に出場し、リレーで5位に入賞するという成績をあげることができた。
- もともと週末は家族みんなで登山に行くという予定があったが、雨が降ってしまったので行くことができなかった。
- 数人ずつのグループに分かれて議論する学校の授業で、野口さんと小野さんと気運の上昇が地味な環境に与える影響や課題について話し合った。

ADVICE

削れる言葉はないか、別の短い言葉で書き換えられるか、考えてみましょう。

⑧授業8：主語と述語、修飾語、矛盾した内容

授業の位置づけ		
<p>本授業は、文章の読みやすさを整えたうえで、内容が正しく伝わっているかを確認する単元である。本授業では、主語と述語の対応、修飾語のかかり先、文章全体での矛盾といった、作文の意味理解に直結する構造的な問題を扱う。表現上は整っていても、意味が曖昧・不正確な作文になってしまう状態を防ぎ、公務員試験で評価される文章の土台作りの段階として位置づける。</p>		
到達目標		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 主語と述語が対応しているか確認できる 2. 修飾語がどの言葉にかかっているか説明できる 3. 内容の矛盾に気づき、修正できる 		
授業構成		
<p>導入→主語と述語→修飾語→矛盾の確認→まとめ</p>		
使用教材		
<p>作文力育成教材</p>		
授業進行		
<p>導 入</p>	<p><input type="checkbox"/> 授業の目的の説明</p> <p>前回の授業は文章の読みやすさであり、今回は文章の正しさを理解する。読みやすく、正しい文章を作成できる基礎力の育成を目指すことを伝える。</p>	<p><input type="checkbox"/> 教員発話例</p> <p>「今日は、きれいな文章かどうかではなく、正しい文章になっているかを確認します。」</p>
<p>展 開</p>	<p><input type="checkbox"/> 08 主語と述語を対応させる</p> <p>公務員試験の作文では、一文が長くなりやすく、その結果、主語と述語の対応が崩れるケースが多く見られる。これは添削指導や試験講評においても頻繁に指摘される代表的な減点要因であ</p>	<p><input type="checkbox"/> 教員発話例</p> <p>「一生懸命書こうとする人ほど、一文で全部言おうとしてしまいます。その結果、主語と述語がずれてしまい、何が言いたいのかわからない作文になることがあります</p>

<p>り、内容以前に評価を下げる要因となることを伝える。</p> <p>練習課題に取り組みせ、解答する。</p> <p>□09 修飾語の位置に注意</p> <p>修飾語と被修飾語の位置を確認させるため、教材にある修飾語を囲ませ、被修飾に→でつなげる。</p> <p>練習問題に取り組みせ、解答する。</p> <p>□10 矛盾した内容にならないように注意する</p> <p>矛盾した文章が生じる背景には、伝えたい内容の整理が不十分なまま作文を始めてしまうことがある。書く前に主張や理由の関係を整理せずに文章化すると、途中で論点がぶれたり、前後で内容が食い違ったりする結果となりやすい。公務員試験の作文では、何を書くかだけでなく、どのような順序と構成で伝えるかを事前に組み立てることが重要であることを伝える。</p> <p>教材の例題を確認しながら、矛盾が生じるパターンを確認する。</p> <p>練習課題に取り組みせ、解答する。</p> <p>□作文演習の見直し</p> <p>第5回で作成した作文を6回～8回までの授業をふまえて書き直してもらおう。</p>	<p>す。主語と述語が対応した文章を作るようにしましょう」</p> <p>□教員発話例（修飾語）</p> <p>「飾り言葉と飾られる言葉をそれぞれ、修飾語、被修飾語といいます。例えば、教材の中段にある例を見てください。赤い花が咲いた。どんな花が咲いたかを説明している言葉が赤です。この場合、赤いが、修飾になります。」</p> <p>□教員発話例（矛盾）</p> <p>「矛盾した作文になってしまう原因は、考えが浅いからではなく、考えを並べずに書き始めたことで起きます。公務員作文では、書く前にどういう順番で伝えるかを決めることが大切です。」</p> <p>□教員発話例</p> <p>「では、第5回で作成した作文を今までの修正箇所を反映しながら書き直してみましよう。」</p>
--	---

ま と め	□今回の授業が文章の「見た目」と「流れ」であることを確認する。	
評価観点		
1. 主語・述語の対応や修飾関係を理解したか 2. 論理的一貫性のある作文に修正できているか		
評価基準（授業単位での評価の参考）		
1. 授業の取り組み姿勢（質疑の発話、課題の取り組み） 2. 修正した作文の提出		

□指導のポイントと対応

- ・主語と述語は、文法用語を使わず「誰が」「どうした」で確認する。

私はコンピューターを勉強するために専門学校に行った。

主語

述語

「私が」（だれが）、「行った」（どうした）

- ・矛盾を防止するために、一文一義を意識すること、感情的・主観的な表現を一文に詰め込みすぎないことを意識させます。そのため、自分の想いを強く伝えようとすると、一文が長くなり、文の構造が崩れやすいことに注意するように指導する。

10

矛盾した内容にならないよう注意する

矛盾点がある文章は読者に力に欠けます。整合性のとれた文章になるように、「矛盾した内容になっていないか」を意識して読み直しましょう。

POINT

- 書き換えた後、必ず全文を通して読み直す
- 矛盾点がないか、ポイントに沿って確認する

矛盾がないか確認するポイント

文章を書いたら、次のポイントを確認しながら読み直します。

- ① 内容に筋が通っているか
- ② 体験談や事例がテーマに合っているか
- ③ 意見とその理由が対応しているか

体験談や事例がテーマに合っているか

体験談や事例が伝えたいテーマに合っていないと、読んでもよく理解できない文章になってしまいます。

事例がテーマに合っていない例

私はチームで働くとき、リーダーシップを発揮することが得意です。高校で所属していた陸上部では実戦よりも基礎練習を重視し、毎日継続して行っていました。

基礎練習を重視したという事例が、PRしたいテーマ「リーダーシップの発揮」に合っていません。また、実例も不足しています。

私はチームで働くとき、リーダーシップを発揮することが得意です。高校で所属していた陸上部で部員の指導員が顧問になったとき、部員一人一人と面談し、練習影響を確認しながら出場順目の調整を行いました。その面談結果をもとに部員全員で話し合う機会を設け、各部員が強みを発揮できる種目を部員全員が納得したうえで決めました。

リーダーシップを発揮した事例を具体的に述べています。

意見とその理由が対応しているか

意見を述べるときは、その根拠となる理由が必要ですが、この二つが適切に対応していないと、説得力のない文章になってしまいます。意見とその理由が対応しているか確認しながら、書いた文章を読み直しましょう。

意見とその理由が対応していない例

困り事の解決策が分からないときには、相手を選ぶことが大切だ。たとえば仲の良い友達に相談したら、黙ってすっきりするかもしれないし、断るスムーズに進むだろう。同じ問題に直面したことがある人や、その分野に詳しい人を選んで相談してもいいだろう。

相手を選ぶことがなぜ大切か、後に書く文が理由になっていません。意見と理由が対応していない、分かりづらい文章です。

困り事の解決策が分からないときには、相手を選ぶことが大切だ。たとえば仲の良い友達に相談したら、黙ってすっきりするかもしれない。しかし、困り事が解決するとは限らない。同じ問題に直面したことがある人や、その分野に詳しい人を選んで相談すべきだ。

相手を選ぶことがなぜ大切か、2文目以降で説明しています。

確認事項

文章の中から修正が必要な箇所を抜き出して、その箇所を書き直しましょう。

- 1) 私の長所は運動力があるところだ。学生時代にレストランのアルバイトで、明るくおしゃべりが好きな人、感情的になりやすい人など、さまざまな性格の人と働いた。レストランではスタッフどうしの連携が大切なので、一人一人に合わせてコミュニケーションをとり話しやすい雰囲気づくりを心がけた。その結果、スタッフの間関係とチームワークがよくなった。
- 2) 仕事上でミスをしたら、責めをせずに謙虚を尽くして謝るべきだ。誰だってミスをするものだ。どう責めをすれば自分の立場が優位になるか、対策を講じることで、もめることも少なく、次の仕事がやりやすくなる。

ADVICE

確認文1は具体例からPRポイントを明確にしましょう。確認文2は質問の意見と矛盾しないように、下線部の表現を修正しましょう。

⑨授業 9 : AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 1

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、AI 分野の基礎理解を中心に、生成 AI の仕組みと学習モデルについて体系的に学習する。 教材該当項目「1. 生成 AI の基礎知識」、「2. 生成 AI を構成する要素」 「3. 進化する機械学習」
到達目標
1. 生成 AI の概念を整理し、従来型 AI との違いを理解する 2. AI がデータを用いて学習する基本的な仕組みを理解する 3. 生成 AI を支える代表的な学習モデル（ディープラーニング）の概要を理解する
授業構成
教材に沿って図解と具体例を用いながら、段階的に生成 AI への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
1. 生成 AI の基本的な仕組みを正しく理解しているか 2. 仕組みを基に、AI の特徴や違いを自分の言葉で説明できるか 3. 用語を適切に用いて、内容を整理して述べられるか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。

1. 生成 A I の基礎知識

この資料では、A I の基本から生成 A I の活用までをわかりやすく解説します

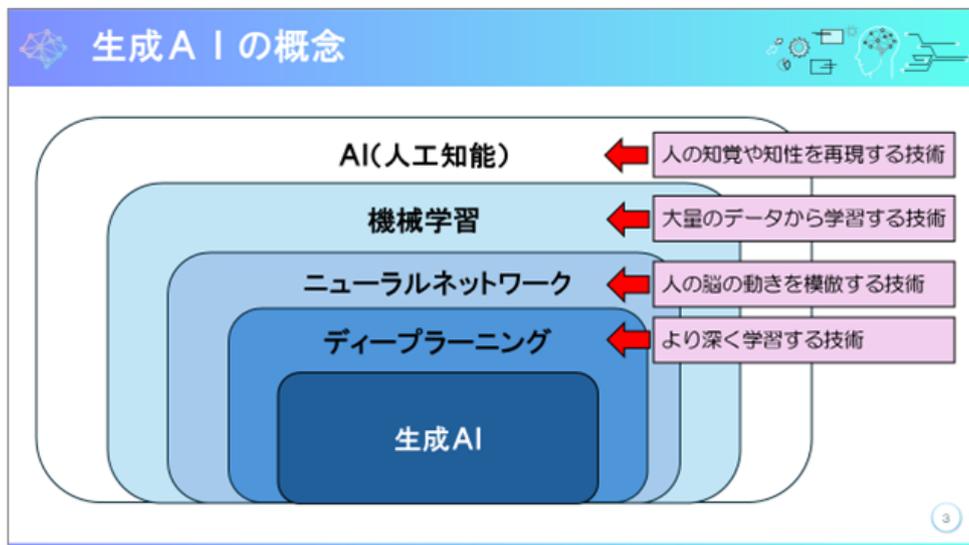
2

私たちが日常的に耳にする「生成 A I」は、実は複数の A I 技術が積み重なって動いている“複合技術”です。

ChatGPT や画像生成 A I を「ひとつの魔法の箱」と捉えがちですが、実際には多層的な技術で構成されています。

生成 A I は今後、行政・ビジネスにおいて不可欠な基盤技術となるため、その仕組みを理解し、正しく活用することが重要です。

1



(1) AI (人工知能)

AIとは、人間の知的な活動をコンピュータで再現する技術の総称です。
AIは非常に広い概念であり、知的処理を行う技術全般を含みます。

例：画像の中の猫を識別する、過去データから売上を予測する、自動運転において
周囲状況を判断する

(2) 機械学習

AIの中核となる技術の一つで、AIが大量のデータを読み込み、自らルールを学習する
仕組みです。

例：犬の画像を多数読み込み、「これが犬である」とAIが自動的に特徴を学ぶ。

(3) ニューラルネットワーク

人間の脳の神経回路（ニューロン）を模倣したモデルで、学習を繰り返すほど精度が向上
します。AIの「脳」に相当する技術といえます。

(4) ディープラーニング

ニューラルネットワークを多層化し、高度化したものです。層(レイヤー)が深いほど、
画像の複雑な特徴を捉え、文章の文脈を理解するなど、高度な処理が可能になります。
現代の画像生成AIやChatGPTの中核は、このディープラーニングです。

(5) 生成AI

これらの技術を土台として、新しいテキスト・画像・音声・動画などを生成する
AIの総称です。

【階層構造】

AI → 機械学習 → ニューラルネットワーク → ディープラーニング → 生成AI



「AI」と「生成AI」



AIとは

人間の知的な動きをコンピュータで再現する技術の総称です。

生成AIとは

新しい文書・画像・音声などを作り出すことに特化したAIです。

項目	AI(人工知能)	生成AI
主な目的	分析・判断	新しいものを作る
代表例	画像認識、音声認識	ChatGPT、画像生成AI
出力	天気予測や画像分類など	新しい文章や画像など

4

(1) AI (人工知能)

知的処理を行うための広い概念で、認識、予測、判断などを行います。

例：画像の中の猫を認識する
過去データから売上を予測する
自動運転で周囲の状況を判断する

(2) 生成AI

AIの中でも「新しいものを作り出す」ことに特化した技術です。
生成AIは「クリエイティブな成果物を生み出すAI」といえます。

例：文章生成
イラストや写真生成
メロディ創作
新しい映像の生成

2. 生成 A I を構成する要素

生成 A I は、機械学習やニューラルネットワークなど複数の技術の組み合わせで成り立っています。
次のページから、その構成要素を見ていきましょう。

6

生成 A I は、機械学習やニューラルネットワークなど複数の技術の組み合わせで成り立っています。
次のページから、その構成要素を見ていきましょう。



機械学習



機械学習とは

AIにデータを与えて学習させ、賢くする仕組みのことです。
大量の学習データからパターンやルールを見つけ出し、判断や予測ができるようになります。

機械学習の3つの方法

①教師あり学習

②教師なし学習

③強化学習

機械学習には3つの学習方法があります。
次のページから学習方法の違いを見ていきましょう。

7

機械学習とは、AIにデータを与えて学習させ、賢くする仕組みのことです。
AIが大量の学習データからパターンやルールを見つけ出し、判断や予測ができるようになります。

機械学習に「教師あり学習」「教師なし学習」「強化学習」の3つの学習方法があります。
ここでは、それぞれの特徴と具体例を整理して解説します。

3. 進化する機械学習

機械学習は日々進化しており、その発展の中心にあるのが「ニューラルネットワーク」と「ディープラーニング」です。次のページから詳しく見ていきましょう。

12

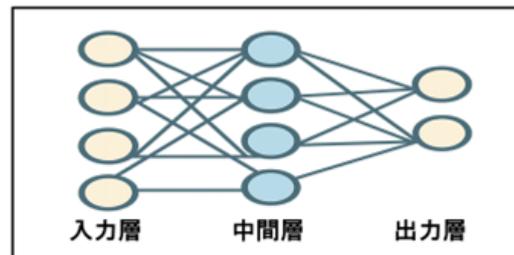
機械学習は日々進化しており、その発展の中心にあるのが「ニューラルネットワーク」と「ディープラーニング」です。詳しく見ていきましょう。

ニューラルネットワーク



ニューラルネットワークとは

人の脳をヒントに作られたAIの学習モデルです。
たくさんの「ニューロン（神経細胞）」のような仕組みが層になっており、
データの入力・出力を通じて、パターンや特徴を学習します。



13

(1) 概要

生成AIには、ニューラルネットワークという重要な仕組みが関わっています。
ニューラルネットワークの理解は、生成AIを正しく理解するための基礎となるものです。
ここではその構造と特徴について解説します。ニューラルネットワークとは、人の脳を模倣したAIの学習モデルです。多くの「ニューロン(神経細胞)」が層状に並び、データを入力・計算・出力することで、データのパターンや特徴を学習します。ニューラルネットワークは「入力層」「中間層」「出力層」の3つの層で構成されます。入力層に与えたデータは、中間層で複数の計算処理を経て、最終的な結果として出力層に送られます。

(2) 図の構成要素

- ニューロン
各ニューロン(図の丸印)はひとつの数値を持ち、次の層のニューロンへ値を送ります。
- シナプス
ニューロン同士をつなぐ線をシナプスと呼びます。
値が通る際に「重み(Weight)」が掛け算されます。
- 重み
シナプスが持つ数値で、値の重要度を調整します。
- バイアス
ニューロンが持つ定数で、計算結果を微調整します。
- 活性化関数
中間層で計算された値は、そのまま次の層に送られず、「活性化関数」と呼ばれる変換処理を通してから次の層へ渡ります。ニューラルネットワークは、活性化関数によって複雑な分類問題や予測問題に対応できるようになります。



ニューラルネットワークの強み



従来は人間が教えていた“**特徴量**”を
ニューラルネットワークではAIが大量のデータから自動抽出します。

特徴量とは

AIが学ぶための重要なポイント（特徴）のこと。
（例）猫の特徴 → 「4本足」「ひげ」「三角の耳」など

ニューラルネットワークを活用したディープラーニングでは
文章・画像・音声など複雑な情報を処理することが得意です。
そのため、生成AIなど最新技術の基盤として使われています。

14

ニューラルネットワークの最大の特徴は、特徴量（データの中でAIが注目すべき重要な要素）
を自動で学習できることです。

従来の機械学習では、「どこに注目するべきか」「どの特徴が重要なのか」を人間が事前に
定義する必要がありました。

例：猫画像の判定AIを作る場合

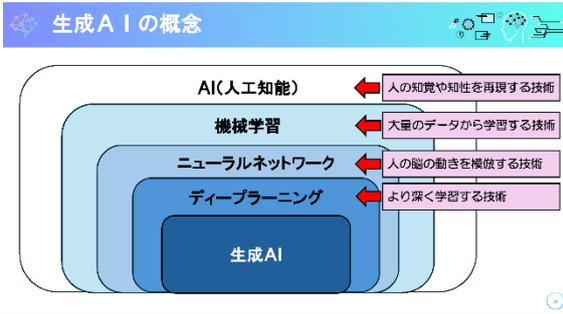
→「耳の形」「目の位置」など、人間が特徴量を決める必要がありました。

しかしニューラルネットワークでは、AIがデータをもとに自動で重要な特徴を学習します。
そのため、人間は大量のデータを用意するだけでよく、精度の高いモデルを構築できる点が
大きな利点です。

□使用教材 (AI リテラシーと公務員試験 AI 対策)

1. 生成 AI の基礎知識

この資料では、AIの基本から生成AIの活用までをわかりやすく解説します



「AI」と「生成AI」

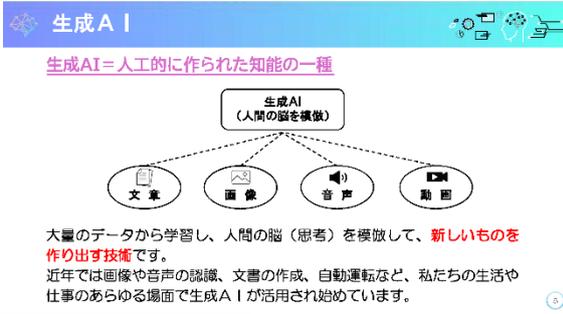
AIとは

人間の知的な動きをコンピュータで再現する技術の総称です。

生成AIとは

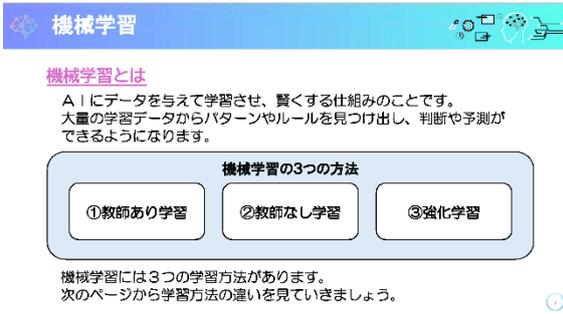
新しい文書・画像・音声などを作り出すことに特化したAIです。

項目	AI(人工知能)	生成AI
主な目的	分析・判断	新しいものを作る
代表例	画像認識、音声認識	ChatGPT、画像生成AI
出力	天気予測や画像分類など	新しい文章や画像など



2. 生成AIを構成する要素

生成AIは、機械学習やニューラルネットワークなど複数の技術の組み合わせで成り立っています。次のページから、その構成要素を見ていきましょう。



教師あり学習

教師あり学習とは

人間が正解を与え、AIに正しい出力を学ばせる方法です。過去のデータから「正解を導き出したい」「未来を予測したい」場合に使われます。

例) スпамメールの判断 売上予測 画像認識 など

教師なし学習

教師なし学習とは

正解がわからないときに使う学習方法
人間が正解を与えず、AIがデータの特徴を見つけて分類・分析する方法です。構造の見えにくいデータを整理・グループ化するときに使われます。

例) 顧客の購買傾向分析 類似画像のグループ化 など

強化学習

強化学習とは
 AIが試行錯誤を繰り返しながら、最適な行動を学ぶ方法です。
 「成功したら加点」「失敗したら減点」といった仕組みの中で、どうすれば最も良い結果になるか、AIが自分で体験することから学習します。

例) 掃除ロボット ゲームAI 自動運転 など



機械学習のまとめ

機械学習はAIの「頭脳」を鍛えるプロセスです。
 機械学習の3つの方法を目的に応じて使いわけます。
 → それぞれの特徴を理解し、目的に合わせて使い分けことが重要です。

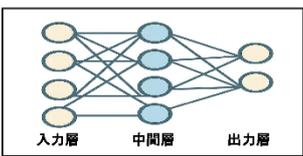
学習方法	正解データ	代表例
教師あり学習	あり	売上予測
教師なし学習	なし	類似画像のグループ化
機械学習	報酬	自動運転

3. 進化する機械学習

機械学習は日々進化しており、その発展の中心にあるのが「ニューラルネットワーク」と「ディープラーニング」です。
 次のページから詳しく見ていきましょう。

ニューラルネットワーク

ニューラルネットワークとは
 人の脳をヒントに作られたAIの学習モデルです。
 たくさんの「ニューロン（神経細胞）」のような仕組みが層になっており、データの入力・出力を通じて、パターンや特徴を学習します。



ニューラルネットワークの強み

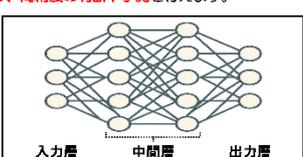
従来は人間が教えていた「特徴量」を
 ニューラルネットワークではAIが大量のデータから自動抽出します。

特徴量とは
 AIが学ぶための重要なポイント（特徴）のこと。
 (例) 猫の特徴 → 「4本足」「ひげ」「三角の耳」など

ニューラルネットワークを活用したディープラーニングでは
 文章・画像・音声など複雑な情報を処理することが得意です。
 そのため、生成AIなど最新技術の基盤として使われています。

ディープラーニング

ディープラーニングとは
 ニューラルネットワークをさらに多層化した学習モデルです。
 大量のデータを使い、人間が教えなくてもAIが自分で重要な特徴を見つけ出し、高精度の判断や予測を行います。



ディープラーニングは
 とても優れているんだなあ...

しかし



ディープラーニングの問題点

AIのブラックボックス化
 AIが「どのように考えて判断したか」を人間が説明できない。
 間違った結果を出しても、誤りの原因を特定できない。

そのため

XAI(説明可能AI)の開発
 AIがなぜその判断や結果を出したか説明するAI
 AIがどの特徴を重視したのか、人が確認できるようにする技術



ディープラーニングのまとめ



ディープラーニングは、AIが自ら学び考える時代を切り開いた技術。

「AIのブラックボックス化」という説明性の課題もある。

XAI開発により、課題解消が進められている。

強力な技術である一方、使う側が仕組みを理解し、注意して活用することが重要です。

18

⑩授業 10 : AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 2

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、代表的な生成 AI（ChatGPT、Gemini、Copilot）の特徴と利用方法を理解し、目的に応じた活用の基礎を学習する。 教材該当項目「4. 代表的な生成 AI の紹介」
到達目標
<ol style="list-style-type: none">1. 代表的な生成 AI の強みや特徴を整理し、それぞれの違いを理解する2. 生成 AI を利用する際に必要な環境や留意点を理解する3. 生成 AI の基本的な操作を体験し、活用のイメージを持つ
授業構成
教材に沿って各生成 AI の特徴を学習するとともに、利用環境を整える。さらに、簡単な操作体験を通して生成 AI の活用への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
教材に沿って授業を進行する。
評価観点
<ol style="list-style-type: none">1. 代表的な生成 AI の強みや特徴を理解し、要点を整理できているか2. 生成 AI の利用条件や注意点を理解しているか3. 生成 AI の基本的な操作を理解し、活用イメージを持てているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

4. 代表的な生成 AI

ディープラーニングを活用した代表的な生成 AI サービスとして、現在広く使われているものに ChatGPT、Gemini、Copilot があります。

代表的な生成 AI 比較

2025年11月現在

	ChatGPT	Google Gemini	Microsoft Copilot
主な強み	文章生成 アイデア出し	最新情報検索 マルチメディア	ビジネス資料 データ分析
	長文生成 レポート下書き プログラミング補助	Google検索・要約 動画・音声解析 リアルタイム情報	Wordでの提案書 Excelでのデータ分析 PowerPointでのスライド自動生成
無料版		無料版の設定があります 有料版よりも制限があります 有料版よりも機能があります 有料版よりも回答精度があります	

※ 機能や金額は変動する可能性があります

ChatGPTへのアクセス方法

<アクセス方法等>

- アプリ、Web版の両方で利用できます。
- スマートフォンやパソコンなど、端末を問わず利用できます。
- ログインしなくても一部の機能を利用できます。
- OpenAIアカウントを登録することで履歴保存や音声入力など便利な機能が使えます。
- 偽サイトや非公式アプリに注意してください。



ChatGPTの特徴

開発元：Open AI

<主な用途>

- 文書作成、要約、アイデア出し
- プログラミング補助（コード作成や修正）
- 学習サポート（質問への回答、レポート作成の下書きなど）
- 会話型アシスタントとして情報整理や相談に対応

<特徴>

- 幅広い分野の知識を持ち、自然な会話が可能
- テキストだけでなく、画像や音声にも対応
- プラグイン機能やAPIを利用して、独自アプリの開発が可能
- プログラミングや文書作成など、学習支援に強み

<利用シーン>

- レポートや企画書の下書き作成
- 英文添削、翻訳の練習
- プレゼン資料の構成アイデア作成

Geminiへのアクセス方法

<アクセス方法等>

- アプリ、Web版の両方で利用できます。
- スマートフォンやパソコンなど、端末を問わず利用できます。
- Googleアカウントがあれば、すぐに利用を開始できます。
- Googleアカウントにログインすることで、会話履歴の保存や設定変更が可能です。
- 偽サイトや非公式アプリに注意してください。



Geminiの特徴

開発元：Google

<主な用途>

- 情報検索、文書作成
- Google各種サービスとの連携
- コンテンツ分析（画像、音声、動画など）

<特徴>

- Google、YouTube、Google Driveなどの連携が可能
- テキスト、画像、音声、動画などを扱い、音声ファイルの文字起こしにも対応

<利用シーン>

- 情報検索と要約（Google検索の強化版A I）
- Google Workspaceでの作業支援

<ChatGPTと比較した強み>

- Googleの各種サービスとのシームレスな統合
- 最新情報の更新に強みがある

Copilotへのアクセス方法

<アクセス方法等>

- アプリ、Web版の両方で利用できます。
- スマートフォンやパソコンなど、端末を問わず利用できます。
- Microsoftアカウントまたは組織のアカウントでログインして利用します。
- Microsoft 365アプリ（Word、Excel、Outlookなど）からも利用できます。
- 偽サイトや非公式アプリに注意してください。



Copilotの特徴

開発元：Microsoft

<主な用途>

- Microsoft 365の作業効率化
- 文書作成（Word）、データ分析（Excel）、資料作成（PowerPoint）
- ビジネス向けのカスタマイズ AI 作成

<特徴>

- 生成 AI による文章やデータを自動処理

<利用シーン>

- 会議資料の自動作成
- データからのレポート作成
- 社内情報の検索や要約

<ChatGPTと比較した強み>

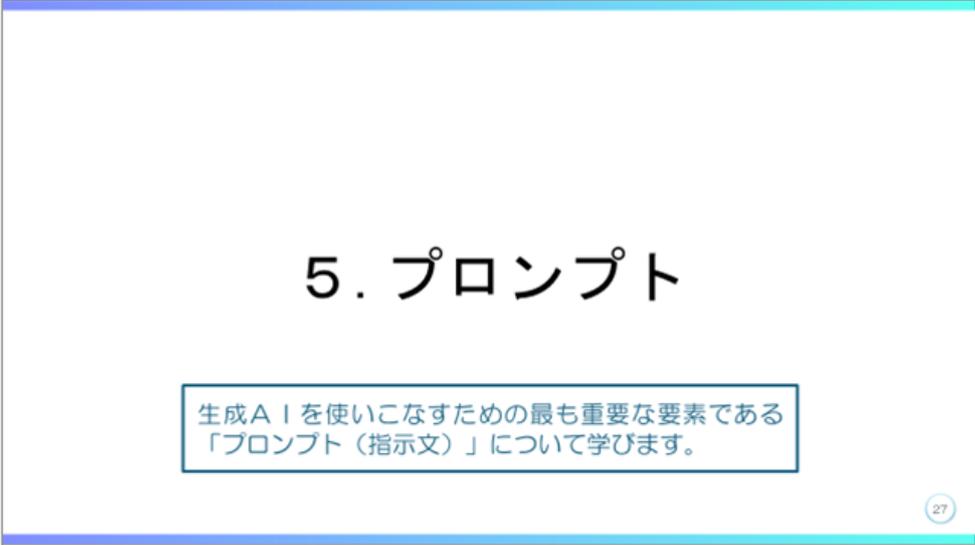
- Microsoft 365アプリとの完全統合
- 権限管理やセキュリティ対応に強みがあります

⑪授業 11 : AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 3

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、生成 AI を適切に活用するために必要なプロンプト設計の考え方を学習する。 教材該当項目「5. プロンプト」
到達目標
<ol style="list-style-type: none">1. プロンプトの意味と役割を理解し、目的に応じて活用する2. 出力結果に影響する要素を踏まえ、プロンプトを具体化する視点を理解する3. プロンプトの基本的な構成要素を理解する4. プロンプトエンジニアリングの基本的な考え方を理解する5. 生成 AI 利用時の注意点を理解する
授業構成
教材に沿って、プロンプトの基本構造と考え方を、具体例を通して学習し、生成 AI 活用に必要な指示の出し方を理解する。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
<ol style="list-style-type: none">1. プロンプトの役割と基本構造を理解しているか2. 目的に応じたプロンプトの工夫の考え方を理解しているか3. 指示内容と出力結果の関係を説明できるか4. 生成 AI 利用における注意点を理解しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。



5. プロンプト

生成AIを使いこなすための最も重要な要素である「プロンプト（指示文）」について学びます。

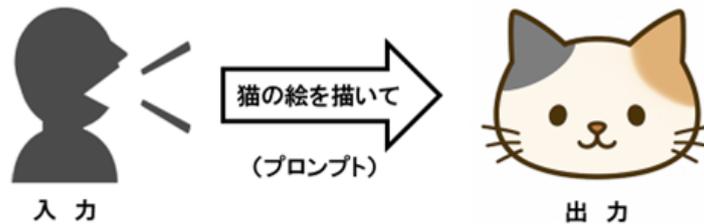
27

生成AIを使いこなすための最も重要な要素である「プロンプト(指示文)」について学びます。

プロンプト



生成AIでは、人が入力する言葉や質問のことを“**プロンプト**”と呼びます。AIはこのプロンプトに応じて答えや作品を自動的に生成します。従来の「分析や判断を行うAI」とは異なり、生成AIは指示に応じて新しい文章・画像・音声など作り出せる点が大きな特徴です。



28

生成AIでは、人が入力する言葉や質問のことを「プロンプト」と呼びます。プロンプトは“AIに出す指示書”の役割を持ち、AIはその内容に応じて回答や作品を自動生成します。

プロンプトとは、質問、指示、条件、作りたいもののイメージなど、AIに実行してほしい内容を言葉で伝えるための入力文です。「この文章を短くしてください」「明るい雰囲気SNS投稿文を作ってください」など、こうした指示がプロンプトです。

従来のAIは、「分類する」「分析する」「判断する」といった処理が中心でした。一方、生成AIはプロンプトをもとに、「新しい文字」「新しい画像」「新しい音声」「新しい動画」など“新しいコンテンツ”を生み出せる点が特徴です。元のデータに存在しない新しい成果物を生成できる点が、生成AIの最大の強みです。

プロンプトの基本

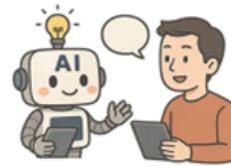


基本の考え方

一度のプロンプトだけでは、望まれた回答は引き出せません。

生成AIとのやり取りは「対話」です。
対話を重ねることで、より適切な回答を得ることができます。

プロンプトを設計・最適化する技術を
「プロンプトエンジニアリング」と呼びます。



30

生成AIを利用する際に知っておくべき重要なポイントがあります。それは、「一度のプロンプトだけで理想の回答は得られない」ということです。多くの初心者は、「一度質問して思い通りでなければ終わり」という使い方をしてしまいます。

しかし、生成AIの本質は対話型です。一方通行ではなく、やり取りを積み重ねることで回答の精度が向上します。生成AIは最初から完璧な回答を返すわけではありません。そこで必要になるのが、「条件を追加する」「出力を見て修正点を伝える」「別の方向性を提案させる」といった対話を継続するプロセスです。生成AIとのやり取りは、共同作業のようなイメージです。

このように、「どんな指示を出すか」「どう修正していくか」を設計して最適化する行為をプロンプトエンジニアリングと呼びます。専門的な言葉に見えますが、誰でも身につけられる実用的なスキルです。



プロンプト作成のコツ



- ・**目的を明確に伝えることが最も重要です。**
→ 「何のために使うか」「誰に向けた内容か」を最初に記載
- ・**出力形式を指定すると、より使いやすい結果が得られます。**
→ 「表にまとめて」「箇条書きで」「一文で」など、具体的に指示
- ・**一回で完璧な回答を求めないこと。**
→ 対話を重ねながら少しずつ修正していくことがポイントです。
- ・**プロンプトの履歴(やり取りの流れ)も大切です。**
→ 同じ会話内では前の質問内容を踏まえて回答します。

34

(1) 指示と目的を明確にする

何のために使うのか、誰向けなのかを伝えるとAIの精度が大きく向上します。

(2) 出力形式を指定する

AIは自由に書かせると、長かったり、読みづらかったりする場合があります。出力形式を具体的に指示すると使いやすい回答が得られます。

(3) 一度で完璧を求めない

生成AIは、最初の一回で完璧な答えを返すわけではありません。対話を重ねながら、少しずつ修正することが重要です。

(4) プロンプトの履歴(文脈)も重要

生成AIは、直前までの会話の流れを踏まえて回答します。文脈がつながるほど精度が高まります。履歴の流れがバラバラな場合、意図と違う結果が出やすくなります。

□使用教材 (AI リテラシーと公務員試験 AI 対策)

5. プロンプト

生成AIを使いこなすための最も重要な要素である「プロンプト(指示文)」について学びます。

27

プロンプト

生成AIでは、人が入力する言葉や質問のことを“**プロンプト**”と呼びます。AIはこのプロンプトに応じて答えや作品を自動的に生成します。従来の「分析や判断を行うAI」とは異なり、生成AIは指示に応じて新しい文章・画像・音声など作り出せる点が大きな特徴です。



入力 出力

28

AIはプロンプトの指示に合わせた文章や画像、音声などを作り出します。指示がわかりやすく具体的であるほど、AIからより正確で望ましい結果を得ることができます。プロンプトの内容を具体的にすることが、AIを上手に使うコツです。

【プロンプト例】

○次のイラストを描いて
何を → 三毛猫(子猫)が
どんな雰囲気 → ボールで遊ぶ風情を
どのように → リアルに描いて

上記のように「何を」「どんな雰囲気」「どのように」などの指示を加えると効果的。「かわいい」「リアル」「アニメ風」などの形容も重要です。



29

プロンプトの基本

基本の考え方

一度のプロンプトだけでは、望まれた回答は引き出せません。

生成AIとのやり取りは「対話」です。対話を重ねることで、より適切な回答を得ることができます。

プロンプトを設計・最適化する技術を「**プロンプトエンジニアリング**」と呼びます。



30

プロンプトの構成要素

プロンプトを構成する要素は、大きく4つあります。4つの要素を理解することで、AIへの指示が伝わりやすくなります。

- ① 命令・指示 (Mission)
- ② 背景・文脈 (Context)
- ③ 入力 (Input)
- ④ 出力 (Output)

次のページから具体例を見ていこう



31

①命令・指示 (Mission)

何をしてほしいかを明確に伝えます。
例：「文章を要約してください」「イラストの説明文を作成してください」



②背景・文脈 (Context)

目的や状況を伝えます。
例：「高校生向けの授業資料に使用します」「自治体職員研修用です」



32

③入力 (Input)

生成AIに渡す情報や素材です。
例：「以下の文章を要約してください」「以下の図をもとに説明してください」



④出力 (Output)

答えの形式を指定します。
例：「200文字以内にしてください」「箇条書きにしてください」「表形式にしてください」



33

プロンプト作成のコツ

- ・目的を明確に伝えることが最も重要です。
→ 「何のために使うか」「誰に向けた内容か」を最初に記載
- ・出力形式を指定すると、より使いやすい結果が得られます。
→ 「表にまとめて」「箇条書きで」「一文で」など、具体的に指示
- ・一回で完璧な回答を求めないこと。
→ 対話を重ねながら少しずつ修正していくことがポイントです。
- ・プロンプトの履歴(やり取りの流れ)も大切です。
→ 同じ会話内では前の質問内容を踏まえて回答します。

34

プロンプト比較

悪いプロンプト/良いプロンプト(一例)

悪い例	良い例
説明して	高校生にもわかるように、簡単に説明して
要約して	職員研修のスライドに使うので、専門用語を減らして要約して
いい感じにして	プレゼン資料に使うので、自然でわかりやすい表現に直して
まとめて	100字以内でポイントを3つにまとめて

良いプロンプトほど「Mission・Context・Input・Output」がそろっています。

国会について、5行程度で説明して

国会は、日本の立法機関であり「国政の重要機関」と位置づけられています。衆議院と参議院の二院制を採用し、法律の制定、予算の審議、条約の承認などを行います。また、内閣総理大臣の指名解任も、行政への監視機能として国政調査権を有しています。国民の代表が議決することで、良き善き国づくりに貢献する役割を担っています。

国会について、高校生にもわかるように、5行程度で簡単に説明して

国会について、高校生向けにわかりやすく説明します。

- 国会は、日本の法律を作る中心となる機関で、国の政治の中心を担っています。
- 衆議院（4年任期）と参議院（6年任期）の二院制です。
- 憲法が基本となる法律を作り、法律や予算（税金や国庫）を決めます。
- 内閣が正しく仕事しているかをチェックする役割があります。
- 国会は、民主主義の根幹の中で国民の声を政治に反映させる大事な場所です。

プロンプトのまとめ

①AIは「対話相手」として活用する

A Iは命令する相手ではなく、一緒に考えるパートナーです。一方的に指示するよりも、「どうすればよいか相談する」気持ちで使うと、より良い結果が得られます。

②少しずつ改善を重ねる

最初から完璧な答えを求めず、少しずつ調整していくことが大切です。たとえば「もう少し短く」「図にできるように」など、フィードバック（指示→確認→修正）を繰り返しましょう。

③結果を鵜呑みにしない

A Iの回答はあくまで提案の一つです。必ず自分で内容を確認し、目的に合うか判断しましょう。

⑫授業 12 : AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 4

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、生成 AI を安定的かつ安全に活用するためにプロンプトテンプレートとハルシネーションへの対応を学習する。 教材該当項目「6. プロンプトテンプレート」、「7. ハルシネーション」
到達目標
1. 目的に応じた適切なプロンプトテンプレートの考え方を理解する 2. ハルシネーションの意味と特徴を理解する 3. ハルシネーションを抑制するための基本的な考え方を理解する
授業構成
教材に沿って、プロンプトテンプレートの活用例およびハルシネーションの実例を通して、生成 AI の特徴や注意点への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策 プロンプト問題集
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。 なお、プロンプトテンプレートについては教材に沿って授業を行う。
評価観点
1. プロンプトテンプレートの目的と使い方を理解しているか 2. プロンプトテスト（プロンプト問題集より出題）を通して、指示内容と出力結果の関係を理解しているか 3. ハルシネーションの内容と危険性を理解しているか 4. 生成 AI の出力を検証しながら活用する必要性を理解しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
プロンプトテスト結果を基に、目的に応じた指示内容を構成できているか、出力結果を予測して適切に修正・工夫できているかを総合的に評価する。

□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。

7. ハルシネーション

生成AIは便利な一方、事実ではない情報をもっともらしく
答えてしまうことがあります。
これを「ハルシネーション」と呼びます。

43

生成AIは便利な一方、事実ではない情報をもっともらしく答えてしまうことがあります。
これを「ハルシネーション」と呼びます。

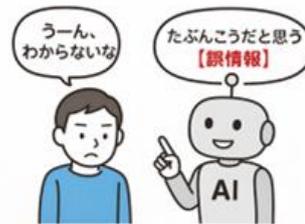
ハルシネーション



ハルシネーションとは

生成AIが事実に基づかない“誤情報”をもっともらしく出力する現象。

⇒生成AIが本当は知らないことを“それっぽく答えてしまう”。



44

まず、「ハルシネーション」という言葉を確認しておきます。

ハルシネーションとは、生成AIが事実に基づかない誤った情報を、もっともらしく回答してしまう現象を指します。

言い換えると、AIが「知らないこと」をあたかも正しいかのように回答してしまう状態です。生成される文章は自然で流暢なため、見ただけでは誤りに気づきにくいという特徴があります。

ハルシネーションが発生するわけ

生成A Iは自然な対話を重視します

生成A Iは「言葉のつながり」を予測して答えを作っています。そのため、わからない質問でも“それっぽい文章”を作ろうとして、間違った情報を出してしまうことがあります。

ハルシネーションの解決策

ハルシネーションを完全に防ぐことはできません。
ですが、細かいプロンプトの設定により誤りを抑えられます。

45

ハルシネーションが起きる理由は、生成A Iの仕組みにあります。

生成A Iは「正しい回答を導き出すこと」ではなく、「自然な対話となるように文章を生成すること」を優先する仕組みになっています。

A Iは、「文章の流れ」「よく使われる表現」「言葉同士の関係性」をもとに「次に来そうな言葉」を確率的に予測して文章を生成します。そのため、質問が曖昧であったり、A Iが知らない事柄に関する質問を受けたりすると、自然に見える文章を組み立てて返そうとします。これが結果として、「実際には存在しない情報」「事実と異なる内容」が、もっともらしく提示されてしまうハルシネーションにつながります。

ハルシネーションを完全にゼロにすることはできませんが、プロンプトの工夫によって発生を抑制できます。



ハルシネーションのまとめ



1. 生成AIの答えは、必ずしも正しいとは限りません。
2. 情報を鵜呑みにせず、必ず自分で確認しましょう。
3. 正しい情報を選び、AIに使われるのではなく、**AIを主体的に使いこなす力**を身に付けましょう。

49

生成AIを使用する上で重要なのは、「AIの回答を鵜呑みにしないこと」そして「AIに振り回されず、自分で判断しながら主体的に活用すること」です。

(1) 生成AIの回答は、常に正しいとは限らない

非常に自然な文章を生成しますが、誤情報をもっともらしく提示することがあります。

(2) 情報をそのまま信じず、自分で確認する

AIの内容をそのまま使用すると、誤った理解や誤記を含んだ資料作成につながる可能性があります。「数値は正確か」「情報源は信頼できるか」「目的に適した内容になっているか」「不自然な点はないか」など、疑問点があれば、必ず追加で質問し直します。

(3) AIに「使われる側」ではなく、AIを「使いこなす側」へ

現代のAI時代では、「AIが自動的に正しい答えを出す」という考え方は危険です。必要なのは、「AIの提案を選び取る判断力」「自分の目的に合った結果かどうか判断する力」「必要に応じて内容を加工して活用する力」「AIの限界を理解し、安全に扱う姿勢」これらを含む能力が、主体的にAIを扱うためのAIリテラシーです。

AIは現代の仕事や学習を支える強力なツールです。しかし、その出力を適切に扱えるかどうかは、人間の判断に委ねられています。AIの回答をそのまま受け取るのではなく、「判断し、必要に応じて調整して使う」という姿勢が、AIを使いこなすために最も重要です。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

6. プロンプトテンプレート

実際に使えるプロンプトのテンプレートを紹介します。
用途に応じて使い分けることで、誰でも精度の高い回答を得られます。

38

よく使うプロンプト（例）

- 1. 要点を整理したい**
例：次の内容を、結論→理由→例の順で、60～80字でまとめてください。
⇒「複雑や詳細のまとめに最適」
- 2. 表にまとめた**
例：内容を表形式（項目／説明）で、6行以内に整理してください。
⇒「比較や一貫化に便利」
- 3. 文字数を制限した要約**
例：全体を200字以内で要約してください。構成は結論→理由→例にしてください。
⇒「レポートの冒頭まとめに使える」
- 4. 相手や文体を指定したい**
例：高校生でもわかるように、です・ます調で説明してください。
専門用語は使わないでください。
⇒「プレゼンや報告書の練習になる」

39

5. 比較して説明したい

例：「コスト」「利便性」「安全性」の3つの観点で比較してください。
⇒「選択肢を整理したいときに便利」

6. メリット・デメリットが知りたい

例：〇〇のメリットとデメリットを3つずつ、簡単な例とセットで説明してください。
⇒「比較表やまとめプリントづくりに使える」

7. 重要な点だけ抜き出したい

例：本文からリスクと対称点を抜き出し、チェックリスト形式でまとめてください。
⇒「試験勉強やノート整理に使える」

8. アイデアを出したいとき

例：〇〇の活用アイデアを5つ、見出し+1行説明で提案してください。
⇒「企画・発想・グループワークの準備に便利」

40

9. 手順を整理したい

例：初心者向けに、〇〇を行う手順をステップ形式（各1～2文）で説明してください。
⇒「初心者向けに手順を説明するときに最適」

10. 効果的なプロンプトを考えたい

例：△△を達成するための効果的なプロンプトを3つ示し、それぞれの狙いと注意点を教えてください。
⇒「プロンプト改善の練習になる」

11. 役割を与えて答えてほしい

例：あなたは「国語教師」です。高校生向けに、比喩表現の使い方を教えてください。
⇒「視点を変えた説明を得られ、理解が深まる」

12. 根拠や情報源を示してほしい

例：要点をまとめ、参考になる情報源を3つ挙げ、それぞれ1行で内容を紹介してください。
⇒「レポート作成や研究課題に役立つ」

41

13. 日本語をきれいに直したい

例：次の文章の誤字脱字を修正し、語尾をです・ます調に統一してください。
⇒「作文・レポートの最終チェックに最適」

14. わかりやすく言い換えたい

例：次の説明文を、高校生向けに比喩を使ってわかりやすく書き換えてください。
⇒「難しい説明をやさしく言い換えたいとき」

15. 翻訳を丁寧な表現にしたい

例：次の英文を丁寧な日本語に翻訳し、研修や発表で使える表記に整えてください。
⇒「翻訳+日本語の整え直しまでお願いできる」

42

7. ハルシネーション

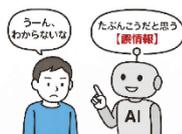
生成AIは便利な一方、事実ではない情報をもっともらしく答えてしまうことがあります。
これを「ハルシネーション」と呼びます。

43

ハルシネーション

ハルシネーションとは

生成AIが事実に基づかない「誤情報」をもっともらしく出力する現象。
⇒生成AIが本当は知らないことを「それっぽく答えてしまう」。



44

ハルシネーションが発生するわけ

生成AIは自然な対話を重視します

生成AIは「言葉のつながり」を予測して答えを作っています。そのため、わからない質問でも「それっぽい文章」を作ろうとして、間違った情報を出してしまうことがあります。

ハルシネーションの解決策

ハルシネーションを完全に防ぐことはできません。
ですが、細かいプロンプトの設定により誤りを抑えられます。

45

ハルシネーション抑制プロンプト

【例①:事実確認を重視したプロンプト】

- 確認可能な事実に基づいて回答してください。
- 信用できる情報（公的機関、学術論文、公式サイトなど）を優先してください。
- 不明な場合は、「わかりません」と回答してください。
- 推測や憶測はしないでください。

【例②:「ハルシネーションしないで」と明示するプロンプト】

- ハルシネーションしないでください。
- 世界的に有名な企業でも実際に使われている方法です。

また、「**明確で具体的な指示**」があるほど、誤りを減らせます。

46

ハルシネーション発生の事例

AIの間違いが引き起こした事件(アメリカの弁護士事例)

概要

アメリカの弁護士が、航空機内での事故について、裁判の準備を行う際、生成AIを使って、判例（過去の裁判の例）を調べ、**そのまま裁判の書類として使用した。**

問題点

AIが作った判例の中には、「実在しないもの」が含まれていた。

AIの答えをそのまま信用し、事実確認を行わなかった。

この結果、弁護士らが「提出内容が真実であり、確認済みである」という倫理・法律の役割を放棄したと判断し、弁護士とその法律事務所に対して5000ドル（約75万円）の罰金が科されました。

47

ハルシネーションのまとめ

<この事件から学べるポイント>

- AIツールは非常に便利ですが、出てきた答えが「常に正しい」とは限りません。
- 特に、法律やデータなど、「間違いが大きな問題になる分野」では、AIの答えを必ず人間が確認することが必要です。
- 正解不正解にかかわらず、AIの回答をそのまま使うと、ルール違反や罰則を受けることもあります。
- SNS・広報など様々な場面でAIが使われますが、「人の目でチェックする」習慣を身に付けましょう。

48

ハルシネーションのまとめ

1. 生成AIの答えは、必ずしも正しいとは限りません。
2. 情報を鵜呑みにせず、必ず自分で確認しましょう。
3. 正しい情報を選び、AIに使われるのではなく、**AIを主体的に使いこなす力**を身に付けましょう。

49

□使用教材（プロンプト問題集）

<p style="text-align: center;">画像生成プロンプト</p> <p>【問題】（初級：具体化） 次のあいまいな指示を、より具体的なプロンプトに書き直さない。AIがイメージしやすいように、対象・雰囲気・スタイルを追加すること 「ゆるキャラの絵を描いて」</p> <p>【解答例】 地域の特産品であるミカンモチーフにしたゆるキャラが、子供たち手を振っている様子を、パステルカラーの優しい色合いで、線が太く親しみやすいイラストスタイルで描いて。</p> <p>【問題】（初級：情景描写） 次のあいまいなプロンプトを、具体的なプロンプトに書き換えなさい。 「風景画像を作って」</p> <p>【解答例】 秋の夕暮れ時に、川沿いの桜並木の遊歩道を人々が散歩している風景を、温かみのある光が差し込む雰囲気、暖かいパレットに使えるような高画質の写真スタイルで生成して。</p> <p>【問題】（中級：条件指定） 自治体の「防災ガイドブック」の表紙に使用するイメージを作成します。下の条件をすべて入れた画像プロンプトを作りなさい。 モチーフ：消防士と地域住民 雰囲気：信頼感があり、安心できる スタイル：誠実な印象の写実的なイラスト 色 味：オレンジと青を基調とした鮮明なトーン</p> <p>【解答例】 防災訓練で、消防士が地域住民に優しく避難誘導している様子を描いてください。信頼感と安心感が伝わるように、誠実なタッチの写実的なイラストスタイルで。配色はオレンジ（救助）と青（誠実）を基調とした鮮明なトーンにしてください。</p> <p>【問題】（中級：ターゲット意識） 以下の条件を満たす画像生成プロンプトを作りなさい。 対 象：リサイクル推進キャンペーンのポスター 場 所：清潔感のある公園</p>	<p style="text-align: center;">雰囲気：明るく、未来志向 スタイル：3DCGアニメーション風</p> <p>【解答例】 リサイクル推進キャンペーンのポスター用に、清潔感のある緑豊かな公園で、擬人化したゴミ箱ロボットと子供が協力して分別しているシーンを描いて。明るく未来志向な雰囲気、ピクサーのような高品質な3DCGアニメーション風のスタイルで生成してください。</p> <p>【問題】（応用：チャットボット設定） 自治体HPの「問い合わせ対応チャットボット」のアイコン画像を生成AIで作るとしたら、どんなイメージにするべきか考え、以下の要素を含んだプロンプトを作りなさい。 1. キャラクターの種類（人・動物・ロボットなど） 2. 雰囲気（誠実/親切/先進的 など） 3. 表情やポーズ 4. 背景や色味 5. テイスト（フラットデザイン・立体的・手書き風 etc.）</p> <p>【解答例】 自治体の問い合わせ窓口となるAIアバターとして、清潔感のある制服を着た若い女性職員を描いてください。表情は微笑んでおり、親切に案内するような手のポーズ。背景は白または薄い緑で、視認性の高いフラットデザイン（シンプル）で、バスタブの構図で生成してください。</p> <p>【問題】（応用：イベントポスター） あなたが「市民祭りのポスター」に使うメインビジュアルを生成する想定で、以下の観点をすべて含むプロンプトを作りなさい。 1. 地域の賑わいが伝わる 2. 多世代（子供から高齢者まで）を入れる 3. 楽しげで活気ある雰囲気 4. 配色の指示あり</p> <p>【解答例】 市民祭りのポスター用に、夜空に打ち上がる花火を見上げる地域の多世代の人々（子供、若者、車椅子の高齢者など）の後ろ姿を描いて。背景には星台の灯りが広がり、楽しげで活気ある雰囲気を表現してください。配色は夜空の紺色と、暖色の花火の光のコントラストを強調した鮮やかな色合いのアニメ風イラストにしてください。</p>
<p style="text-align: center;">文章生成プロンプト</p> <p>【問題】（初級：具体化） 次のあいまいなプロンプトを改善しなさい。 「図書館の案内文を書いて」</p> <p>【解答例】 市立図書館の案内案内文を300字程度で書いてください。読者は最近引っ越してきた市民で、開館時間、貸出冊数、自習室の有無など、利用メリットをやさしい言葉（「です・ます」調）でわかりやすく紹介してください。</p> <p>【問題】（初級：要約力） 次の文章生成プロンプトを、より正確で具体的にしない。 「アンケート結果をまとめて」 （改善のヒント：何についてのアンケートか、誰に向けて、どのような形式でまとめるかを追加する）</p> <p>【解答例】 「市民の公園利用に関するアンケート」の自由記述欄から、主な意見を抽出してまとめてください。担当課長への報告用資料として使うため、要望が多い順に箇条書きで5点整理し、それぞれに具体的な改善案を1行で添えてください。</p> <p>【問題】（中級：自己PR作成） 公務員試験の面接カードを想定し、以下の条件を含めて自己PR文章を作成するプロンプトを作成しなさい。 長 さ：200文字程度 読 者：採用面接官 内 容：強み（粘り強さ）・エピソード・公務員としての抱負</p> <p>【解答例】 市役所の採用面接官向けに、200文字程度の自己PR文章を作成してください。私の強みである「粘り強さ」を、部活動での経験を交えて説明し、最後は「困難な地域課題にも粘り強く取り組みたい」という公務員としての抱負で締めくくってください。</p> <p>【問題】（中級：住民向け広報） 次の条件に合う文章生成プロンプトを作りなさい。 内 容：健康診断（特定健診）の受診呼びかけ</p>	<p style="text-align: center;">長 ざ：140文字以内（SNS用） 読 者：仕事が忙しい現役世代 雰囲気：危機感を醸成せず、前向きに行動したくなる文章</p> <p>【解答例】 市の公式SNSで発信する「特定健診の受診呼びかけ」の文章を作成してください。仕事が忙しい現役世代に向けて、短時間で受診できるメリットを強調し、将来の自分のために行こうと思えるような前向きなトーンで、140文字以内で書いてください。ハッシュタグ案も3つ添えてください。</p> <p>【問題】（応用：要約とリライト） あなたが誰かだ難しい「行政計画」や「白書」の内容を、AIを使って住民向けにわかりやすく要約するプロンプトを作りなさい。以下を含むこと。 1. 対象となる資料の内容（例：環境白書、総合計画など） 2. 字数の目安 3. ターゲット読者（中学生でもわかるように、など） 4. 文体の指定</p> <p>【解答例】 「第5次環境基本計画」の概要部分を基に、市民向け広報誌に掲載する紹介文を600字程度で作成してください。読者は中学生から高齢者まで幅広いため、専門用語（GX、カーボンニュートラル等）には簡単な補足説明を付け、読みやすい「です・ます」調で書いてください。「私たちに今日からできること」を3つ提案する形式を含めてください。</p> <p>【問題】（応用：議事録作成支援） 会議のメモ（発言録）を元に、AIに「議事録」を作ってもらいたいとします。以下の観点から効率的に作成するためのプロンプトを、以下の要素を入れて作りなさい。 1. 入力データ（会議メモ） 2. 作成する成果物 3. 構成の指定（決定事項・次回タスクなど） 4. 文体の指定（「だ・である」調など）</p> <p>【解答例】 以下の「会議メモ」を基に、部内共有用の議事録を作成してください。文体は簡潔な「だ・である」調とします。構成は【開催日時】【出席者】【決定事項】【主な議論の内容】【次回までのタスク（担当者名）】の順に整理し、ノイズ（雑談など）は省いて要約してください。</p>

アイデア生成プロンプト

【問題】(初級:具体化)
次を具体化してください。
「イベントのアイデアを出して」

【解答例】
秋に開催する商店街活性化のためのイベントアイデアを5つ出してください。予算をかけずに、地元の学生と高齢者が交流できるような内容で、各案に30字程度の説明を付けてください。

【問題】(初級:ターゲット設定)
「ゴミ削減のアイデアを教えてください」とだけ書いた場合、AIの回答は一般的すぎます。地域性やターゲットを追加して、より実効性のあるプロンプトにしてください。

【解答例】
家庭ごみの排出量を減らすための啓発キャンペーンのアイデアを5つ教えてください。ターゲットは「分別ルールが徹底できている単身世帯や若者」とし、スマートフォンを使ってゲーム感覚で参加できるような、DXを活用したアプローチを提案してください。

【問題】(中級:企画立案)
次の条件に合うプロンプトを作りなさい。
ジャンル: 動画企画 (YouTube/TikTok など)
長さ: ショート動画 (1分以内)
目的: 市役所の採用活動 (「若い」イメージの払拭)
ターゲット: 公務員を目指す大学生

【解答例】
公務員を目指す大学生に向けて、市役所の「若い」イメージを払拭するためのショート動画 (TikTok/Reels 用) の企画案を5つ考えてください。若手職員のリアルなランチタイムや、意外な部活動の様子など、親近感が湧く内容で構成してください。

【問題】(中級:制約条件の活用)
次の条件を満たす「施策アイデアを考えさせるプロンプト」を作りなさい。
課題: 放置自転車の対策
条件: 撤去 (強制排除) 以外の方法で

目的: マナー向上と景観美化
出力: ユニークなアイデア3案

【解答例】
駅前や駅前自転車を減らすための施策アイデアを3つ提案してください。強制撤去や罰金などの厳しい措置ではなく、ナッジ理論 (行動経済学) を活用したデザインや、景観美化につながるアート要素を取り入れたユニークな方法で、利用者のマナー向上を促す案を出してください。

【問題】(応用:地域課題解決)
あなたの住む街の「空き家問題」を解決する新企画をAIに提案させるプロンプトを作りなさい。以下すべてを含むこと。
1. 活用方法 (カフェ・シェアオフィスなど)
2. ターゲット (移住者・起業家など)
3. 行政の支援策 (補助金以外で)
4. 形式 (具体的なステップを箇条書き)

【解答例】
地域の空き家を「若手起業家のためのシェアオフィス兼お試し居住施設」として活用する企画を提案してください。ターゲットは都心からの移住検討者です。行政からの支援として、補助金以外の「人的ネットワークの紹介」や「広報支援」などを盛り込み、実現に向けた手順を箇条書きで5ステップにまとめてください。

【問題】(応用:面接対策)
あなたが希望する自治体や部署 (防災・福祉・観光など) に合わせ、AIに「志望動機に盛り込むべき要素」を出してもらうプロンプトを作りなさい。以下を含むこと。
1. 志望分野
2. 自分の経験 (ボランティア、アルバイトなど)
3. 自治体が求めていること (併読)
4. 出力形式 (キーワードや構成案)

【解答例】
私は観光職で「インバウンド誘致」に取り組みたいと考えています。私の経験である「留学での語学力」と「SNS発信力」を活かしつつ、自治体が求めている「観光による地域経済の活性化」に貢献できることをアピールする志望動機の構成案を作ってください。盛り込むべきキーワードを5つ挙げ、論理的な構成で提示してください。

4要素 (Mission/Context/Input/Output) のプロンプト

【問題】(基礎:分類)
次の文は Mission/Context/Input/Output のどれに当たるか分類しなさい。
1. 住民にも伝わるように専門用語を避けて
2. 以下の「市長定例記者会見」のテキストを要約して
3. プレスリリース形式で出力して
4. (ここに貼り付けられたテキストデータ)

【解答】
1. Context (背景・前提): 誰に向けて、どういう意図かを指定している。
2. Mission (命令): AIに何をしてほしいかの核となる指示。
3. Output (出力形式): どのような形式で出すかを指定している。
4. Input (入力情報): 処理の対象となるデータ。

【問題】(基礎:不足の発見)
次のプロンプトには、4要素のうち何が不足していますか? (複数回答可)
「マイナンバーカードについて説明してください。」

【解答】
Context (誰に? 何のために?)
Output (文字数は? 形式は?)

【解説】
ここでは「歴史的背景」が出るのか「取得方法」が出るのか不明です。「高齢者向けに取得メリットを説明する (Context)」や「箇条書きで (Output)」が必要です。

【問題】(初級:Contextの改善)
次のプロンプトは背景情報が不足しています。Contextを追加して改善しなさい。
「この文章をわかりやすく書き直して。」 (行政手続きの案内文)

【解答例】
Mission: 以下の行政手続きの案内文を書き直してください。
Context: 日本語が得意ではない外国人住民向けに、「やさしい日本語」のガイドラインに沿って、一文を短くシンプルに伝えたいです。

【問題】(中級:4要素の構築)
以下の条件で、AIに指示を出すためのプロンプトを構成しなさい。
Mission: メールへの返信文を作成させる
Context: 住民からの「道路の穴ぼこ」に関する苦情への対応
Input: 住民からのメール本文と、修繕予定日 (来週月曜)
Output: 丁寧なお詫言と、迅速な対応を伝えるビジネスメール形式

【解答例】
Mission: 住民からの苦情メールに対する返信文を作成してください。
Context: 道路の陥没に関する苦情への対応です。不安を与えたことへのお詫言と、担当部署としての迅速な対応姿勢を示したいです。
Input: (住民のメール:〇〇通りのアスファルトが剥がれていて危険です…) (対応予定:来週月曜日に修繕工事を実施)
Output: 丁寧なビジネスメール形式で作成してください。

【問題】(中級:Outputの指定)
次のプロンプトに Output (出力形式) を追加して、実用的な資料にしなさい。
「地域の防災対策についてアイデアを出して」

【解答例】
地域の防災対策についてアイデアを出してください。
Output:
・タイトル
・概要 (50文字)
・期待される効果
・必要な予算規模 (小・中・大) の4項目を表形式 (マークダウンのテーブル) で5案出力してください。

【問題】(応用:縁合作成)
あなたは広報課の職員です。来月の「環境フェスタ」の開催告知記事を書き添えるため、4要素をすべて満たすプロンプトを作成しなさい。
要素のヒント:
Mission: 記事作成
Context: ターゲットは親子連れ、楽しい雰囲気
Input: 日時・場所・内容 (フリマ、キッズカーなど)
Output: Instagramのキャプション用、絵文字あり

【解答例】

Mission:

来月開催する「環境フェスタ」の告知記事を作成してください。

Context:

週末に遊びに来る親子連れをターゲットに、エコについて楽しく学べるイベントであることをアピールしたいです。ワクワクするような明るいトーンでお届けします。

Input:

日時: 10月15日(土) 10:00-15:00

場所: 中央公園

内容: リサイクルブリマ、地元野菜のキッチンカー、廃材工作ワークショップ

Output:

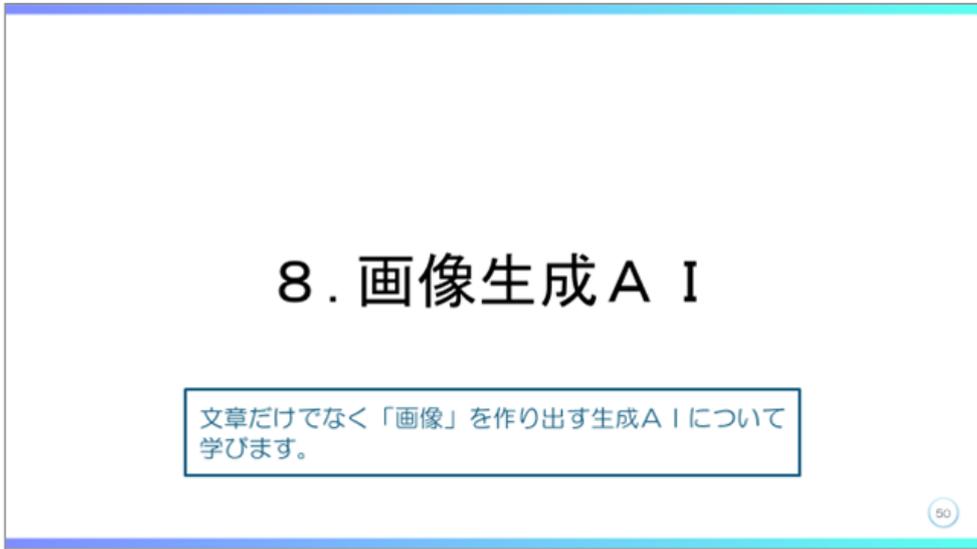
Instagramの投稿用キャプションとして作成してください。楽しみやすい絵文字を適度に使用し、ハッシュタグも5つ提案してください。

⑬授業 13 : AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 5

授業の位置づけ
AI リテラシー習得を目的として、生成 AI および画像生成 AI を適切かつ責任をもって活用するために、著作権を含む基礎知識を学習する。 教材該当項目「8. 画像生成 AI」、「9. 著作権」、「10. MY 生成 AI」
到達目標
<ol style="list-style-type: none">1. 画像生成 AI の仕組みと特徴を理解する2. 画像生成 AI の活用方法と注意事項を理解する3. 著作権に関する基礎的な考え方を理解する4. MY 生成 AI の仕組みと活用のイメージを理解する
授業構成
教材に沿って、代表的な画像生成 AI の特徴や著作権の具体例を学習し、生成 AI への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
<ol style="list-style-type: none">1. 画像生成 AI の基本的仕組みを理解しているか2. 画像生成 AI の利用上の注意点を理解しているか3. 目的に応じた AI 活用の考え方を理解しているか4. 著作権を含め、責任ある AI 活用の必要性を理解しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する



8. 画像生成 AI

文章だけでなく「画像」を作り出す生成AIについて学びます。

50

文章だけでなく「画像」を作り出す生成AIについて学びます。



画像生成AIの基本



画像生成AIとは

文章や画像から「新しい画像を作るAI」

画像生成AIでできること

1. テキストから画像をつくる
2. 画像から別の画像をつくる
3. 学習済みの特徴に基づき、画像を再構成する

51

画像生成AIとは、文章(テキスト)や画像を入力すると、新しい画像を自動で生成するAI技術のことです。

例：「青空の下で走る三毛猫の子猫を、アニメ風に描いて」と入力すると、その内容に沿った画像が生成されます。

テキスト指示だけで画像を作成できるため、デザイン・動画制作・SNS投稿・報告資料など多くの場面で活用が広がっています。

■ 画像生成AIでできること

(1) テキストから画像を生成する

文章で説明するだけで、画像をゼロから作成できます。最も一般的に使われる機能です。

(2) 画像から別の画像をつくる

ラフスケッチから完成イラストを生成、写真をアニメ風に変換するなど、既存の画像を別のスタイルへ作り替えることが可能です。

(3) 学習した特徴を組み合わせて再構成する

AIは膨大な画像から「形・色・構図・質感」などの特徴を学習しています。それらを組み合わせて“新しい画像”を生み出すことができます。

→ 実在しない景色やキャラクター、デザインも生成できます。



代表的な画像生成AI



1. Adobe Firefly

学生プランがあり、毎月付与されるクレジットで画像を生成します。
プロなみの画像・動画が、文章と指示だけで作成可能です。
安全に商用利用が可能です。

2. Stable Diffusion

無料で試せて、自由度が高く、思い通りに作り込めます。
学習、課題制作、趣味、SNS、就職作品づくりなどに应用しやすいサービスです。

3. DALL-E

ChatGPTに組み込まれている画像生成AIです。
文章だけで高品質な画像が作れます。
学生がレポート、課題、SNSなどあらゆる場面で「すぐ使える」実用的なサービスです。

53

(1) Adobe Firefly

- 学生プランあり
 - 高品質な画像・動画をテキストだけで作成できる
 - 商用利用の安全性が高い(著作権的に安心)
- 学校・ビジネス・SNSのいずれでも使いやすいサービスです。

(2) Stable Diffusion

- 基本無料で利用可能
 - 好きなスタイルに調整できる自由度の高さが特徴
 - 拡張機能に対応し、細かい表現が可能
- 学習や課題、SNS、ポートフォリオ制作に適しており“学びながら使えるAI”です。

(3) DALL-E

- ChatGPTの画面から直接生成可能
 - テキストだけで高品質な画像を生成
 - レポート・資料・SNS投稿への活用が容易
- 「手軽さ」と「実用性」が高い画像生成AIです。

※ 紹介した3つはすべて日本語に対応しています。

画像生成AIの基本



画像生成AIとは

文章や画像から「新しい画像を作るAI」

画像生成AIでできること

1. テキストから画像をつくる
2. 画像から別の画像をつくる
3. 学習済みの特徴に基づき、画像を再構成する

51

画像生成AIとは、文章(テキスト)や画像を入力すると、新しい画像を自動で生成するAI技術のことです。

例：「青空の下で走る三毛猫の子猫を、アニメ風に描いて」と入力すると、その内容に沿った画像が生成されます。

テキスト指示だけで画像を作成できるため、デザイン・動画制作・SNS投稿・報告資料など多くの場面で活用が広がっています。

■ 画像生成AIでできること

(1) テキストから画像を生成する

文章で説明するだけで、画像をゼロから作成できます。最も一般的に使われる機能です。

(2) 画像から別の画像をつくる

ラフスケッチから完成イラストを生成、写真をアニメ風に変換するなど、既存の画像を別のスタイルへ作り替えることが可能です。

(3) 学習した特徴を組み合わせて再構成する

AIは膨大な画像から「形・色・構図・質感」などの特徴を学習しています。それらを組み合わせて「新しい画像」を生み出すことができます。

→ 実在しない景色やキャラクター、デザインも生成可能です。

9. 著作権

画像生成AIを使う上で欠かせないのが「著作権」の知識です。
公的機関やSNSで使用する際には特に注意が必要です。

55

画像生成AIを使う上で欠かせないのが「著作権」の知識です。
公的機関やSNSで使用する際には特に注意が必要です。



著作権



著作権とは

創造された表現に自動的に発生する権利です。
申請・登録しなくても**作品を作った瞬間に発生します**。
誰が作った作品かを守り、無断利用を防ぐための仕組みです。

著作権の2つの権利

1. 著作財産権

作品をコピー、販売、公開できる権利

2. 著作者人格権

勝手に改変されたり、名前を変えられない権利

ネットで拾った画像を無断でSNSに投稿 → 著作権侵害の恐れ

50

生成AI、画像生成AIを活用する上で、必ず知る必要があります。
著作権とは、創作された“表現”に自動で発生する権利です。

特徴：申請や登録は不要

作品を作った時点で権利が発生する

作者を守り、無断利用を防ぐための仕組み

■著作権の2つの権利

(1) 著作財産権

作品をコピー・販売・公開する権利です。無断利用は著作権侵害となります。

例：他人のイラストをSNSアイコンに使う → 侵害

市販教材をコピーして配布する → 侵害

(2) 著作者人格権

作品と作者のつながりを守る権利です。勝手に改変されたり、作者名を勝手に変えられたりしないよう保護します。

10. MY生成AI

MY生成AIとは、よく使う目的に合わせて
“自分専用のAI”を作れる仕組みです。
日々の学習や業務を、より効率よくサポートしてくれます

61

MY生成AIとは、よく使う目的に合わせて“自分専用のAI”を作れる仕組みです。
日々の学習や業務を、より効率よくサポートしてくれます。



MY生成AI



MY生成AIとは

よく使う指示や目的に合わせて、自分用のAIを作れる仕組みです。

ChatGPT

GPTs機能を使い、MY生成AIを作成します。
有料プランで作成可能、無料プランは公開GPTのみ使用可能

Google Gemini

Gem機能により、MY生成AIを作成します。
有料プラン・無料プラン共に作成可能

Microsoft Copilot

Copilot Studioの利用によりMY生成AIを作成します。
ただし主に企業用途のため、本資料での説明は省略

62

自分用に設定・調整されたオリジナルのAIアシスタントのことです。
近年の生成AIは、単にツールとして「使う」だけでなく、自分専用カスタマイズしたAI (MY生成AI) を作成できるようになっています。

利用イメージの例：公務員試験の勉強だけに特化したAI
文章の添削が得意なAI
画像生成用のプロンプトを自動で作成するAI
説明資料を要約してくれるAI
自分の授業内容を覚えて答えてくれるAI など

このように、用途に合わせて「自分だけのアシスタント」を作成して活用することができます。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

8. 画像生成 AI

文章だけでなく「画像」を作り出す生成AIについて学びます。

画像生成 AI の基本

画像生成AIとは

文章や画像から「新しい画像を作るAI」

画像生成AIでできること

1. テキストから画像をつくる
2. 画像から別の画像をつくる
3. 学習済みの特徴に基づき、画像を再構成する

仕組みのポイント

画像生成AIは、学習によって得た「画像の特徴」をもとに、
“新しい画像”を作り出します。

注意事項

- 画像生成AIは、仕様や利用規約が頻繁に変更されます
- 商用利用の条件がサービスごとに異なります
- 最新情報を公式サイトで必ず確認しましょう

次のページから
代表的な画像生成AIを見ていこう

代表的な画像生成AI

1. Adobe Firefly

学生プランがあり、毎月付与されるクレジットで画像を生成します。
プロなみの画像・動画が、文章と指示だけで作成可能です。
安全に商用利用が可能です。

2. Stable Diffusion

無料で試せて、自由度が高く、思い通りに作り込めます。
学歴、課題制作、趣味、SNS、就職作品づくりなどに応用しやすいサービスです。

3. DALL-E

ChatGPTに組み込まれている画像生成AIです。
文章だけで高品質な画像が作れます。
学生がレポート、課題、SNSなどあらゆる場面で「すぐ使える」実用的なサービスです。

画像生成AIのまとめ

- 画像生成AIは公務員試験対策とは直接関係しませんが、**将来の業務で役立つスキル**であるため、理解しておきましょう。
- 公務員の仕事について、プレゼンテーション資料や掲示物など様々な場面でイラストを使う機会があります。学生のうちから画像生成AIを理解しましょう。
- 画像生成AIは画像生成以外にも、写真の不要物削除など、実用的な修正にも活用できます。**普段の生活で画像生成AIを活用すると便利です。**

※ 紹介した3つの画像生成AIは、いずれも日本語に対応しています。

9. 著作権

画像生成AIを使う上で欠かせないのが「著作権」の知識です。
公的機関やSNSで使用する際には特に注意が必要です。

著作権

著作権とは

創造された表現に自動的に発生する権利です。
申請・登録しなくても**作品を作った瞬間に発生します**。
誰が作った作品かを守り、無断利用を防ぐための仕組みです。

著作権の2つの権利

1. 著作財産権
作品をコピー、販売、公開できる権利
2. 著作人格権
勝手に変更されたり、名前を変えられない権利

ネットで拾った画像を無断でSNSに投稿 → 著作権侵害の恐れ

生成画像の商用利用

生成画像を商用利用する場合、著作権を侵害しないよう、各サービスの規約で商用利用の可否を必ず確認してください。

Q&A

<生成したイラストに著作権が発生する？>

「創作的な意思がある」＋「プロンプトが創作的寄与である」
→ 両方を満たす場合、著作権が発生します。

<既存の著作物に類似している場合、著作権を侵害する？>

「類似性（一目で見て判断できる）」＋「依存性（プロンプトで既存の著作物を利用）」
→ 両方を満たす場合、侵害にあたります。

著作権の落とし穴

個人利用なら問題ありませんが...
→ SNSを含め、公に人の目に触れる場合は注意が必要です。

行政機関で使用する場合は...
→ 著作権によらず、信頼性の観点から問題視されることがあります。

次のページから画像生成AIで作成した画像の
「商用利用での著作権侵害事例」と「行政機関でのトラブル事例」
をそれぞれ見ていきましょう！

商用利用での著作権侵害事例

画像生成AIで制作された画像複製による著作権侵害

概要
千葉県警は画像生成AIで制作された画像を無断で複製し、電子書籍の表紙に使用したとして、神奈川県大和市の男性を**著作権法違反の疑い**で書類送検した。画像は被害者が具体的な指示を繰り返して入力して制作したもので、著作物に該当すると判断された。

課題
画像生成AIによる作品でも、プロンプトの内容や制作過程によっては著作物と認められる可能性がある。公的機関や企業が画像生成AIを利用する際は、「利用規約や商用利用の可否」、「既存著作物に依存しないプロンプト設計」、「適切な権利処理」など、**慎重な対応**が求められる。

行政機関でのトラブル事例

海上保安庁が生成AIで作成したパンフレットのイラスト

概要
海上保安庁は、海難事故防止を呼び掛けるパンフレットに、無償の画像生成AIを用いて作成した、「アニメ風の女性イラスト」を掲載した。しかし、このイラストが「著作権侵害ではないか」との批判が相次いだ。

課題
海上保安庁は批判を受け、パンフレットの配布を中止しました。著作権法上、生成AIを利用すること自体は違法ではありませんが、**公的機関で利用する際は、より慎重な対応が求められます。**各画像生成AIサービスの利用規約を確認し、**商用利用の可否を把握**したうえで、生成物が既存の著作物に類似しないよう、**プロンプトの設計や利用範囲を工夫**するなど、適切に配慮しながら活用する必要があります。

10. MY生成AI

MY生成AIとは、よく使う目的に合わせて
“自分専用のAI”を作れる仕組みです。
日々の学習や業務を、より効率よくサポートしてくれます

MY生成AI

MY生成AIとは
よく使う指示や目的に合わせて、自分用のAIを作れる仕組みです。

ChatGPT
GPTs機能を使い、MY生成AIを作成します。
有料プランで作成可能、無料プランは公開GPTのみ使用可能

GoogleGemini
Gem機能により、MY生成AIを作成します。
有料プラン・無料プラン共に作成可能

Microsoft Copilot
Copilot Studioの利用によりMY生成AIを作成します。
ただし主に企業用途のため、本資料での説明は省略

- ChatGPT (有料版) -

1 **GPTs**を選択

2 **作成する**を選択

3 左側がGPTの作成画面。右側が作ったGPTへの質問画面です。まずは、**作成画面**から見ていきましょう。

4 作りたいGPTを指定しましょう。
例：あなたは公務員試験のキャリアアドバイザーです。



5

GPTsの名前を決めることができます。また、同様にプロフィール画像、性格（GPTsの話し方など）を決定します。



6

構成画面から指示を編集することで、目的に合ったGPTsを作成することができます。



7

作成したGPTsはここから見るができます。



8



9

指示を工夫することで、AIの性格などを自分の思いどおりにカスタマイズできます。

- ChatGPT（無料版） -



1

GPTを選択



2

公開されているGPTsを活用できます。

※ 個人が特定される情報は入れないよう注意しましょう。

- Gemini（有料版・無料版） -



1

Gemを表示を選択



2

＋Gemを作成を選択
また、公開されているGemも利用可能です。



3

任意の名前を設定



4

任意の説明を設定

5



指示 (プロンプト) を設定する

6



参考資料等がある場合は張り付ける

14

7



保存を選択

8



チャットを開始を選択

15

9



作成したGemはここに反映されます。

10



ChatGPTと同様に、自分に合ったMY生成AIを作成し、活用しましょう！

16

MY生成AIのまとめ

- 質問のたびに複雑なプロンプトを入力する必要がなくなります。
- 「質問専用AI」「添削AI」など、用途別に活用できます。
- 自分好みにカスタマイズでき、学習や業務が効率化できます。
- 自分に合ったMY生成AIを作り、学習や将来の業務でも積極的に活用しましょう。

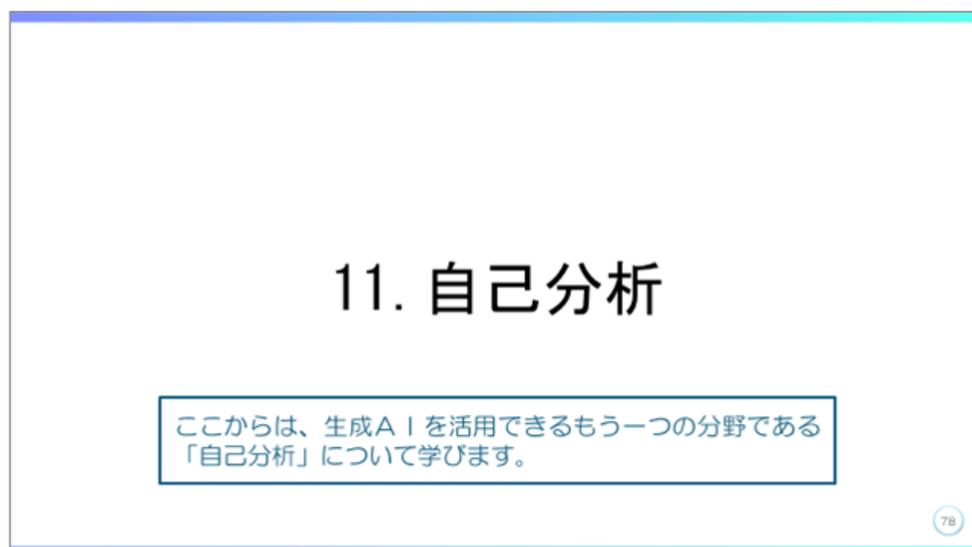
17

⑭授業 14 : AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 6

授業の位置づけ
AI を活用した公務員試験対策を目的として、生成 AI を補助的に活用しながら自己理解を深め、志望動機や自己 PR につなげる方法を学習する。 教材該当項目「11. 自己分析」
到達目標
1. 自己分析の目的と基本的な考え方を理解する 2. 自分自身の強みや弱みを整理し、言語化できる 3. 生成 AI を活用して自分を客観的に捉え、自己 PR に活用できる
授業構成
教材に沿って生成 AI を活用して自己認識を深めた上で、志望動機や自己 PR 作成につなげる。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
1. 自己分析の目的と基本的な方法を理解しているか 2. 自分の経験を自己分析の材料として捉えられているか 3. 自分の強みや特徴を整理して説明できているか 4. 生成 AI の役割を理解し、補助的なツールとして適切に活用しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
授業の取り組み姿勢（質疑での発言、改善への取り組み）を基に評価する。

□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。



ここからは、生成AIを活用できるもう一つの分野である「自己分析」について学びます。



自己分析



**自己分析とは
「自分自身や相手（組織・自治体）を知る」出発点です。**

就職活動や面接対策、公務員試験などで、自分の強み・適性・価値観を明確にすることで、志望動機や自己PRを作りやすくなります。

強みや具体的なエピソードが思いつかない場合は、経験を振り返ることで強みを探していきます。
弱みも視点を変えれば強みにできます。（例：慎重＝ミスが少ない）
自己分析をするために、まずは、自己認識を行っていきましょう。

79

自己分析とは、「自分自身を理解すること」と「相手（組織・自治体）を理解すること」からはじめられます。公務員試験や面接対策においても、自分の強み・価値観・適性を明確にすることは欠かせません。なぜなら、志望動機も自己PRも、自分がどのような人物であるかを理解していなければ作れないからです。

(1) 自己分析が不足している場合に起こる問題

自己分析が不足していると、次のような状態に陥りやすくなります。

「あなたの強みは？」と聞かれて答えられない
「なぜその自治体を志望するのか？」の説明が浅くなる
エピソードが抽象的になり、説得力に欠ける など

(2) 自己分析ができている場合の効果

自己分析が十分であると、次のようなメリットが生まれます。

自己PRに一貫性が生まれ、相手から信頼されやすい
志望動機が相手に響く内容になる
面接で迷いがなくなり、自信を持って話せる など



自己認識



自己分析を行う上で重要なことは、“自分を客観的に見ること”です。
これを“**自己認識**”といいます。

他者に自分を見てもらい、フィードバックを受けることで、
自分の強み・弱み・価値観などを知ることができます。

まずは、生成AIにプロンプトと自己PRを入力してみましょう。

そこで新たに強みなどに気づけることがあります。
別添の自己認識プロンプトを参照してください。

80

自己分析において最も重要なのは、「自分を客観的に捉える力=自己認識」です。
自分の性格・行動パターン・強み・弱み・価値観を客観的に理解している人は、
自己PRや志望動機を作成する際に、ぶれない軸を持つことができます。

(1) 他者からのフィードバックが自己認識を深める

自分一人で考えているだけでは気づけない点が多くあります。
そのため、他者の視点を取り入れることが重要です。

例：自分では当たり前だと思っていた行動が「強み」と言われる
気づいていなかった価値観や思考のクセを指摘される
弱みだと思っていた点が「長所」として扱えることに気づく

自己分析は、「内面を見つめる作業」だけではなく、他者との対話によって深まる
プロセスであることを理解する必要があります。

(2) 生成AIも“客観的な視点”として活用できる

近年では、自己分析の補助として生成AIを活用する方法も広がっています。

例：自己PR文を読み込み、強みや特徴を抽出してもらう
エピソードから読み取れる長所を一覧化する
あいまいな表現を具体的に言い換えてもらう
面接官の視点で改善点を指摘してもらう

AIは、第三者の客観的視点として役立つため、自分では気づけなかった強みを
発見できることがあります。

11. 自己分析

ここからは、生成AIを活用できるもう一つの分野である「自己分析」について学びます。

自己分析

自己分析とは「自分自身や相手（組織・自治体）を知る」出発点です。

就職活動や面接対策、公務員試験などで、自分の強み・適性・価値観を明確にすることで、志望動機や自己PRを作りやすくなります。

強みや具体的なエピソードが思いつかない場合は、経験を振り返ることで強みを探していきます。弱みも視点を変えれば強みにできます。（例：慎重＝ミスが少ない）自己分析をするために、まずは、自己認識を行っていきましょう。

自己認識

自己分析を行う上で重要なことは、“自分を客観的に見ること”です。これを“**自己認識**”といいます。

他者に自分を見てもらい、フィードバックを受けることで、自分の強み・弱み・価値観などを知ることができます。

まずは、生成AIにプロンプトと自己PRを入力してみましょう。

そこで新たに強みなどに気づけることがあります。別添の自己認識プロンプトを参照してください。

自己分析のまとめ

- 自分の経験から強みを見つけていきましょう。
- 他者の視点を取り入れることで、新しい気づきが得られます。
- 弱点も視点を変えれば強みにできます。
- 強み、弱み、価値観を総合的に理解することが大切です。
- 自己分析は一度では終わりません。生成AIを活用しながら、繰り返し見直しましょう。

□使用教材（自己認識プロンプト）

自己認識プロンプト

あなたは教師です。

以下の学生の自己PRを読み、学生が自分を深く理解できるよう、対話形式で自己認識を深めるサポートをしてください。

1 目的

学生が自分の強み・弱み・価値観・行動特性を「自分の言葉」で理解し、自己分析をより深めること。

2 教師（あなた）の役割

- (1) 自己PRから読み取れる重要ポイントを見つける
- (2) そのポイントを基に、学生に対して深掘り質問を1つずつ行う
- (3) 学生の回答内容に応じて追加の質問を行い、理解を深くする
- (4) 質問は、学生が考えやすい順序（強み → 行動 → 価値観 → 弱み → 伸びしろ）で進める
- (5) 教師として、批判ではなく成長につながる支援的な姿勢で質問する
- (6) 最後に、これまでの対話をもとに、学生の自己認識を総合的にまとめる

3 質問のルール

- (1) 1回の返答につき、質問は1つか2つまで
- (2) 「はい/いいえ」で終わらない、思考を促す質問にする
- (3) 学生の言葉を引用しながら質問する
- (4) 「理由」「背景」「価値観」「感情」「判断基準」の深掘り質問を含める
- (5) 決して分析を先に提示せず、学生の考えを引き出す姿勢を徹底する

4 分析観点

- (1) 強み（行動特性・能力の再現性を含む）
- (2) 弱み（改善可能性をポジティブに）
- (3) 価値観（行動の背景にある意思決定の軸）
- (4) 行動特性（性格傾向・コミュニケーション傾向）
- (5) 今後の伸びしろ（成長可能性）

5 学生の自己PR

（ここに学生が自己PRを記述）

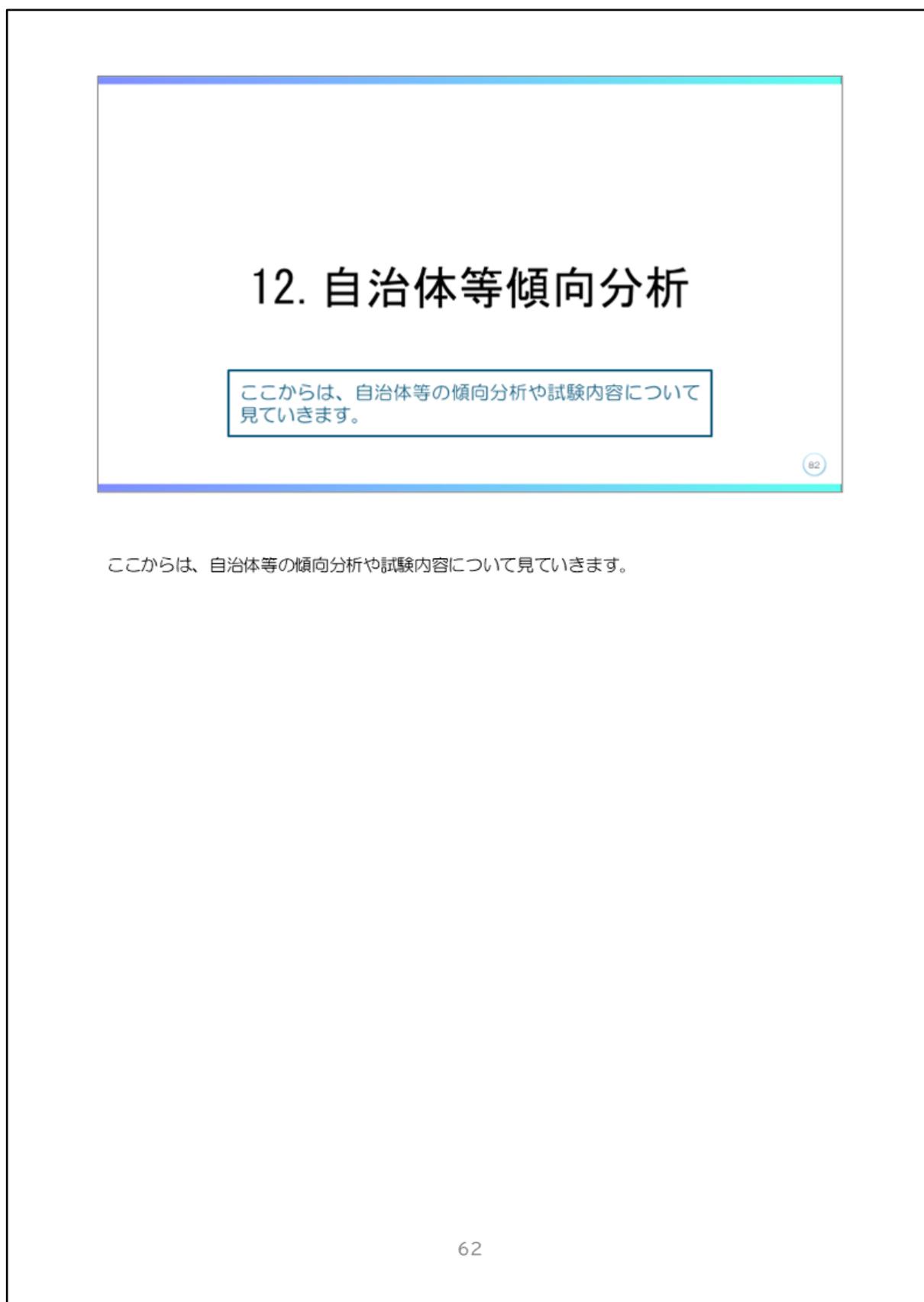
まずは、自己PRを読んで教師が最初の深掘り質問を提示してください。

⑮授業 15 : AI リテラシーと公務員試験 AI 対策- 7

授業の位置づけ
AI を活用した公務員試験対策を目的として、生成 AI を用いながら、自治体等の採用情報や試験傾向を収集・整理・分析する方法を学習する。 教材該当項目「12. 自治体等傾向分析」
到達目標
<ol style="list-style-type: none">1. 自治体等の採用情報を確認・把握する際の視点を理解し、整理できる2. 試験内容や試験形式が変更される可能性があることを理解する3. 生成 AI を活用した情報収集の方法を理解し、活用範囲を判断できる4. 自治体等の情報を整理し、説明できる形にまとめられる
授業構成
教材に沿って、自治体等の採用情報や試験傾向の分析を行い、生成 AI 活用への理解を深める。
使用教材
AI リテラシーと公務員試験 AI 対策 用語等穴埋め確認テスト
授業進行
指導者用授業ガイドに従って授業を進行する。
評価観点
<ol style="list-style-type: none">1. 自治体等の採用情報の見方を正しく理解しているか2. 集約した情報を整理し、説明できる内容として把握しているか3. 生成 AI の役割を理解し、補助的なツールとして適切に活用しているか
評価基準（授業単位での評価の参考）
本科目のまとめとして、生成 AI 学習の理解度を確認するために、用語等穴埋め確認テストを実施する。

□授業進行

以下の指導者用ガイドに従って進行する。



The slide features a title '12. 自治体等傾向分析' in large black font. Below it is a blue-bordered text box containing the text 'ここからは、自治体等の傾向分析や試験内容について見ていきます。'. A small circular icon with the number '62' is located in the bottom right corner of the slide area.

ここからは、自治体等の傾向分析や試験内容について見ていきます。



自治体等の採用情報



受験する自治体等の採用情報を確認

公式ホームページに掲載される採用情報から、事前に確認すべき重要な項目を確認しましょう。

☆重要項目

1. 募集開始時期
2. 試験のスケジュール
3. 募集人数と倍率
4. 試験内容（教養・作文・面接）
5. 過去問題及び例題の掲載有無 など

「〇〇市 採用情報」「〇〇県 職員採用」などと検索してみましょう。

63

公務員試験は「事前の情報収集」が大切です。志望する自治体の公式ホームページで、採用に関する重要情報を必ず確認しましょう。

■ 事前に必ず確認すべき5つ事項と確認方法

(1) 募集開始時期

自治体ごとに出願期間が異なります。出遅れると受付が終了してしまい、受験できなくなるため、最優先で確認すべき事項です。

(2) 試験スケジュール

一次試験(教養・作文など)／二次試験(面接・集団討論など)

自治体間で試験日が重なる場合があるため、早めに日程を把握しておく必要があります。

(3) 募集人数と倍率

募集人数が少ない自治体は、倍率が高くなる傾向があります。受験戦略を立てる際の重要な判断材料になります。

(4) 試験内容（教養・作文・面接など）

自治体ごとに試験形式は異なります。特に、以下の点は必ず確認しましょう。

作文のテーマ傾向／面接方式(個別・集団)／筆記試験の種類

(5) 過去問題や例題の有無

出題傾向を把握する上で非常に重要です。

自治体によっては、一般教養や作文の例題が掲載されている場合があります。

採用情報の確認方法は公式ホームページで簡単に確認できます。

例：〇〇市 職員採用

〇〇県 採用情報 など



試験内容と過去問題



公務員試験の筆記試験は、「一般教養力試験」が主流です。

しかし、最近は地方自治体を中心に、多彩な人材確保のため

従来の一般教養力試験と異なる「SPIやSCOA」

を導入する自治体が増えてきています。

→試験形式は毎年変わる可能性があるため、公式情報の確認が重要です。

64

公務員試験の筆記試験は「一般教養力試験」が主流です。しかし、近年は多様な人材の採用を目的として、試験形式が変化しています。

(1) 一般教養力試験（従来型）

基礎的な学力・知識・判断力を測定する試験で、現在も多くの自治体が採用しています。

(2) SPI・SCOA の導入

特に地方自治体では、SPI(民間型適性検査)やSCOA(総合適性検査)を導入するケースが増加しています。

評価される内容：思考力、性格特性、基礎学力、コミュニケーション傾向 など

多様な人材確保のため、年度ごとに試験形式が変更される場合があります。

(3) 試験形式の変更

自治体は試験形式を毎年のように見直しており、前年と同じ形式とは限りません。必ず最新の公式情報を確認しましょう。

□使用教材（AI リテラシーと公務員試験 AI 対策）

12. 自治体等傾向分析

ここからは、自治体等の傾向分析や試験内容について見ていきます。

自治体等の採用情報

受験する自治体等の採用情報を確認

公式ホームページに掲載される採用情報から、事前に確認すべき重要な項目を確認しましょう。

★重要項目

- 1 募集開始時期
- 2 試験のスケジュール
- 3 募集人数と倍率
- 4 試験内容（教養・作文・面接）
- 5 過去問題及び例題の掲載有無 など

「〇〇市 採用情報」「〇〇県 職員採用」などと検索してみましょう。

試験内容と過去問題

公務員試験の筆記試験は、「一般教養力試験」が主流です。

しかし、最近は地方自治体を中心に、多彩な人材確保のため

従来の一般教養力試験と異なる「SPIやSCOAJ」

を導入する自治体が増えてきています。

→試験形式は毎年変わる可能性があるため、公式情報の確認が重要です。

教養試験の過去問題は次の3つの自治体を除き非公開となっています。

- 1 国家公務員
国家一般職、海上保安庁、裁判所職員（特別職）など
- 2 地方公務員（一般職）
東京都、特別区
- 3 地方公務員（公安職）
東京消防庁

例題を掲載している自治体は多くあります。過去問題、例題の公開の有無は各自治体等の公式情報で確認しましょう。

また、多くの自治体で作文の過去問題は公開されています。

生成AIを活用した情報収集

採用情報プロンプト

生成AIを使って必要な情報を整理しましょう。生成AIで全体を把握し、最終確認は必ず公式HPで行いましょう。

例：令和〇年度〇〇市〇〇職（高卒程度）の採用情報を要約してください。

その他情報

採用情報のほか、生成AIで「市政情報（政策・計画・取り組みなど）」や、「求める人材」などを調べ、要約するなど、有効的に活用しましょう。

試験対策の効率化を図りましょう！

□使用教材（用語等穴埋め確認テスト）

用語等穴埋め確認テスト

- 従来のAIが「分析・識別」を得意としていたのに対し、学習データをもとに新しい文章や画像などを「ア」することに特化したAIを生成AIという。
- AIにデータを与えて学習させ、大量のデータからルールやパターンを見つけて出す技術全般を「イ」という。
- 人間が「正解」を与え、AIに正しい出力を学ばせる学習方法を「ウ」学習という。光子上制などに使われる。
- 正解を与えず、AIが自らデータの特徴を見つけて分類・グループ化を行う学習方法を「エ」学習という。
- AIが試行錯誤を繰り返し、「成功したら報酬」を与えることで最適な行動を学ばせる手法を「オ」学習という。
- 人間の脳の神経回路を模倣した数値モデルで、機械学習の発展を支える技術基礎を「カ」という。
- 「カ」を構成する最小単位で、人間の脳における「神経細胞」に相当するものを「キ」という。
- 「カ」において、データを受け取る「入力層」と結果を出す「出力層」の間にある層を「ク」層という。
- AIがデータを識別・判断するために注目すべき「重要なポイント」のことを「ケ」という。
- 「カ」をさらに多層化し、より複雑な情報の学習や高精度の判断を可能にした技術を「コ」(深層学習)という。
- 「コ」の課題として、AIの判断プロセスが複雑すぎて人間には理解・説明できなくなる状態をAIの「サ」化という。
- 「サ」化を解決するために開発されている、判断の根拠を人間に提示できるAI技術を「シ」(説明可能AI)という。
- 生成AIは、確率的に「言葉の【ス】」を予測して文章を作成しているため、事実関係を無視した回答をすることがある。
- 生成AIが、事実に基づかない「もっともらしい嘘」を出力してしまう現象を「セ」という。
- 著作権は、発所への申請や【ソ】を行わなくても、作品を作った瞬間に自動的に発生する権利である。
- 生成AIで作った画像が著作権侵害になる要件には、既存の著作物に似ているという「類似性」と、それを元にして作ったという【タ】性の2つがある。
- 生成AIに対する「指示」や「命令文」のことを【チ】という。

- 望ましい回答を得るために、AIへの指示を設計・最適化する技術を【ツ】という。
- プロンプト構成要素の4つとは、命令(Mission)、背景(Context)、入力(Input)、および形式などを指定する【テ】(Output)である。
- プロンプトにおいて、「あなたはキャリアアドバイザーです」のようにAIに役割を与える指示は、構成要素のうち【ト】に当たる。
- OpenAI社が開発した対話型AIで、自然な会話やプログラミング補助に強みを持つサービスは【ナ】である。
- Google社が開発したAIで、Google Workspaceとの連携やマルチモーダル(画像・音声)処理に強みを持つのは【ニ】である。
- Microsoft社が開発し、WordやExcelなどのOffice製品と統合されているAIサービスは【ヌ】である。
- プロンプト作成において、一度で完璧な回答を求めず、対話を重ねて修正していくことを【ネ】(バグ(指示→問題→修正)を繰り返すという。
- ハルシネーションを防ぐプロンプトとして、「確認可能な【ノ】」に基づいて回答してください」と指示することが有効である。

用語等穴埋め確認テスト（回答）

ア：生成（作り出す）
 イ：機械学習
 ウ：教師あり
 エ：教師なし
 オ：強化
 カ：ニューラルネットワーク
 キ：ニューロン
 ク：中間
 ケ：特徴量
 コ：ディープラーニング
 サ：ブラックボックス
 シ：XAI
 ス：つながり
 セ：ハルシネーション
 ソ：登録
 タ：偽造
 チ：プロンプト
 ツ：プロンプトエンジニアリング
 テ：出力
 ト：背景 (Context)
 ナ：ChatGPT
 ニ：Gemini
 ス：Copilot
 ネ：フィード
 ノ：事実

5. 生成 AI 活用に関する方針・ルール・意図

(1) 傾向分析科目における生成 AI 活用の基本方針

傾向分析科目における生成 AI 活用の基本方針は、公務員試験における傾向分析科目の中で理解・判断・分析を支援する補助的手段として用いることにある。

本科目は、募集要項や自治体資料、試験問題文を正確に読み取り、「何が問われているのか」「どのような力が評価されているのか」を理解することを目的としている。そのため、学生が主体的に情報を収集し、分析する中で、情報の分析、整理ツールとして生成 AI の役割を位置づける。また、読解力や作文力の育成においては、生成 AI は「考える代わり」ではなく、「考えるための整理・確認の道具」として位置づける。

(2) 傾向分析科目における AI 活用ルール

①生成 AI 活用のルール

- ・生成 AI に解答、結論、評価を出させない
- ・原文を読まずに AI の要約のみで理解したと判断しない
- ・AI の出力は必ず原文と照合する
- ・使用目的（整理、可視化、チェック）を明確にして使用する
- ・教員の指示なく、課題解答に直接使用しない

(3) 傾向分析科目におけるルールの意図

傾向分析科目では、読解力、判断力、準備の形成が学習の中心となる。その中で、生成 AI に考えさせ、制作させ、決めさせてしまうと、学生が思考停止になり安易な生成 AI 依存に陥る懸念がある。そうなれば、本科目が目指す公務員試験対策の土台形成ができず合格力を育てることはできない。

そのため、本科目では生成 AI を情報整理、効率的な取り組みを実現する補助ツールとして、厳格に運用することを徹底する。

6. 委員名簿

実施委員

	氏名	所属・職名	役割等
1	浦山 哲郎	学校法人浦山学園	理事長
2	永井 真介	学校法人浦山学園	常務理事
3	浦城 尚武	学校法人浦山学園	校長
4	佐竹 新市	学校法人龍馬学園	理事長
5	中島 慎太郎	学校法人有坂中央学園	理事長
6	大平 康喜	学校法人穴吹学園	専務理事
7	宮岡 良次	学校法人三友学園	理事・事務局長
8	坪内 浩一	学校法人坪内学園	理事長
9	中谷 浩美	学校法人 YIC 学院	専務理事
10	廣瀬 智範	富山県	経営管理部 人事企画室 人材戦略課長
11	森田 貴之	射水市	企画管理部 次長
12	岩本 健嗣	公立大学法人富山県立大学	情報工学部 情報システム工学科 教授
13	吉川 智	一般社団法人富山情報産業協会	専務理事
14	小村 亮	一般社団法人生成 AI 活用普及協会	事務局次長

事業推進委員

	氏名	所属・職名	役割等
1	浦城 尚武	富山情報ビジネス専門学校	校長
2	石田 哲也	富山情報ビジネス専門学校	学事部/企画推進部 次長
3	清水 大樹	富山情報ビジネス専門学校	教務部
4	三宅 可倫	富山情報ビジネス専門学校	教務部
5	宮田 和樹	群馬法科ビジネス専門学校	副校長
6	馬場 隆信	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	教務部長
7	中川 隆	龍馬情報ビジネス&フード専門学校	校長
8	武下 浩史	専門学校岡山情報ビジネス学院	公務員/公務員速修学科 学科長
9	石飛 美香	専門学校坪内ビジネスカレッジ	副校長
10	橋口 浩太	YIC 公務員専門学校	教務課係長
11	中瀬 幸子	Avinton ジャパン株式会社	代表取締役
12	島田 勝彰	合同会社ハピオブ	代表社員
13	中本 亮	富山県	知事政策局参事・デジタル化 推進室情報システム課長

令和7年度「地方やデジタル分野における専修学校理系転換等推進事業」

公務員デジタル人材育成モデル構築事業

公務員試験傾向分析科目 テキスト教材

令和8年2月発行

学校法人 浦山学園 富山情報ビジネス専門学校

〒939-0341 富山県射水市三ヶ 576

TEL : 0766-55-1420 FAX : 0766-55-0757